

5. 関係地域の範囲

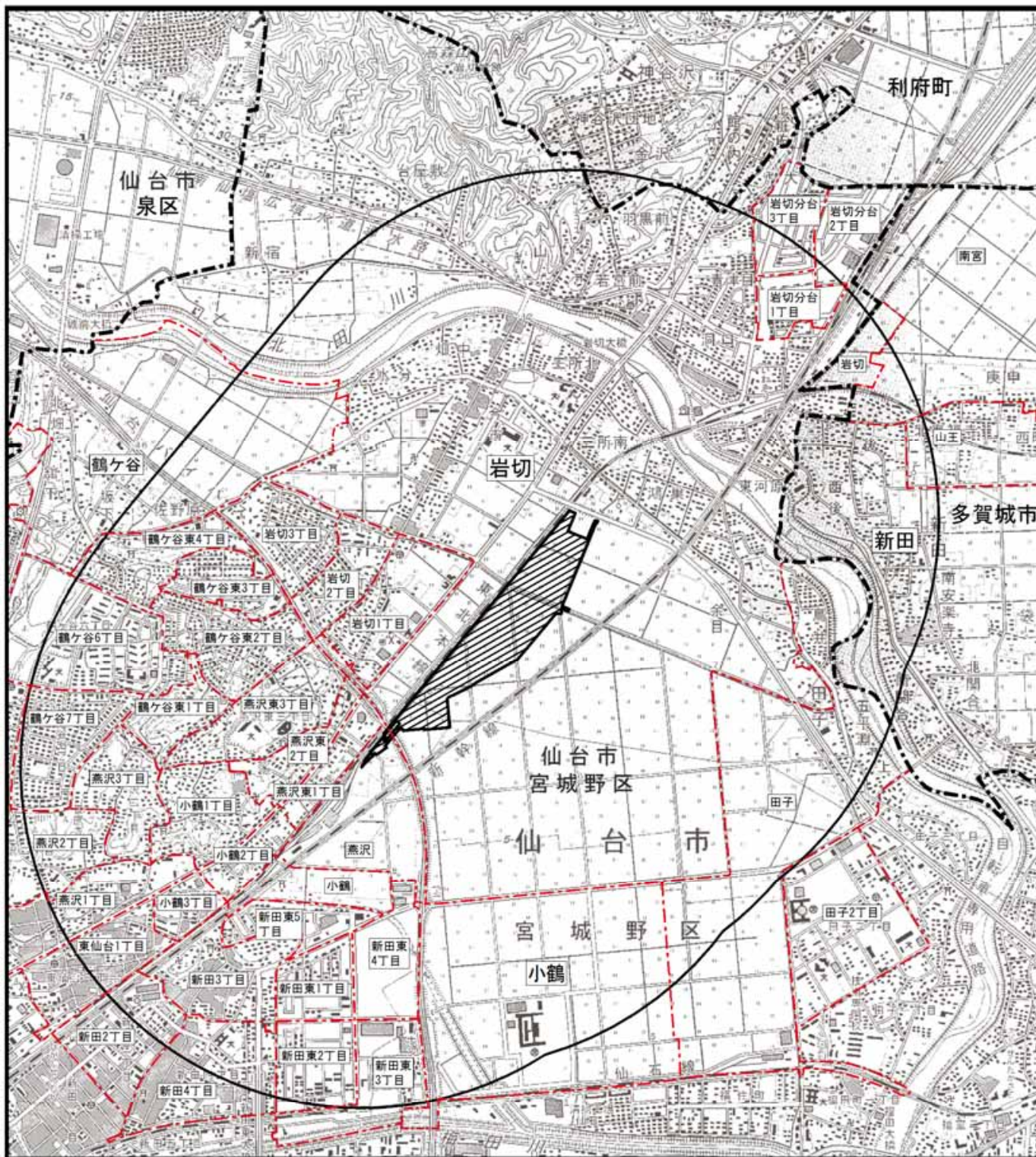
5. 関係地域の範囲

関係地域の範囲は、「7. 環境影響評価項目の選定」に示す環境影響評価項目として選定した項目のうち、最も広い範囲に影響が及ぶと想定される景観の調査・予測範囲を参考に対象事業計画地から1,500mと設定した。また、環境項目ごとの影響範囲及び調査範囲の考え方を、表 5-1に示した。また、関係地域の範囲及び該当する町丁目名を表 5-2及び図 5-1に示す。





なお、利府町は、計画地から1.3 km以上離れており、表 5-1に示す環境項目ごとの影響範囲及び調査範囲では、景観において影響を及ぼす恐れがある。しかし、事前調査書に示すとおり、関係地域の範囲内には、影響を与える眺望地点がないことから、利府町を関係地域から除外することとした。

表 5-1 環境項目ごとの影響範囲及び調査範囲の考え方

項目	影響範囲及び調査範囲の考え方	敷地境界からの距離
大気質	本事業により大気質の変化が想定される地域とし、工事による建設機械、供用後の鉄道等の走行及び工事中や供用後の運搬・利用等の自動車交通による排出ガスの影響が考えられるため、建設機械や鉄道及び自動車交通による排出ガスの最大着地濃度等を踏まえた範囲とする。	500m程度
騒音・振動	本事業により騒音・振動レベルの変化が想定される地域とし、工事中の建設機械、供用後の鉄道等の走行及び及び工事中や供用後の運搬・利用等の自動車経路で騒音・振動の影響が考えられる範囲とする。	200m程度
水質 (水の濁り)	本事業における盛土等により、対象事業計画地内及び水路の水質が変化すると想定される範囲とする。	100m程度
水象 (地下水)	本事業による盛土・掘削工事により地下水への影響が想定される範囲とする。	400m程度
地形・地質	本事業により地形・地質に影響を及ぼすと想定される範囲とする。	200m程度
地盤沈下	本事業における盛土により、地盤沈下の影響が想定される範囲とする。	400m程度
植物	本事業により植物相、注目すべき種、動物の生息基盤としての植生の変化等の影響が想定される範囲とする。	200m程度
動物	本事業により動物の生息環境の変化等の影響が想定される範囲とする。	200m程度
生態系	本事業により生態系の変化等の影響が想定される範囲とする。	200m程度
景観	本事業による建築物の出現により不特定多数の人が利用する眺望地点からの眺望の変化が想定される範囲(中景域)とする。	1.5km程度
自然との 触れ合いの場	本事業により自然との触れ合いの場に対する影響が想定される範囲とする。	500m程度
廃棄物等	本事業により工事中及び施設供用に伴う廃棄物等の発生が考えられる地域とする。	計画地
温室効果 ガス	本事業により工事中及び施設供用に伴う温室効果ガスの発生が考えられる地域とする。	計画地



凡例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 関係地域の範囲(計画地から1500mの範囲)
-  : 関係地域の町丁目界



S=1:25,000

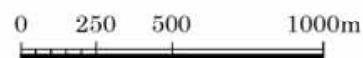


図 5-1
関係地域の範囲

注)関係地域の範囲に利府町は含まない。

表 5-2 関係地域

区名	町丁目名	区名	町丁目名
仙台市宮城野区	岩切	多賀城市	岩切
	岩切 1 丁目		山王
	岩切 2 丁目		新田
	岩切 3 丁目		南宮
	岩切分台 1 丁目		
	岩切分台 2 丁目		
	岩切分台 3 丁目		
	小鶴		
	小鶴 1 丁目		
	小鶴 2 丁目		
	小鶴 3 丁目		
	新田 2 丁目		
	新田 3 丁目		
	新田 4 丁目		
	新田東 1 丁目		
	新田東 2 丁目		
	新田東 3 丁目		
	新田東 4 丁目		
	新田東 5 丁目		
	田子		
	田子 2 丁目		
	燕沢		
	燕沢 1 丁目		
	燕沢 2 丁目		
	燕沢 3 丁目		
	燕沢東 1 丁目		
	燕沢東 2 丁目		
	燕沢東 3 丁目		
	鶴ヶ谷		
	鶴ヶ谷 6 丁目		
	鶴ヶ谷 7 丁目		
	鶴ヶ谷東 1 丁目		
	鶴ヶ谷東 2 丁目		
鶴ヶ谷東 3 丁目			
鶴ヶ谷東 4 丁目			
東仙台 1 丁目			

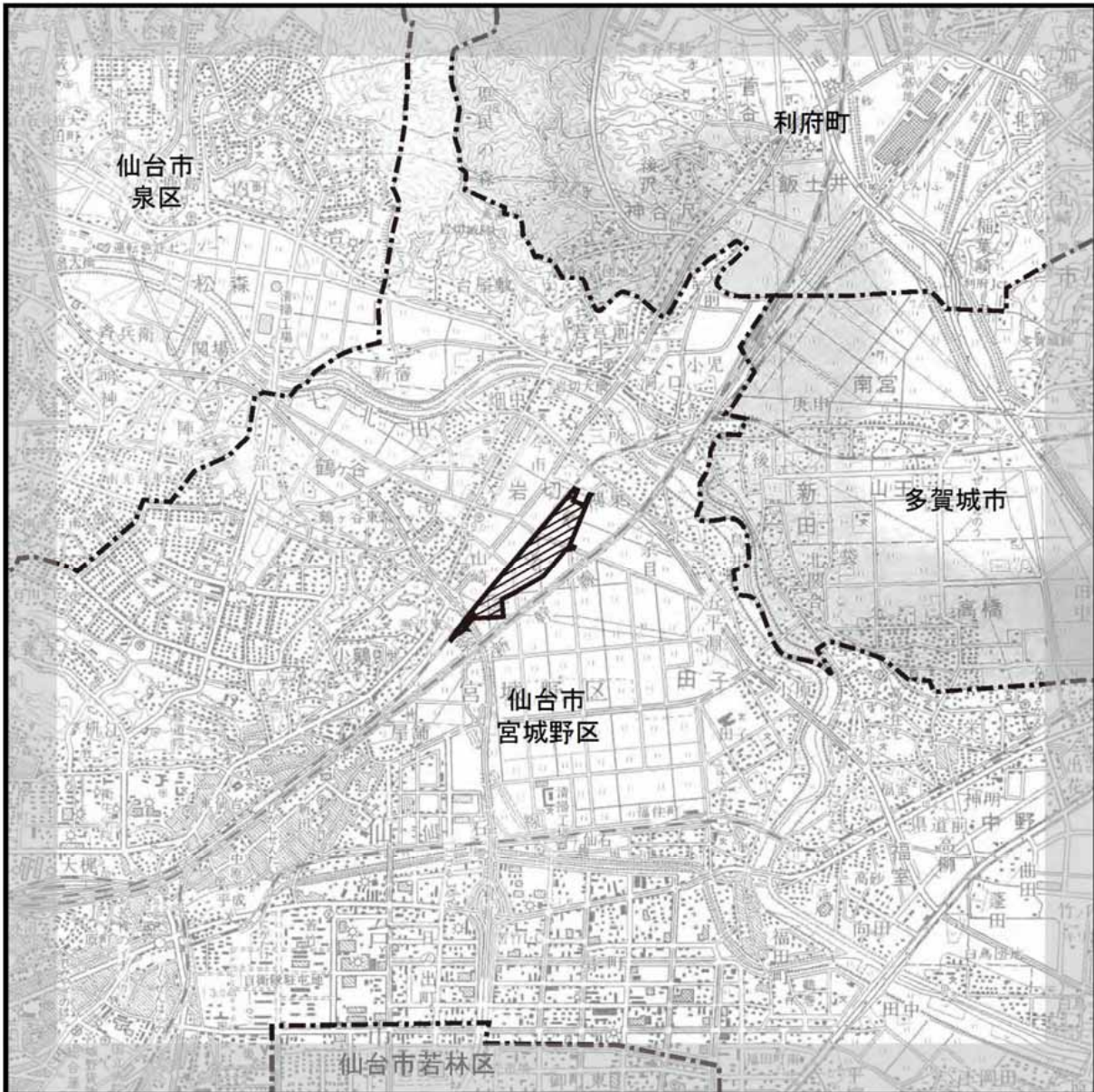
6. 地域の概況

6. 地域の概況


地域概況を整理する調査範囲(以後、「調査範囲」と示す)は、「仙台市環境影響評価技術指針マニュアル」(平成 11 年 11 月仙台市)に示されている概況調査範囲(5~10 km)及び表 5-1 に示す事業の実施に伴う大気環境, 植物の生育・動物の生息環境, 景観資源, 眺望景観等への影響範囲を考慮して, 図 6-1 に示す計画地を中心とした 8 km 四方の範囲とした。


「仙台市環境影響評価技術指針」(平成 25 年 5 月改定)では、「環境影響評価の対象とする地理的範囲は, 原則として仙台市域(海域を含む)のうち当該事業により環境影響が及ぶ可能性のある範囲とし, 必要に応じて仙台市の隣接地域を含んで実施することができる」と記されている。計画地から 1.3km 以上離れている利府町においては, 影響範囲が 1.5km である景観への環境影響が及ぶ可能性があるものの, 事前調査の結果により, 影響範囲内に眺望地点が存在しないことから, 本事業による環境影響が及ばないと判断した。そこで, 仙台市域ではない利府町を環境影響評価の対象から除外した。

また, 苦情の状況や社会的状況等の統計情報等については, 前述の調査範囲を含めた仙台市及び多賀城市全域を対象を広げ, 発生源の状況等については, 大気環境や水環境等の影響範囲を踏まえ, 図 5-1 に示す関係地域の範囲内で整理した。



凡 例

 : 計画地

 : 市町・区境界線



 : 地域概況の調査範囲

図 6-1 地域概況の調査範囲



S=1:50,000

0 500 1000 2000m



6.1 自然的状況

6.1.1 大気環境

(1) 気象

計画地最寄りの気象観測所として、仙台管区気象台(仙台市宮城野区五輪 1-3-15 仙台第3合同庁舎)がある。仙台管区気象台の位置を図 6.1-1 に示す。

仙台管区気象台における平成18年～平成27年の10年間の気象の概況及び平成27年の気象の概況は、表 6.1-1 及び表 6.1-2 に示すとおりである。

ア 気温の状況

平成18年～平成27年の10年間の平均気温は12.9℃、月平均最高気温の平均値は23.9℃、月平均最低気温の平均値は4.9℃である。

平成27年の平均気温は13.7℃、月最高気温の平均値は24.8℃、月最低気温の平均値は5.5℃である。

イ 降水量の状況

平成18年～平成27年の10年間の平均年間降水量は1,340.6mmである。平成27年の年間降水量は1,444.5mmと過去10年間の平均値に対して約8%多い。

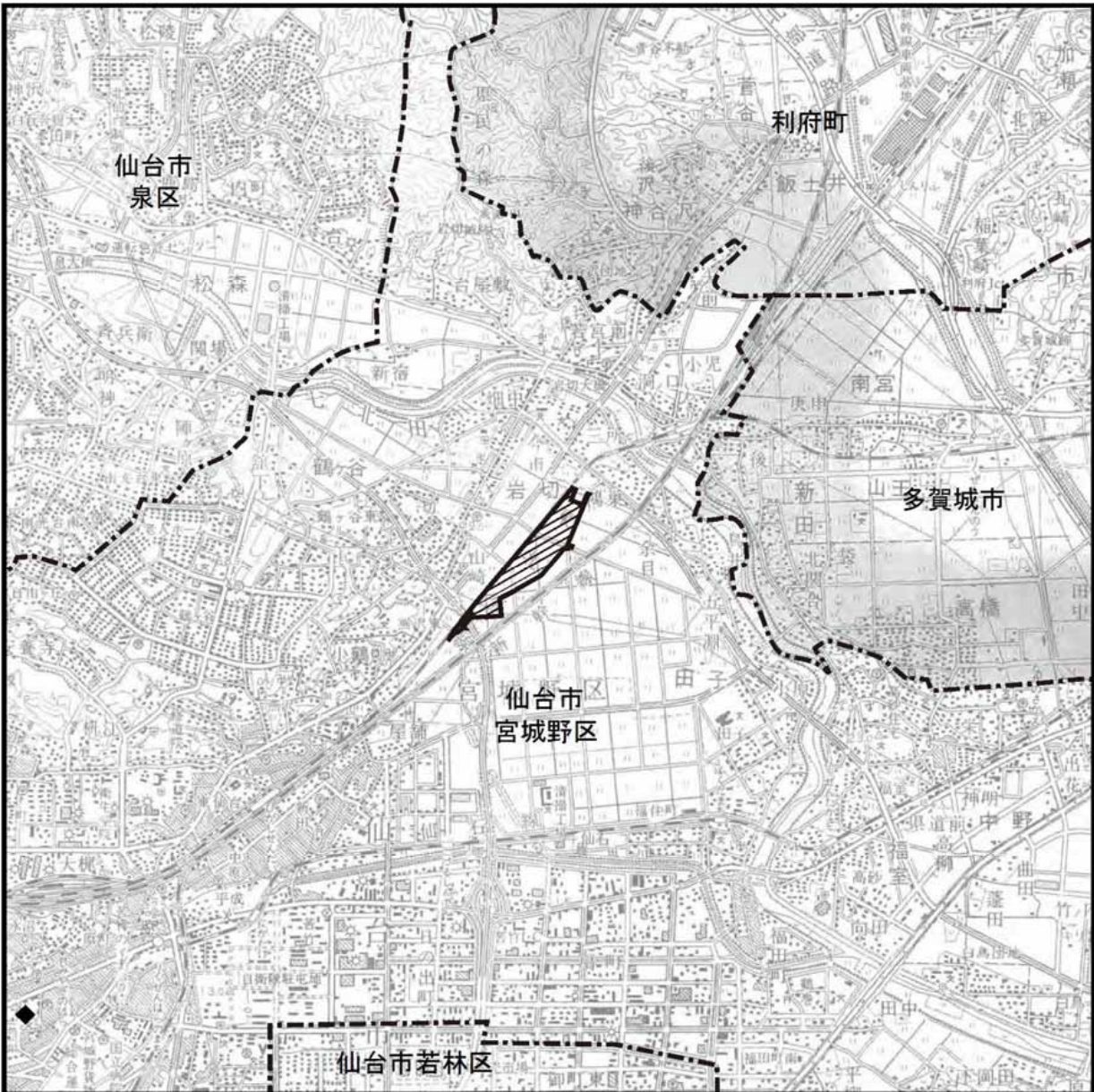
ウ 日照時間、全天日射量及び雲量の状況

平成18年～平成27年の10年間の平均年間日照時間は1,869.1時間、10年間の全天日射量の月平均値は12.8MJ/m²、10年間の雲量の月平均値は7.2である。平成27年の日照時間の合計値は2,102.8時間、全天日射量の月平均値は13.8MJ/m²、雲量の月平均値は7.2である。

エ 風向・風速の状況

平成18年～平成27年の10年間の年間平均風速は3.1m/秒、風向は西北西が卓越している。

平成27年の年間平均風速は3.2m/秒、風向は年間を通して北北西が卓越しており、月別では5月～8月までが南東、他の月は北北西または西北西の風が卓越している。



凡 例




-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 仙台管区気象台

図 6.1-1 仙台管区気象台の位置



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

表 6.1-1 気象の概況(仙台管区気象台：平成 18 年～平成 27 年)

月	項目	気温(°C)			降水量 (mm)	日照時間 (時間)	全天 日射量 (MJ/m ²)	雲量	平均風速 (m/秒)	最多風向
		平均	最高	最低						
1 月		1.8	11.3	-4.8	30.5	156.9	8.6	6.3	3.5	西北西
2 月		2.2	13.4	-5.0	40.5	152.1	11.0	6.5	3.6	西北西
3 月		5.3	19.4	-2.5	79.8	177.4	14.0	6.5	3.7	西北西
4 月		10.2	23.0	0.9	100.7	185.7	16.5	6.7	3.6	西北西
5 月		15.7	27.5	6.8	123.0	197.3	18.3	7.4	3.2	西北西
6 月		19.5	30.3	11.5	149.6	151.9	16.8	8.2	2.8	西
7 月		23.2	33.1	16.7	166.1	123.3	14.2	8.7	2.4	南南東
8 月		24.9	34.7	17.7	137.3	151.2	14.9	8.1	2.4	南南東
9 月		21.4	31.8	12.7	201.7	141.6	12.8	7.7	2.9	南南東
10 月		16.0	26.1	6.6	160.1	158.4	11.1	6.7	3.1	西北西
11 月		10.0	21.0	0.8	74.4	141.4	8.3	6.5	3.1	西北西
12 月		4.6	15.3	-2.4	77.1	131.8	6.9	6.7	3.3	西北西
年間		12.9	23.9	4.9	1,340.6	1,869.1	12.8	7.2	3.1	西北西

注) 年間における各項目は以下のとおり。

気 温：月平均気温，月平均最高（低）気温の 10 年間における平均値

降 水 量：10 年間の平均年間降水量

日照時間：10 年間の平均年間日照時間

平均風速：月平均風速の 10 年間における平均値

最多風向：月最多風向の 10 年間における最多風向

出典：気象庁 HP「過去の気象データ検索」<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> (平成 28 年 7 月閲覧)

表 6.1-2 気象の概況(仙台管区気象台：平成 27 年)

月	項目	気温(°C)			降水量 (mm)	日照時間 (時間)	全天 日射量 (MJ/m ²)	雲量	平均風速 (m/秒)	最多風向
		平均	最高	最低						
1 月		2.6	11.8	-3.4	41.5	152	8.3	7.1	4	西北西
2 月		3.0	13.8	-4.3	30.0	139.1	10.4	7.1	3.8	西北西
3 月		6.8	19.7	-1.6	184.5	210	15.5	6.5	3.6	西北西
4 月		11.7	26.9	1.3	100.5	204	17.5	7	3.1	北北西
5 月		18.0	30.6	9.1	45.0	273.3	22.6	6.7	3.2	南東
6 月		20.0	29.0	10.8	130.5	167.5	17.9	8.4	3.2	南東
7 月		24.8	35.1	17.1	54.5	191.1	18.3	8	2.4	南東
8 月		24.3	36.6	17.5	219.5	129.6	13.1	8.4	2.6	南東
9 月		20.5	32.3	13.8	441	136.6	12.5	7.8	3	北北西
10 月		15.5	26.5	5.8	8.0	215.8	13.8	5.6	3.7	北北西
11 月		10.7	20.8	0.8	144.5	130	7.8	7.3	2.9	北北西
12 月		5.9	14.0	-1.1	45.0	153.8	7.7	6.6	3.2	北北西
年間		13.7	24.8	5.5	1,444.5	2,102.8	13.8	7.2	3.2	北北西

注) 年間における各項目は以下のとおり。

気 温：月平均気温，各月最高（低）気温

降 水 量：月合計降水量の年間における合計値

日照時間：月合計日照時間の年間合計値

平均風速：月平均風速の年間における平均値

最多風向：月最多風向の年間における最多風向

出典：気象庁 HP「過去の気象データ検索」<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> (平成 28 年 7 月閲覧)

(2) 大気質

ア 大気汚染の状況

調査範囲内には大気汚染常時監視測定局として、一般環境大気測定局が5局(福室(旧高砂), 岩切, 鶴谷, 中野, 多賀城Ⅱ), 自動車排出ガス測定局が1局(苦竹)設置されており, 各測定局の測定項目等は, 表 6.1-3 に示すとおりである。

常時監視測定局の位置は, 図 6.1-2 に示すとおりである。

表 6.1-3 大気汚染常時監視測定局測定項目

測定局種別	地点 No.	測定局名	二酸化 いおう	二酸化 窒素	光化学 オキシダント	浮遊粒子状 物質	微小粒子状 物質	非メタン 炭化水素
一般環境大気	1	福室 ^{※1} (旧 高砂)	—	○	○	○	—	—
	2	岩切	—	—	○	○	○ ^{※5}	—
	3	鶴谷	—	○	○	○	—	—
	4	中野 ^{※2}	—	—	○	—	○	—
	5	多賀城Ⅱ ^{※3}	○	○	○	○	—	○
自動車排出ガス	6	苦竹	○ ^{※4}	○	—	○	○	—

※1 福室測定局は, 平成 26 年 7 月より高砂測定局から名称変更している。

※2 中野測定局は, 平成 25 年 3 月に調査範囲外から現在の位置へ移設したことから, 平成 24 年度以降のデータのみ収集。

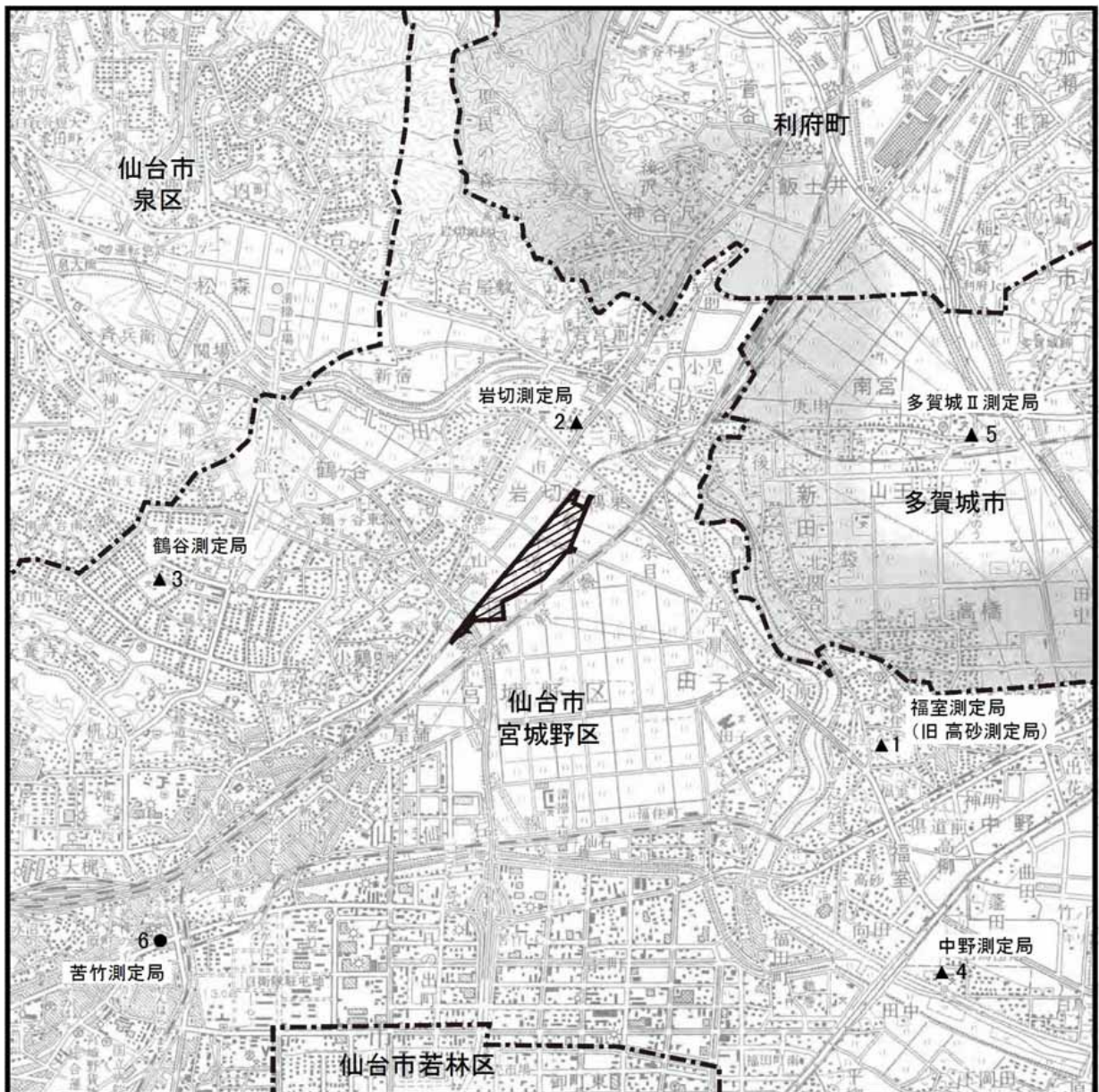
※3 多賀城Ⅱ測定局は, 平成 21 年 2 月 28 日に測定を休止した。

※4 苦竹測定局において, 平成 23 年度は二酸化いおうを測定していない。





※5 岩切測定局においては, 平成 26 年 10 月より微小粒子状物質の測定を開始している。

出典: 「公害関係資料集」(平成 22 年度～平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

「平成 21 年版宮城県環境白書」(宮城県)



凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 一般環境大気測定局(1~5)
-  : 自動車排出ガス測定局(6)

出典:「公害関係資料集」(平成22年度~平成26年度測定結果)(仙台市環境局)
「平成21年版宮城県環境白書」(宮城県)

図 6.1-2 大気測定局の位置



S=1:50,000
0 500 1000 2000m

二酸化いおう(SO₂)

平成 26 年度における二酸化いおう測定結果は表 6.1-4、平成 22 年度～平成 26 年度までの 5 年間における年平均値及び日平均値の 2%除外値の経年変化は表 6.1-5 に示すとおりである。

平成 26 年度における自動車排出ガス測定局の苦竹測定局の 1 時間値の最高値は 0.013ppm、日平均値の 2%除外値は 0.002ppm であり、短期的評価及び長期的評価ともに環境基準を達成している。

苦竹測定局における経年変化は、年平均値、日平均値の 2%除外値ともに、平成 25 年度ならびに平成 26 年度の測定値は、平成 22 年度の測定値より 0.001ppm 減少している。

表 6.1-4 二酸化いおう測定結果(平成 26 年度)

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価					長期的評価		
						1 時間値が 0.1ppm を超えた時間数とその割合		日平均値が 0.04ppm を超えた日数とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の 2% 除外値	日平均値が 0.04ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が 0.04ppm を超えた日数
						時間	%	日	%	ppm	ppm	有×・無○	日
自動車排出ガス	苦竹	商	361	8579	0	0	0.0	0	0.0	0.013	0.002	○	0

注) 環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。

・短期的評価：1 時間値の日平均値または各 1 時間値を環境基準と比較して評価する。

・長期的評価：日平均値の 2%除外値を環境基準と比較して評価する。ただし、人の健康の保護を徹底する趣旨から、日平均値につき環境基準を超える日が 2 日以上連続した場合は、このような取扱いは行わない。

出典：「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-5 二酸化いおう経年変化(平成 22 年度～平成 26 年度)

単位：ppm

種別	測定局	項目	年度				
			22	23	24	25	26
自動車排出ガス	苦竹	年平均値	0.001	—	(0.001)	0	0
		日平均値の 2%除外値	0.003	—	(0.002)	0.002	0.002

注 1) 環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。

2) ()内の数値は有効測定時間未満の測定値。

出典：「公害関係資料集」(平成 22 年度～平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

二酸化窒素(NO₂)

平成 26 年度における二酸化窒素測定結果は表 6.1-6、平成 22 年度～平成 26 年度までの 5 年間における年平均値及び日平均値の年間 98% 値の経年変化は表 6.1-7 に示すとおりである。

平成 26 年度における日平均値の年間 98% 値は、0.020～0.029ppm であり、全測定局で環境基準の長期的評価及び仙台市環境基本計画の定量目標値を満足している。

また、経年変化は、年平均値、日平均値の年間 98% 値ともに、いずれの測定局でも横ばい傾向を示しており、平成 26 年度が最も小さい値となっている。

表 6.1-6 二酸化窒素測定結果(平成 26 年度)

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		日平均値の年間98%値	98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数
							時間	%	時間	%	日	%	日	%		
大一般環境	福室(旧高砂)	1住	364	8602	0.008	0.054	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.021	0
	鶴谷	1低層	363	8660	0.009	0.058	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.020	0
排出ガス	苦竹	商	362	8658	0.016	0.059	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.029	0

注 1) 環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること。

・長期的評価：日平均値の年間98%値を環境基準と比較して評価する。

2) 仙台市環境基本計画の定量目標値：日平均値の年間98%値が0.04ppm以下であること。

3) 福室測定局は、平成26年7月より高砂測定局から名称変更している。

出典：「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-7 二酸化窒素経年変化(平成 22 年度～平成 26 年度)

単位：ppm

種別	測定局	項目	年度				
			22	23	24	25	26
大一般環境	福室(旧高砂)	年平均値	0.011	0.010	0.010	0.011	0.008
		日平均値の年間98%値	0.024	0.025	0.026	0.025	0.021
	鶴谷	年平均値	0.010	0.010	0.009	0.009	0.009
		日平均値の年間98%値	0.021	0.026	0.024	0.024	0.020
自動車排出ガス	苦竹	年平均値	0.021	0.020	0.018	0.018	0.016
		日平均値の年間98%値	0.036	0.035	0.033	0.035	0.029

注 1) 環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること。

2) 仙台市環境基本計画の定量目標値：日平均値の年間98%値が0.04ppm以下であること。

3) 福室測定局は、平成26年7月より高砂測定局から名称変更している。

出典：「公害関係資料集」(平成22年度～平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

光化学オキシダント(Ox)

平成 26 年度における光化学オキシダント測定結果は表 6.1-8, 平成 22 年度～平成 26 年度までの 5 年間における昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数及び時間数の経年変化は表 6.1-9 に示すとおりである。

平成 26 年度における昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた時間は、福室測定局で 212 時間(41 日), 岩切測定局で 96 時間(19 日), 鶴谷測定局で 238 時間(42 日), 中野測定局で 213 時間(43 日)発生し, 昼間の 1 時間値の最高値は福室測定局で 0.103ppm, 岩切測定局で 0.098ppm, 鶴谷測定局で 0.105ppm, 中野測定局で 0.103ppm と, いずれの測定局も環境基準(0.06ppm)を超えている。

また, 福室測定局, 岩切測定局, 鶴谷測定局における経年変化を見ると, 昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数は, 平成 23 年度が最も多く, その後平成 25 年度にかけて減少したが, 平成 26 年度に大きく増加している。昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた時間数は, 平成 22 年度～平成 23 年度に比べて, 平成 24 年度～平成 25 年度に大きく減少したが, 平成 26 年度に大きく増加している。

表 6.1-8 光化学オキシダント測定結果(平成 26 年度)

種別	測定局	用途地域	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間 1 時間値の年平均値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数と時間数		昼間の 1 時間値が 0.12ppm を超えた日数と時間数		昼間の 1 時間値の最高値	昼間の日最高 1 時間値の平均値
			日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
大一般環境	福室 (旧高砂)	1 住	365	5414	0.033	41	212	0	0	0.103	0.045
	岩切	1 住	365	5409	0.028	19	96	0	0	0.098	0.039
	鶴谷	1 低層	359	5295	0.035	42	238	0	0	0.105	0.045
	中野	1 住	351	5188	0.032	43	213	0	0	0.103	0.045

- 注 1) 昼間とは 5 時から 20 時までの時間帯をいう。
 2) 環境基準：1 時間値が 0.06ppm 以下であること。
 ・短期的評価：各 1 時間値を環境基準と比較して評価する。
 3) 福室測定局は, 平成 26 年 7 月より高砂測定局から名称変更している。
 出典：「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-9 光化学オキシダント経年変化(平成 22 年度～平成 26 年度)

種別	測定局	項目	年度					
			22	23	24	25	26	
一般環境 大気	福室 (旧 高砂)	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数(日)	49	49	35	23	41
			時間数(時間)	219	234	117	82	212
	岩切	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数(日)	11	22	8	12	19
			時間数(時間)	49	58	29	45	96
	鶴谷	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数(日)	39	52	27	20	42
			時間数(時間)	203	227	88	76	238
	中野	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた	日数(日)	12	—	(0)	10	43
			時間数(時間)	46	—	(0)	30	213

- 注 1) 昼間とは 5 時から 20 時までの時間帯をいう。
 2) 環境基準：1 時間値が 0.06ppm 以下であること。
 3) ()内の数値は有効測定時間未満の測定値。
 4) 中野測定局は平成 25 年 3 月に調査範囲外から現在の場所に移設して測定を始めた。
 5) 福室測定局は, 平成 26 年 7 月より高砂測定局から名称変更している。
 出典：「公害関係資料集」(平成 22 年度～平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

浮遊粒子状物質 (SPM)

平成 26 年度における浮遊粒子状物質測定結果は表 6.1-10、平成 22 年度～平成 26 年度までの 5 年間における年平均値及び日平均値の 2%除外値の経年変化は表 6.1-11 に示すとおりである。

平成 26 年度において、いずれの測定局においても 1 時間値が 0.20mg/m³ を超えた時間数はなく、また、日平均値が 0.10mg/m³ を超えた日もなかったことから、短期的評価及び長期的評価とも環境基準を達成している。

また、経年変化は、年平均値、日平均値の 2%除外値ともに概ね横ばい傾向を示している。

表 6.1-10 浮遊粒子状物質測定結果(平成 26 年度)

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価					長期的評価			
						1 時間値が 0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の 2% 除外値	日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日数	
						時間	%	日	%					mg/m ³
大 一般環境 気	福室 (旧高砂)	1 住	364	8706	0.018	0	0	0	0	0.127	0.047	○	0	
	岩切	1 住	360	8664	0.018	0	0	0	0	0.132	0.044	○	0	
	鶴谷	1 低層	363	8704	0.018	0	0	0	0	0.097	0.043	○	0	
排 自動 出 ガス 車	苦竹	商	362	8682	0.021	0	0	0	0	0.105	0.054	○	0	

注 1) 環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

・短期的評価：1 時間値の日平均値または各 1 時間値を環境基準と比較して評価する。

・長期的評価：日平均値の 2%除外値を環境基準と比較して評価する。ただし、人の健康の保護を徹底する趣旨から、日平均値につき環境基準を超える日が 2 日以上連続した場合は、このような取扱いを行わない。

2) 福室測定局は、平成 26 年 7 月より高砂測定局から名称変更している。

出典：「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-11 浮遊粒子状物質経年変化(平成 22 年度～平成 26 年度)

単位：mg/m³

種別	測定局	項目	年度				
			22	23	24	25	26
一般環境 大 気	福室 (旧 高砂)	年平均値	0.019	0.016	0.018	0.017	0.018
		日平均値の 2%除外値	0.055	0.043	0.045	0.054	0.047
	岩切	年平均値	0.020	0.018	0.016	0.017	0.018
		日平均値の 2%除外値	0.047	0.044	0.039	0.042	0.044
	鶴谷	年平均値	0.019	0.021	0.018	0.019	0.018
		日平均値の 2%除外値	0.048	0.044	0.037	0.044	0.043
自 自動 出 ガス 車	苦竹	年平均値	0.014	0.022	0.021	0.021	0.021
		日平均値の 2%除外値	0.039	0.053	0.053	0.059	0.054

注 1) 環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

2) 福室測定局は、平成 26 年 7 月より高砂測定局から名称変更している。

出典：「公害関係資料集」(平成 22 年度～平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

微小粒子状物質(PM2.5)

平成 26 年度における微小粒子状物質測定結果は表 6.1-12、平成 23 年度～平成 26 年度までの 4 年間における年平均値及び日平均値の年間 98% 値の経年変化は表 6.1-13 に示すとおりである。

平成 26 年度における年平均値は 9.4～13.2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、いずれの測定局においても 15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を下回っていることから、環境基準の長期基準を満足している。また、日平均値の年間 98% 値は 27.8～32.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、いずれの測定局においても 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を下回っていることから、環境基準の短期基準を満足している。なお、日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数は、岩切測定局で 1 日、中野測定局ならびに苦竹測定局で 4 日であった。

また、苦竹測定局における経年変化は、年平均値、日平均値の年間 98% 値ともに、概ね横ばい傾向を示している。年平均値は、環境基準の長期基準を満足しており、短期基準についても平成 25 年度の苦竹測定局を除いて満足している。

表 6.1-12 微小粒子状物質測定結果(平成 26 年度)

種別	測定局	用途地域	有効測定日数	年平均値	日平均値の年間 98% 値	日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合	
			日	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	日	%
一般環境 大気	岩切	1 住	182	9.4	27.8	1	0.5
	中野	1 住	363	12.5	31.9	4	1.1
自動車 排出ガス	苦竹	商	362	13.2	32.0	4	1.1

注) 環境基準：年平均値が 15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1 日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

長期基準及び短期基準の評価を各々実施した上で両者の基準の達成状況から評価する。

・長期基準：年平均値を環境基準と比較して評価する。

・短期基準：日平均値の年間 98% 値を日平均値の代表値として選択して環境基準と比較して評価する。

出典：「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-13 微小粒子状物質経年変化(平成 23 年度～平成 26 年度)

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

種別	測定局	項目	年度			
			23	24	25	26
一般環境 大気	岩切	年平均値	—	—	—	(9.4)
		日平均値の年間 98% 値	—	—	—	(27.8)
	中野	年平均値	—	—	(10.7)	12.5
		日平均値の年間 98% 値	—	—	(33.0)	31.9
自動車 排出ガス	苦竹	年平均値	14.0	13.2	12.9	13.2
		日平均値の年間 98% 値	32.8	30.4	36.1	32.0

注 1) 環境基準：年平均値が 15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1 日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

長期基準及び短期基準の評価を各々実施した上で両者の基準の達成状況から評価する。

・長期基準：年平均値を環境基準と比較して評価する。

・短期基準：日平均値の年間 98% 値を日平均値の代表値として選択して環境基準と比較して評価する。

注 2) 岩切測定局は平成 26 年 10 月より微小粒子状物質の測定を始めた。

注 3) 中野測定局は平成 25 年 12 月より微小粒子状物質の測定を始めた。

注 4) () 内の数値は有効測定時間未満の測定値。

出典：「公害関係資料集」(平成 23 年度～平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

非メタン炭化水素(NMHC)

調査範囲内で非メタン炭化水素を測定しているのは多賀城Ⅱ測定局のみであり、多賀城Ⅱ測定局は平成21年2月28日に測定を休止している。平成20年度における非メタン炭化水素測定結果は表6.1-14、平成16年度～平成20年度までの5年間における年平均値及び6～9時における年平均値の経年変化は表6.1-15に示すとおりである。

非メタン炭化水素には環境基準が設定されていないが、「光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針について(答申)」(昭和51年8月17日 中央公害対策審議会)として「光化学オキシダントの日最高1時間値0.06ppmに対応する午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20ppmCから0.31ppmCの範囲にある」と示されている。

多賀城Ⅱ測定局では、6～9時の3時間平均値が0.31ppmCを超えた日が4日発生している。

また、多賀城Ⅱ測定局における経年変化は、年平均値、6～9時における年平均値ともに横ばい傾向を示している。

表 6.1-14 非メタン炭化水素測定結果(平成20年度)

種別	測定局	用途地域	測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時の3時間平均値		6～9時の3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数とその割合		6～9時の3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数とその割合	
							最高値	最低値	日	%	日	%
			時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC	日	%	日	%
一般環境	多賀城Ⅱ	1住	8314	0.12	0.12	360	0.36	0.02	32	8.9	4	1.1

出典：「平成21年版宮城県環境白書」(宮城県)

表 6.1-15 非メタン炭化水素経年変化(平成16年度～平成20年度)

単位：ppmC

種別	測定局	項目	年度				
			16	17	18	19	20
一般環境	多賀城Ⅱ	年平均値	0.10	0.08	0.09	0.11	0.12
		6～9時における年平均値	0.10	0.10	0.10	0.12	0.12

出典：「平成21年版宮城県環境白書」(宮城県)

イ 降下ばいじん量の状況

平成13年度における降下ばいじん量の測定結果は表 6.1-16 及び図 6.1-3 に、平成9年度～平成13年度までの5年間における経年変化は表 6.1-17 に示すとおりである。調査地点は図 6.1-4 に示すとおりである。

降下ばいじん量は、春季に高く、その他の季節では低い傾向を示している。経年変化は、衛生研究所、中原ともに横ばい傾向がみられる。

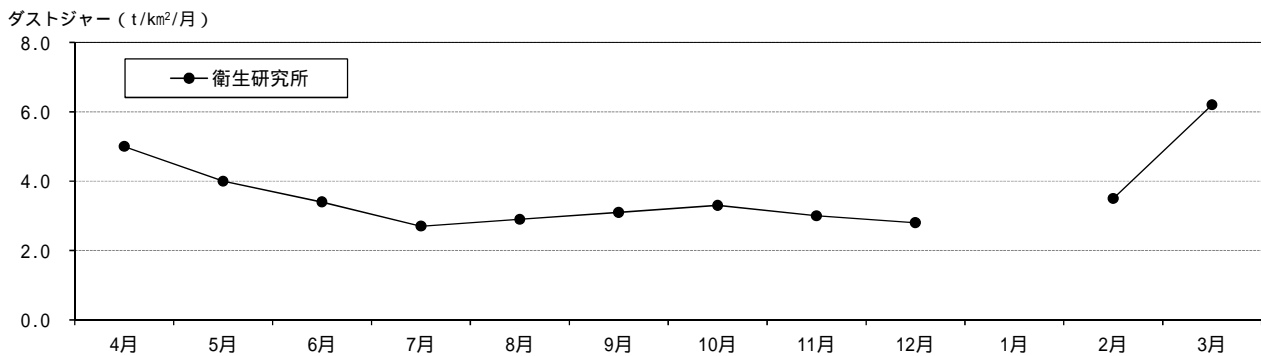
なお、平成13年度以降は調査が実施されていない。

表 6.1-16 降下ばいじん量の月間値(平成13年度)

単位：t/km²/月

測定地点名	降下ばいじん量の月間値(平成13年度)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
衛生研究所	5.0	4.0	3.4	2.7	2.9	3.1	3.3	3.0	2.8	—	3.5	6.2	3.6

出典：「公害関係資料集」(平成14年版 仙台市環境局)



出典：「公害関係資料集」(平成14年版 仙台市環境局)

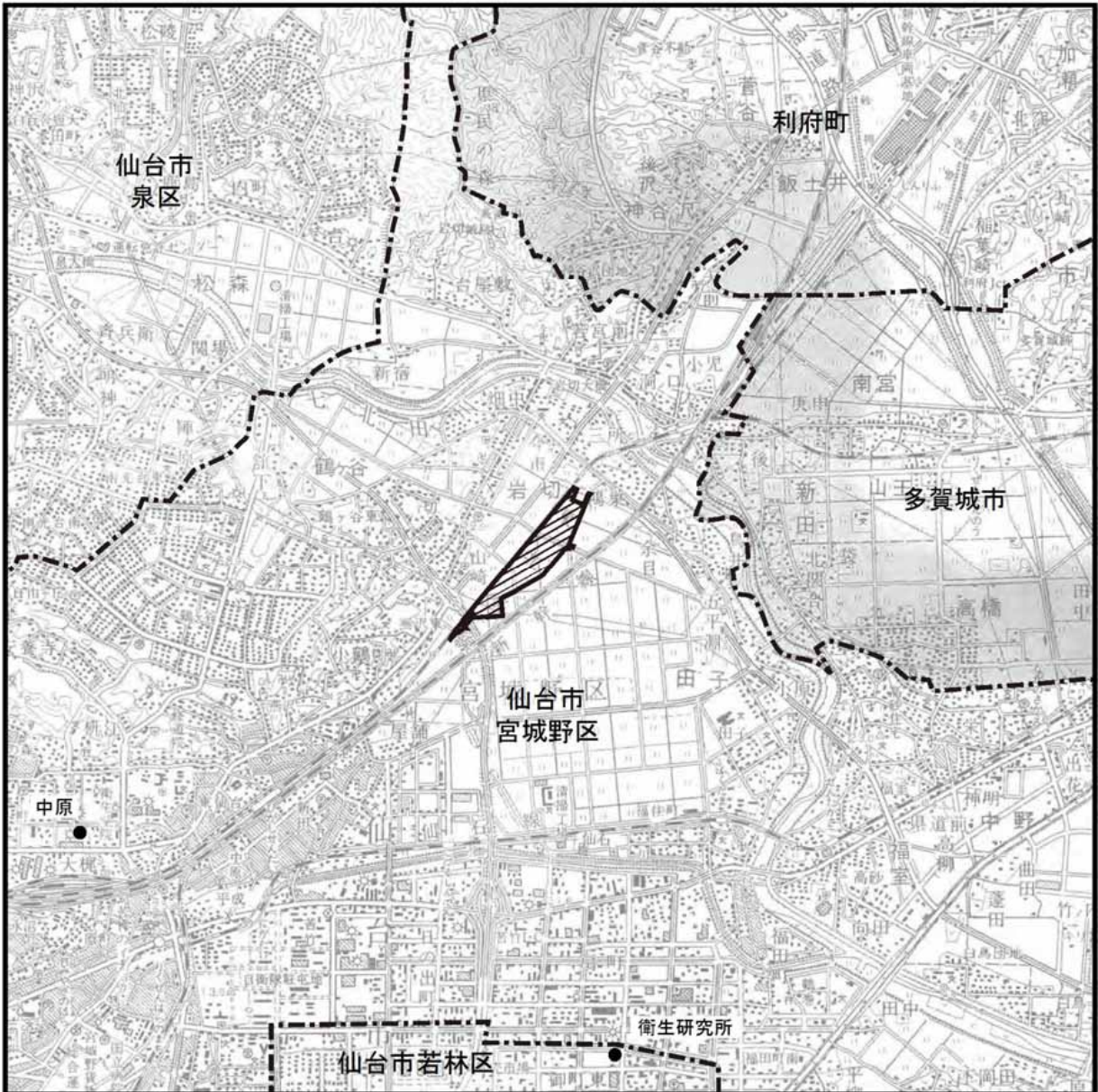
図 6.1-3 降下ばいじん量の月間値(平成13年度)

表 6.1-17 降下ばいじん量の経年推移(平成9年度～平成13年度)




単位：t/km²/月

測定地点名	降下ばいじん量の経年推移(平成9年度～平成13年度)				
	9	10	11	12	13
衛生研究所	3.3	2.8	3.1	3.8	3.6
中原	2.4	2.7	1.9	2.6	—

出典：「公害関係資料集」(平成10年度～平成14年版 仙台市環境局)



凡 例

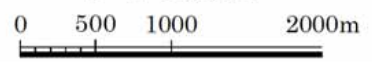
-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 降下ばいじん量測定地点

出典:「公害関係資料集」(平成10年版～平成14年版 仙台市環境局)

図 6.1-4 降下ばいじん量測定地点の位置



S=1:50,000



ウ 大気質に係る苦情の状況

仙台市及び多賀城市における過去5年間の大気質に係る苦情件数の経年変化は、表 6.1-18 に示すとおりである。

ばい煙の苦情件数は、仙台市が4～15件/年で推移しており、多賀城市は0件であった。粉じんの苦情件数は、仙台市が6～25件/年、多賀城市が0～1件/年で推移している。多賀城市では野焼き、ガス臭の苦情も発生しており、このうち野焼きについては0～4件/年で推移しており、平成22年度～平成26年度の多賀城市における大気質に係る苦情の中で件数が最も多い項目となっている。

表 6.1-18 大気質に係る苦情件数の経年変化(平成22年度～平成26年度)

単位：件

項目		年度	22	23	24	25	26
仙台市	ばい煙		8	12	15	4	4
	粉じん		6	24	25	20	16
多賀城市	ばい煙		0	0	0	0	0
	粉じん		0	1	1	0	1
	野焼き		2	4	0	0	3
	農薬空中散布		0	0	0	0	0
	ガス臭		0	1	0	0	1

出典：「公害関係資料集」(平成22年度～平成26年度測定結果)(仙台市環境局)
多賀城市市民経済部生活環境課聞き取り(平成28年11月)

エ 発生源の状況

仙台市における大気汚染防止法に基づく、ばい煙発生施設数及び事業場数及び一般粉じん発生施設数及び事業場数は表 6.1-19、多賀城市における大気汚染防止法に基づく、ばい煙発生施設数及び事業場数と一般粉じん発生施設数及び事業場数は表 6.1-20 に示すとおりである。

図 5-1 に示す関係地域範囲内における大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設届出件数は、表 6.1-21 及び図 6.1-5 に示すとおり、病院、体育館、学校等の 10 事業場である。(平成 26 年 3 月 31 日現在、仙台市環境局への公文書開示請求による)。

なお、関係地域範囲のうち多賀城市域においては、大気汚染防止法(ばい煙)に基づく発生施設はない(平成 26 年 9 月 多賀城市市民経済部生活環境課聞き取り)。

表 6.1-19 仙台市内のばい煙及び一般粉じんの発生施設数及び事業場数(平成 26 年度)

項目		年度	26
ばい煙	発生施設数(事業場数)		1,587(709)
一般粉じん	発生施設数(事業場数)		119(18)

出典:「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-20 多賀城市のばい煙及び一般粉じんの発生施設数及び事業場数(平成 26 年度)

項目		年度	26
ばい煙	発生施設数(事業場数)		120(39)
一般粉じん	発生施設数(事業場数)		15(1)

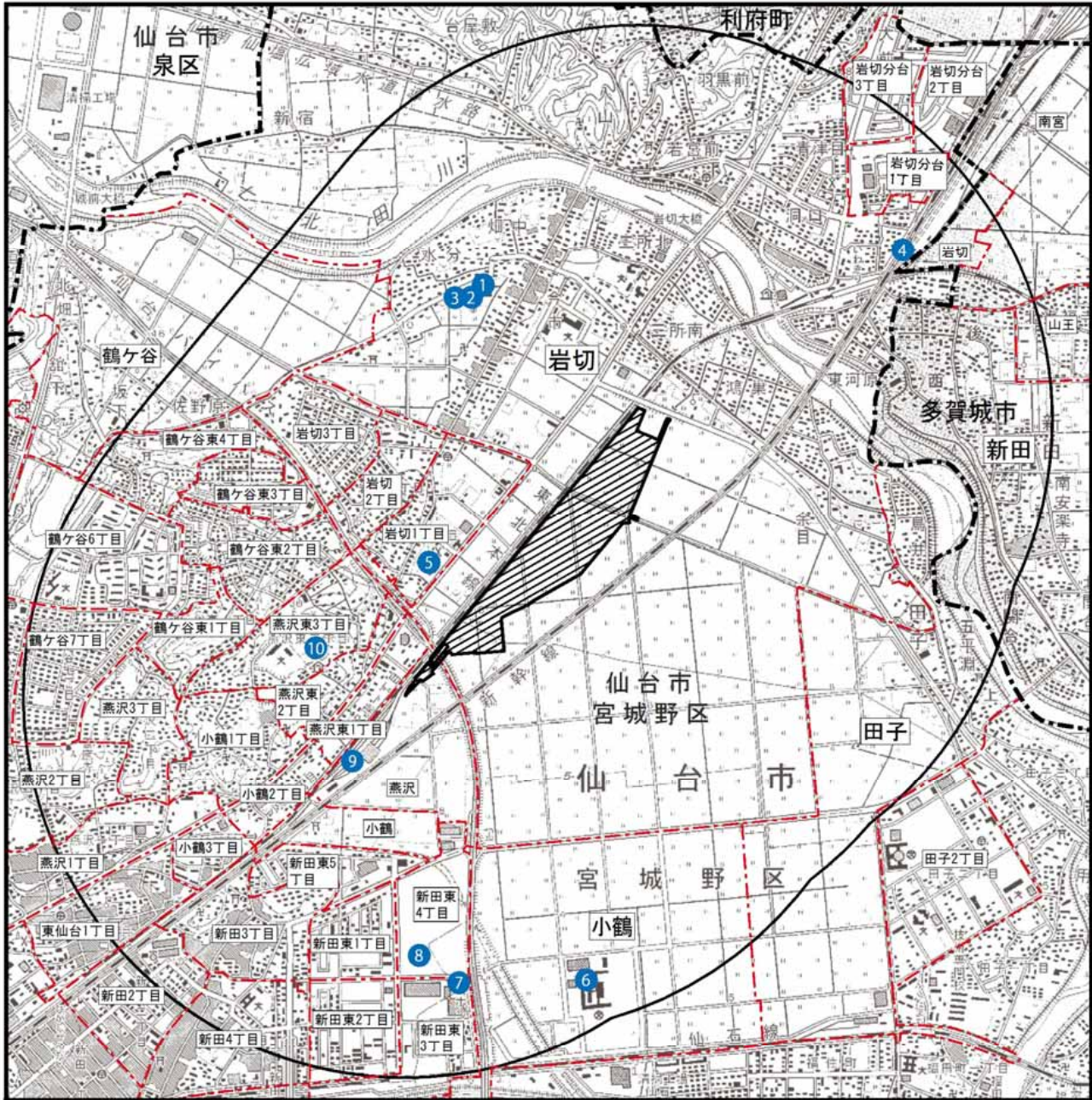
出典:「宮城県公害資料(大気編)」(宮城県環境生活部環境対策課)(平成 27 年 3 月)

表 6.1-21 大気汚染防止法(ばい煙)に基づく発生施設数






市町村	発生施設所在地	図中番号	事業場数	施設数		
				総数	内訳	
仙台市	宮城野区	岩切字稲荷	①~③	3	5	ボイラー:5
		岩切字洞ノ口東	④	1	1	ディーゼル機関:1
		岩切1丁目	⑤	1	2	ボイラー:2
		小鶴字高野	⑥	1	2	ボイラー:2
		小鶴字羽黒	⑦	1	3	ディーゼル機関:1 ガスタービン:2
		新田東4丁目	⑧	1	5	ボイラー:4 ディーゼル機関:1
		燕沢字前塚	⑨	1	2	ボイラー:2
		燕沢東3丁目	⑩	1	1	ボイラー:1

注) 図中番号は図 6.1-5 における位置に対応。

出典:「大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設一覧」(平成 26 年 3 月 31 日現在 仙台市)

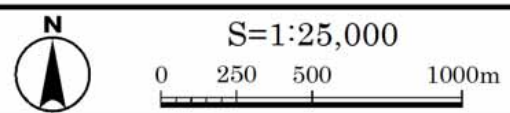


凡例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 町丁目界
-  : 関係地域の範囲(計画地から1500mの範囲)
-  ① ~ ⑩ 大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設を有する事業場

出典：「大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設一覧」
(平成26年3月31日現在 仙台市)

図 6.1-5
大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設



(3) 騒音

ア 騒音の状況

環境騒音

調査範囲において、平成 13 年度に環境騒音測定が 18 地点で実施されている。測定結果は、表 6.1-22 に示すとおりであり、No.1 岩切泉塩釜線(仙台市宮城野区岩切字入生沢)で夜間に環境基準を超過している。他の測定地点ではすべて環境基準を達成している。

表 6.1-22 環境騒音測定結果(平成 13 年度)

単位：dB

地点 No.	対象区域名	測定地点 住所	用途地域	環境 基準 類型	測定結果 (L_{Aeq})		環境基準	
					昼間	夜間	昼間	夜間
1	岩切泉塩釜線	仙台市宮城野区 岩切字入生沢	一種住居	B	52 (○)	50 (×)	55	45
2	鶴ヶ谷東	仙台市宮城野区 鶴ヶ谷東 1 丁目	一種低層	A	45 (○)	45 (○)	55	45
3	燕沢	仙台市宮城野区 燕沢東 3 丁目	二種中高層	A	43 (○)	37 (○)	55	45
4	鶴ヶ谷	仙台市宮城野区 鶴ヶ谷 4 丁目	一種低層	A	44 (○)	42 (○)	55	45
5	幸町	仙台市宮城野区 幸町 2 丁目	一種住居	B	43 (○)	36 (○)	55	45
6	新田	仙台市宮城野区 新田 4 丁目	一種住居	B	41 (○)	37 (○)	55	45
7	宮城野原	仙台市宮城野区 银杏町	近隣商業	C	44 (○)	39 (○)	60	50
8	萩野町	仙台市宮城野区 萩野町 4 丁目	近隣商業	C	43 (○)	39 (○)	60	50
9	田子	仙台市宮城野区 田子 2 丁目	一種中高層	A	45 (○)	40 (○)	55	45
10	福室	仙台市宮城野区 栄 3 丁目	一種住居	B	44 (○)	41 (○)	55	45
11	中野	仙台市宮城野区 中野	近隣商業	C	53 (○)	50 (○)	60	50
12	福田町	仙台市宮城野区 福田町 2 丁目	商業	C	44 (○)	42 (○)	60	50
13	鶴巻	仙台市宮城野区 鶴巻 1 丁目	準工業	C	46 (○)	40 (○)	60	50
14	白鳥	仙台市宮城野区 白鳥 2 丁目	一種住居	B	47 (○)	42 (○)	55	45
15	卸町	仙台市若林区 卸町 3 丁目	商業	C	54 (○)	43 (○)	60	50
16	天神沢	仙台市泉区 天神沢 1 丁目	二種中高層	A	44 (○)	39 (○)	55	45
17	南光台南	仙台市泉区 南光台南 2 丁目	一種低層	A	46 (○)	42 (○)	55	45
18	松森	仙台市泉区 松森字明神	一種住居	B	46 (○)	43 (○)	55	45

注 1) 測定結果の()内は、環境基準の適合状況について示す。○=適合、×=超過

2) 時間の区分は、「騒音に係る環境基準について」(平成 10 年 9 月 環告 64)に基づく。

昼間 6:00~22:00, 夜間 22:00~6:00。

出典：「公害関係資料集」(平成 14 年版 仙台市環境局)

道路交通騒音

調査範囲において自動車騒音測定が実施されている。仙台市内における自動車交通騒音測定結果は、表 6.1-23～表 6.1-27 に示すとおりであり、平成 24 年度には一般国道 45 号、主要地方道仙台松島線 2 評価区間(2 路線)で実施されている。また、多賀城市内における自動車交通騒音測定は、表 6.1-28 に示すとおりである。

平成 26 年度の仙台市の測定結果のうち環境基準を昼間・夜間ともに達成したのは、74%～79%であった。

平成 22 年度～平成 26 年度の自動車騒音測定結果のうち環境基準達成率が低いのは、平成 25 年度の主要地方道仙台塩釜線(宮城野区高砂 1 丁目 31～若林区六丁の目東町 7 番)の 6%であった。

なお、自動車騒音評価区間及び測定地点は図 6.1-6 に示すとおりである。

表 6.1-23 自動車騒音測定結果(平成 26 年度 仙台市)

No.	評価対象道路				評価結果		
	路線名	評価区間	評価区間の延長(km)	評価対象住居等戸数(戸)	環境基準達成状況 達成戸数(戸)(達成率)		
					昼間・夜間とも達成	昼間のみ達成	夜間のみ達成
1	一般国道 45 号	(始点) 仙台市青葉区本町 1 丁目 (終点) 仙台市宮城野区原町 3 丁目	3.4	3,738	2,760 (74%)	117 (3%)	0 (0%)
2	主要地方道 仙台松島線	(始点) 仙台市宮城野区岩切 1 丁目 (終点) 仙台市宮城野区岩切字羽黒前	2.6	297	236 (79%)	41 (14%)	0 (0%)

注) 自動車騒音に関する環境基準については、表 6.2-52 参照。

出典：「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-24 自動車騒音測定結果(平成 25 年度 仙台市)

No.	評価対象道路				評価結果		
	路線名	評価区間	評価区間の延長(km)	評価対象住居等戸数(戸)	環境基準達成状況 達成戸数(戸)(達成率)		
					昼間・夜間とも達成	昼間のみ達成	夜間のみ達成
1	一般国道 45 号	(始点) 仙台市青葉区本町 1 丁目 (終点) 仙台市宮城野区原町 3 丁目	3.4	3,738	2,572 (69%)	319 (9%)	0 (0%)
2	主要地方道 仙台松島線	(始点) 仙台市宮城野区岩切 1 丁目 (終点) 仙台市宮城野区岩切字羽黒前	2.6	298	263 (88%)	23 (8%)	0 (0%)
3	一般国道 45 号	(始点) 仙台市宮城野区日の出町 1 丁目 (終点) 仙台市宮城野区福室 2 丁目	3.1	1,569	1,548 (99%)	21 (1%)	0 (0%)
4	主要地方道 仙台塩釜線	(始点) 仙台市宮城野区高砂 1 丁目 (終点) 仙台市若林区六丁の目東	2.7	125	7 (6%)	0 (0%)	9 (7%)
5	仙台市市道 宮城野通線	(始点) 仙台市宮城野区榴岡 2 丁目 (終点) 仙台市宮城野区宮城野 1 丁目	1.5	814	814 (100%)	0 (0%)	0 (0%)

注) 自動車騒音に関する環境基準については、表 6.2-52 参照。

出典：「公害関係資料集」(平成 25 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-25 自動車騒音測定結果(平成 24 年度 仙台市)

No.	評価対象道路				評価結果		
	路線名	評価区間	評価区間の延長(km)	評価対象住居等戸数(戸)	環境基準達成状況 達成戸数(戸)(達成率)		
					昼間・夜間とも達成	昼間のみ達成	夜間のみ達成
1	一般国道45号	(始点) 仙台市青葉区本町3丁目	3.8	3,957	3,100 (78%)	234 (6%)	0 (0%)
		(終点) 仙台市宮城野区原町3丁目					
2	主要地方道 仙台松島線	(始点) 仙台市宮城野区岩切1丁目	2.6	304	242 (80%)	29 (10%)	0 (0%)
		(終点) 仙台市宮城野区岩切字羽黒前					

注) 自動車騒音に関する環境基準については、表 6.2-52 参照。
出典：「公害関係資料集」(平成 24 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-26 自動車騒音測定結果(平成 23 年度 仙台市)

No.	評価対象道路				評価結果		
	路線名	評価区間	評価区間の延長(km)	評価対象住居等戸数(戸)	環境基準達成状況 達成戸数(戸)(達成率)		
					昼間・夜間とも達成	昼間のみ達成	夜間のみ達成
1	一般国道45号	(始点) 仙台市青葉区本町3丁目	3.8	3,957	3,426 (87%)	531 (13%)	0 (0%)
		(終点) 仙台市宮城野区原町3丁目					
2	主要地方道 仙台松島線	(始点) 仙台市宮城野区岩切1丁目	2.6	304	242 (80%)	29 (10%)	0 (0%)
		(終点) 仙台市宮城野区岩切字羽黒前					
3	一般国道45号	(始点) 仙台市宮城野区原町6丁目	2.3	920	661 (72%)	77 (8%)	0 (0%)
		(終点) 仙台市宮城野区日の出町1丁目					
4	主要地方道 仙台松島線	(始点) 仙台市宮城野区原町3丁目	3.9	1,567	952 (61%)	116 (7%)	0 (0%)
		(終点) 仙台市宮城野区燕沢東2丁目					
5	仙台市市道 宮城野通線	(始点) 仙台市宮城野区榴岡2丁目	1.5	814	814 (100%)	0 (0%)	0 (0%)
		(終点) 仙台市宮城野区宮城野1丁目					

注) 自動車騒音に関する環境基準については、表 6.2-52 参照。
出典：「公害関係資料集」(平成 23 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-27 自動車騒音測定結果(平成 22 年度 仙台市)

No.	評価対象道路				評価結果		
	路線名	評価区間	評価区間の延長(km)	評価対象住居等戸数(戸)	環境基準達成状況 達成戸数(戸)(達成率)		
					昼間・夜間とも達成	昼間のみ達成	夜間のみ達成
1	一般国道45号	(始点) 仙台市青葉区本町3丁目	3.8	3,957	3,911 (99%)	46 (1%)	0 (0%)
		(終点) 仙台市宮城野区原町3丁目					
2	主要地方道 仙台松島線	(始点) 仙台市宮城野区岩切1丁目	2.6	304	234 (77%)	40 (13%)	0 (0%)
		(終点) 仙台市宮城野区岩切字羽黒前					
3	仙台市市道 六丁目鶴谷線	(始点) 仙台市宮城野区原町6丁目	1.7	537	537 (100%)	0 (0%)	0 (0%)
		(終点) 仙台市宮城野区日の出町1丁目					

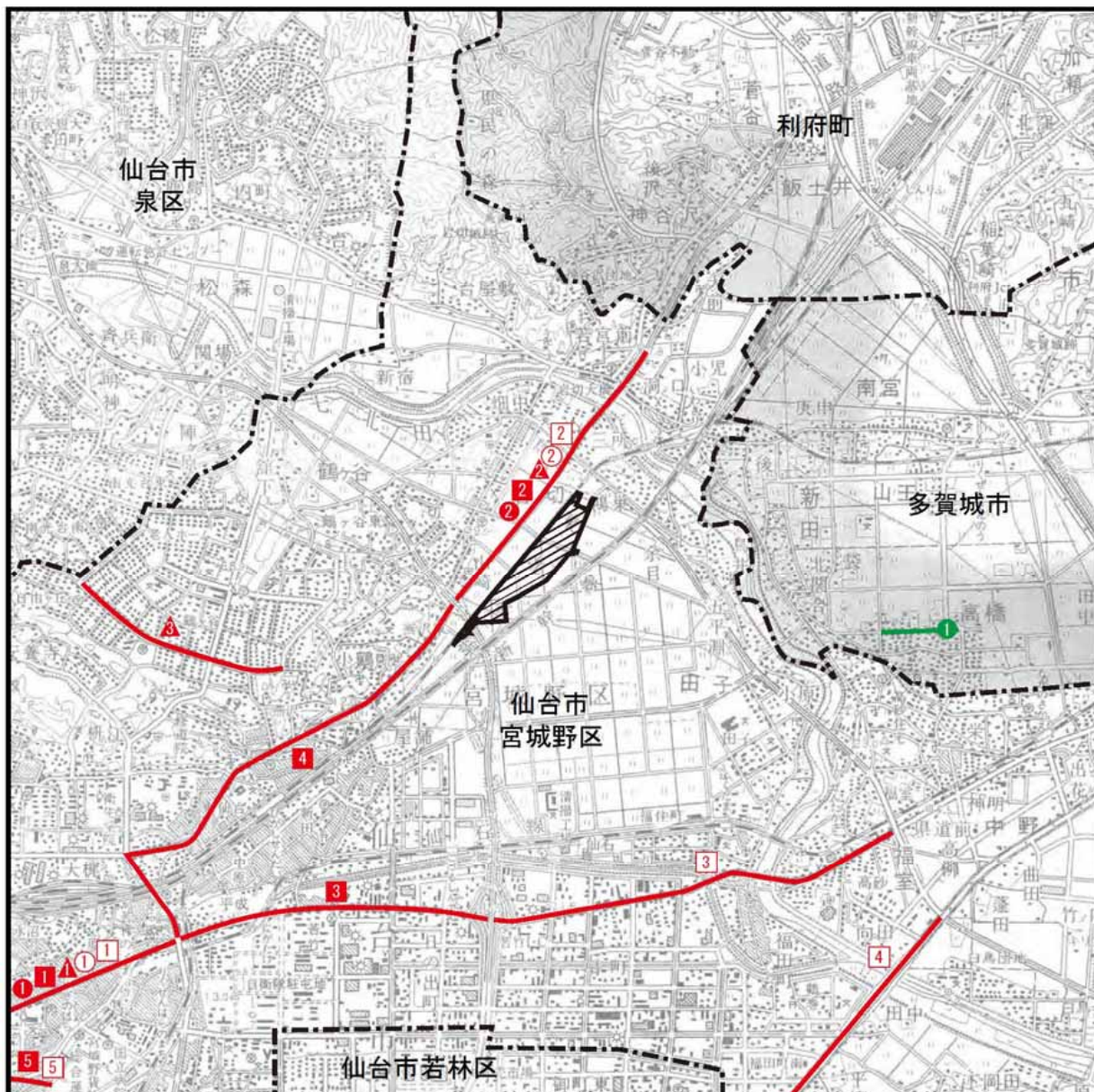
注) 自動車騒音に関する環境基準については、表 6.2-52 参照。
出典：「公害関係資料集」(平成 22 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-28 自動車騒音測定結果(平成 22 年度～平成 26 年度 多賀城市)





No.	路線名	測定地点	用途地域	環境基準 類型	調査 年度	測定結果 (L_{Aeq})		環境基準	
						昼間	夜間	昼間	夜間
1	多賀城市市道 新田高橋二号線	多賀城市 高橋 1 丁目 6-20	一種 中高層	A	22	61 (○)	61 (○)	70	65
					23	54 (○)	47 (○)	70	65
					24	52 (○)	43 (○)	55	45
					25	61 (×)	52 (○)	60	55
					26	63 (×)	53 (○)	60	55

注) 測定結果の()内は、環境基準の適合状況について示す。○=適合, ×=超過

出典: 「平成 26 年度版統計書」(平成 28 年 5 月 多賀城市)

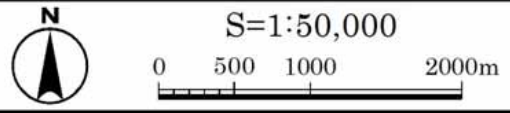


凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 自動車騒音評価対象道路(評価区間)[仙台市]
 - 平成26年度(① ~ ②)
 - 平成25年度(① ~ ⑤)
 - 平成24年度(① ~ ②)
 - 平成23年度(① ~ ⑤)
 - 平成22年度(▲ ~ ▲)
-  : 自動車交通騒音測定路線・測定地点[多賀城市]

出典:「公害関係資料集」(平成22年度～平成26年度測定結果)(仙台市環境局)
 「平成26年度版多賀城市統計書」(多賀城市市民経済部生活環境課)

図 6.1-6 自動車騒音評価区間・測定地点



鉄道騒音

調査範囲において、図 6.1-7 に示す箇所にて鉄道騒音測定が実施されている。東北新幹線の鉄道騒音測定結果は表 6.1-29、在来線(仙石線)の鉄道騒音測定は表 6.1-30 に示すとおりである。

平成 25 年度及び平成 26 年度における新幹線鉄道騒音測定では、上り側、下り側とも軌道中心から 25m までの範囲で環境基準を超過している。

表 6.1-29 東北新幹線鉄道騒音測定結果(平成 22 年度～平成 26 年度)

測定場所			地域の類型及び環境基準				東京起点からの距離		
仙台市宮城野区岩切字東河原地内			I 類型 70dB				333.4km		
測定年月日	測定地点	平均列車速度	騒音レベル dB				測定本数 上り/下り	軌道の 種類	防音壁
			軌道中心からの距離						
			12.5m	25m	50m	100m			
H22.5.17	上り側	235km/h (247km/h)	73 (●)	70	68	63	10/10	スラブ 逆L型 ラムダ型 吸音板	
H22.5.25	下り側	243km/h (252km/h)	72 (●)	72 (●)	69	—	10/12		
H23.10.7	上り側	255km/h (265km/h)	77 (●)	74 (●)	71 (●)	68	9/11		
H23.11.1	下り側	248km/h (256km/h)	76 (●)	73 (●)	69	—	9/11		
H24.6.13	上り側	225km/h (246km/h)	73 (●)	69	67	61	9/11		
H24.6.26	下り側	249km/h (255km/h)	74 (●)	72 (●)	70	—	9/11		
H25.6.17	上り側	249km/h (257km/h)	76 (●)	71 (●)	66	62	9/11		
H25.6.24	下り側	246km/h (253km/h)	76 (●)	73 (●)	68	—	10/10		
H26.7.15	上り側	249km/h (257km/h)	76 (●)	72 (●)	67	61	9/11		
H26.7.23	下り側	253km/h (261km/h)	79 (●)	76 (●)	68	—	9/11		

注 1) 平均列車速度における()内の数値は、列車速度の上位半数の平均値。

2) 騒音レベルにおける●印は当該地域の環境基準を超過したものを示す。

3) 新幹線鉄道騒音に関する環境基準については、表 6.2-53 参照。

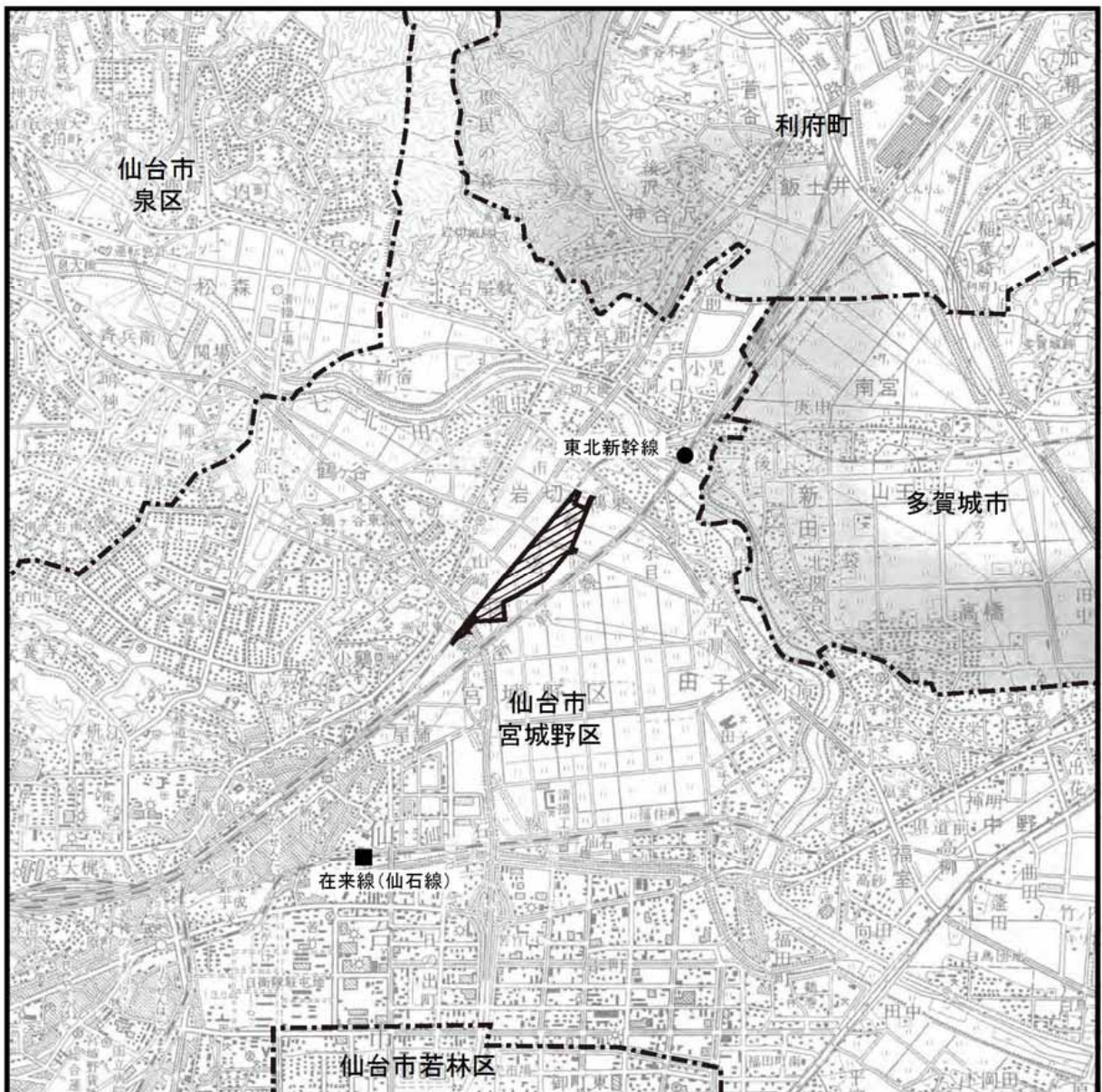
出典：「公害関係資料集」(平成 22 年度～平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-30 在来線鉄道騒音測定結果(平成 22 年度～平成 26 年度)





路線名	測定場所	軌道中心 からの 距離(m)	測定年月日	評価本数(本)		L_{Aeq} (等価騒音レベル:dB)		L_{dn} (昼夜等価騒音 レベル:dB)
				昼	夜	昼	夜	
東日本 旅客鉄道(株) 仙石線	仙台市 宮城野区 新田 4 丁目	12.5 (下り側)	H22.6.3 ～6.4	105	18	60.2	54.5	62.3
			H23.6.20 ～6.21	151	25	62.6	57.0	64.8
			H24.7.10 ～7.11	138	21	61.7	56.0	63.8
			H25.7.10 ～7.11	156	24	62.4	57.2	64.8
			H26.9.2 ～9.3	179	25	64.4	57.8	66.0

注) 昼とは7時から22時まで、夜とは22時から翌日7時まで。軌道構造は平地。

出典：「公害関係資料集」(平成 22 年度～平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)



凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 東北新幹線鉄道騒音・振動測定地点
-  : 在来線鉄道騒音・振動測定地点

出典:「公害関係資料集」(平成22年度～平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

図 6.1-7 鉄道騒音・振動測定地点



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

イ 騒音に係る苦情の状況

仙台市及び多賀城市における過去5年間の騒音に係る苦情件数の経年変化は、表 6.1-31 に示すとおりである。仙台市の騒音の苦情件数は97件～139件/年で推移しており、多賀城市の苦情件数は5～24件/年で推移している。

表 6.1-31 騒音に係る苦情件数の経年変化(平成22年度～平成26年度)

単位：件

年度		20	21	22	25	26
項目	仙台市	126	97	121	128	139
	多賀城市	13	5	24	12	11

出典：「公害関係資料集」(平成22年度～平成26年度測定結果)(仙台市環境局)
「平成26年度版統計書」(平成28年5月 多賀城市)

ウ 発生源の状況

仙台市における騒音規制法に基づく特定建設作業届出状況は、表 6.1-32 に示すとおりである。

平成26年度の全257件のうち、工事種別ではビル等工事が135件を占めている。また、作業内容においてはさく岩機を使用する作業が89件を占めている。

表 6.1-32 騒音規制法に基づく特定建設作業届出状況(平成26年度)

作業内容	工事種別	ビル等 工事	上下水道 等工事	道路河川 等工事	その他の 工事	合計
くい打機くい抜機を使用する作業		13		1	1	15
びょう打機を使用する作業						—
さく岩機を使用する作業		89		8	68	165
空気圧縮機を使用する作業		9	1		21	31
コンクリートプラントを設けて行う作業						—
バックホウを使用する作業		24		2	18	44
トラクターショベルを使用する作業						—
ブルドーザーを使用する作業					2	2
計		135	1	11	110	257

出典：「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

図5-1に示す関係地域範囲内における騒音規制法に基づく特定施設届出件数は表 6.1-33及び図 6.1-8に示すとおり、病院、体育館等の15事業場である。また、宮城県公害防止条例(騒音)に基づく特定施設届出件数は表 6.1-34及び図 6.1-9に示すとおり、5事業場である(いずれも、騒音振動特定施設一覧、平成26年3月31日現在による)。

なお、関係地域範囲のうち多賀城市域においては、騒音規制法及び宮城県公害防止条例(騒音)に基づく特定施設はない(平成26年9月 多賀城市市民経済部生活環境課聞き取り)。

表 6.1-33 騒音規制法に基づく事業場数

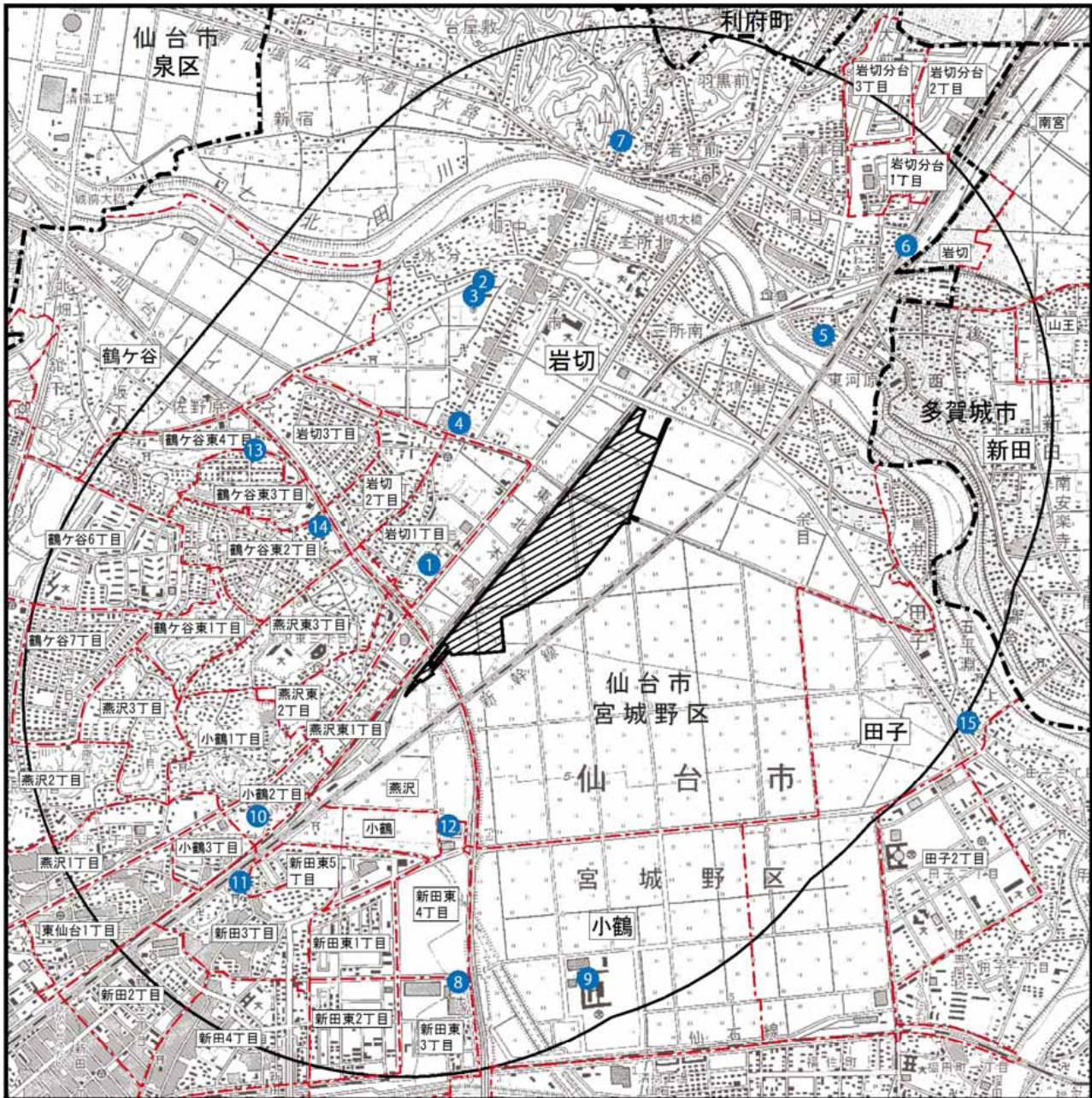
市区名	事業場所在地	事業場数	市区名	事業場所在地	事業場数
仙台市 宮城野区	岩切1丁目	1	仙台市 宮城野区	小鶴字高野	1
	岩切字稲荷	2		小鶴2丁目	1
	岩切字今市	1		新田3丁目	1
	岩切字東河原	1		新田東4丁目	1
	岩切字洞ノ口東	1		鶴ヶ谷東3丁目	1
	岩切字入山	1		鶴ヶ谷東2丁目	1
	小鶴字羽黒	1		田子字新入	1

出典：「騒音振動特定施設一覧 平成26年3月31日現在」(仙台市)

表 6.1-34 宮城県公害防止条例(騒音)に基づく事業場数

市区名	事業場所在地	事業場数
仙台市宮城野区	岩切1丁目	1
	岩切字稲荷	2
	岩切字東河原	1
	新田3丁目	1

出典：「騒音振動特定施設一覧 平成26年3月31日現在」(仙台市)



凡例

: 計画地

: 市町・区境界線

: 町丁目界

: 関係地域の範囲(計画地から1500mの範囲)

① ~ ⑮ 騒音規制法に基づく特定施設を有する事業場

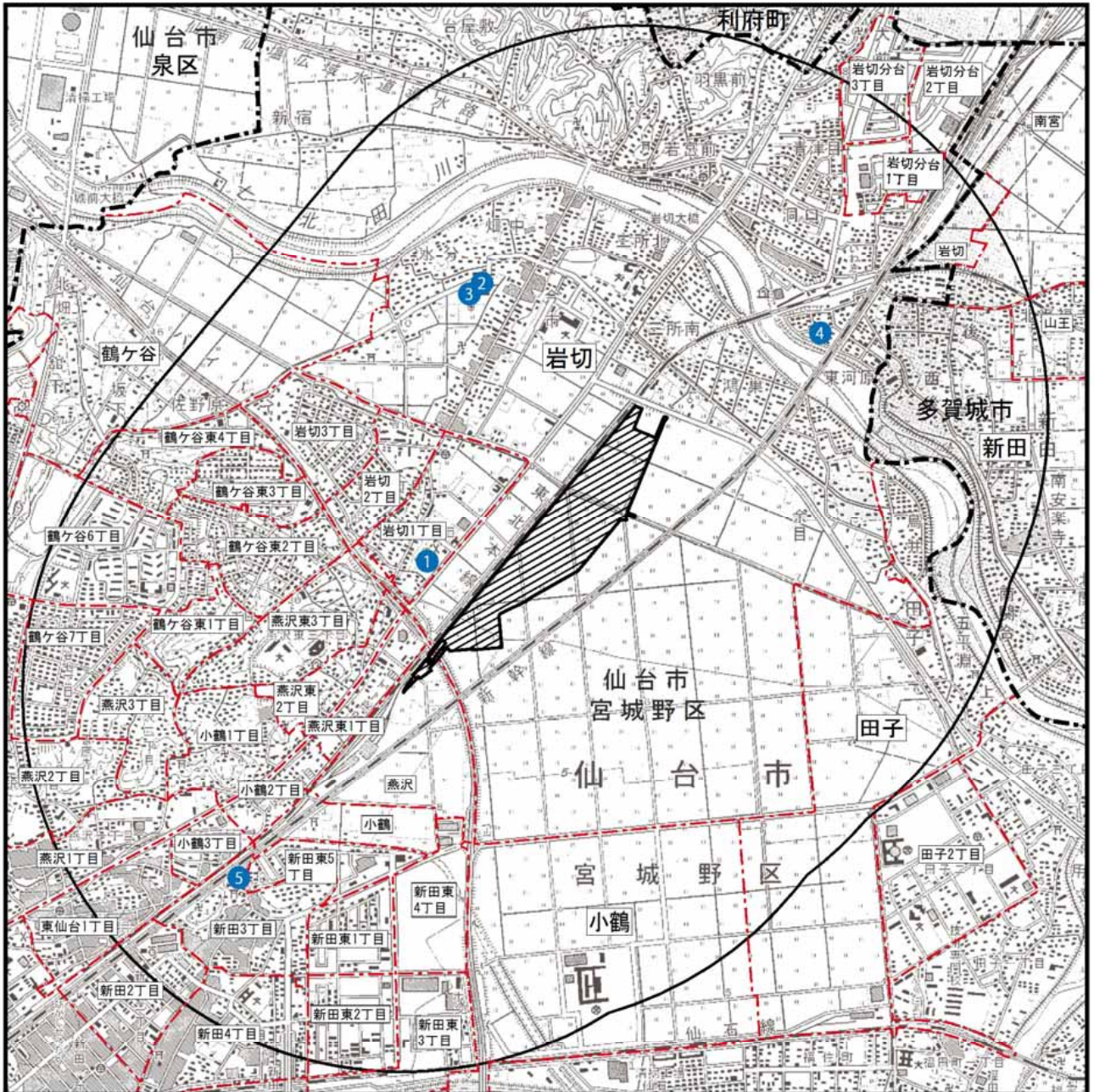
出典：「騒音振動特定施設一覧 平成26年3月31日現在」(仙台市)

図 6.1-8 騒音規制法に基づく特定施設









S=1:25,000

0 250 500 1000m



凡例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 町丁目界
-  : 関係地域の範囲(計画地から1500mの範囲)
-  ~  宮城県公害防止条例(騒音)に基づく特定施設を有する事業場

出典: 「騒音振動特定施設一覧 平成26年3月31日現在」(仙台市)

図 6.1-9
宮城県公害防止条例(騒音)に基づく特定施設



S=1:25,000
0 250 500 1000m

(4) 振動

ア 振動の状況

道路交通振動

調査範囲において、一般国道45号及び県道仙台松島線で自動車交通振動測定が実施されており、平成11年度の測定結果は表6.1-35に示すとおりである。なお、調査地点は図6.1-10に示すとおりである。

振動レベル(L₁₀)は38dB～48dBであり要請限度(70dB)を下回っている。

表 6.1-35 自動車交通振動測定結果(平成11年度)

単位：dB

道路名	測定場所	用途地域	区域区分	要請限度(昼間)	振動レベル L ₁₀ (昼間)
一般国道45号	仙台市宮城野区原町二丁目4-45	商業	第二種	70	38
主要地方道 仙台松島線	仙台市宮城野区岩切字三所南88-1	準工業	第二種	70	48

注) 自動車交通振動に関する環境基準については、表6.2-60参照。

第二種区域区分の要請限度は昼間(8時～19時)70dB以下、夜間(19時～8時)65dB以下。

出典：「公害関係資料集」(平成12年版 仙台市環境局)

鉄道振動

調査範囲において、図6.1-7に示す箇所にて鉄道振動測定が実施されている。東北新幹線の鉄道振動測定結果は表6.1-36に示すとおりである。平成26年度における新幹線鉄道振動測定結果は基準を満足している。

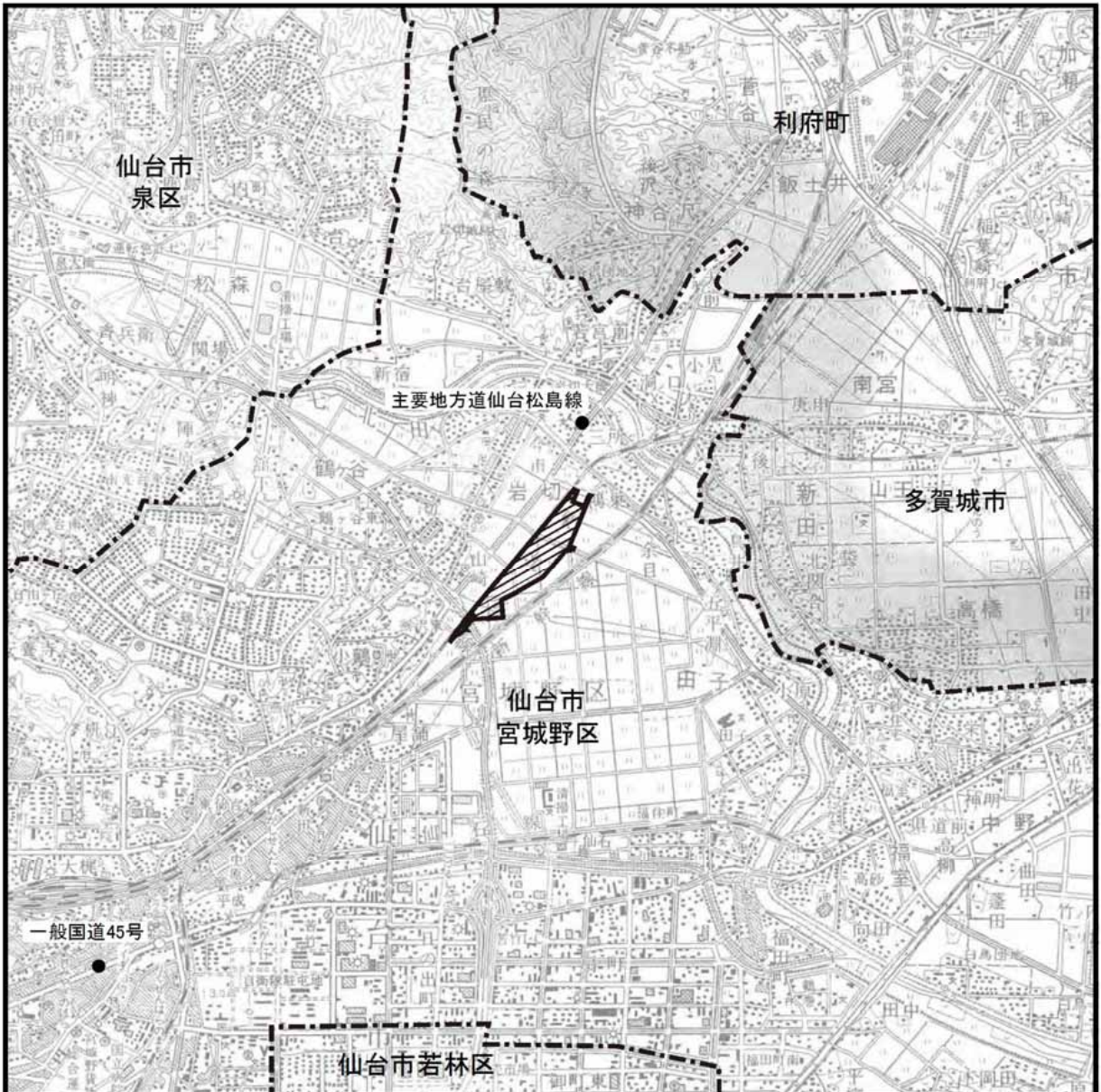
表 6.1-36 東北新幹線鉄道振動測定結果(平成22年度～平成26年度)

測定場所			基準(指針値)		東京起点からの距離	
仙台市宮城野区岩切字東河原地内			70dB		333.4km	
測定年月日	測定地点	平均列車速度	振動レベル dB		測定本数 上り/下り	軌道の 種類
			軌道中心からの距離			
			12.5m	25m		
H22.5.17	上り側	235km/h (247km/h)	52	51	10/10	スラブ
H22.5.25	下り側	243km/h (252km/h)	52	51	10/12	
H23.10.7	上り側	255km/h (265km/h)	54	53	9/11	
H23.11.1	下り側	248km/h (256km/h)	55	54	9/11	
H24.6.13	上り側	225km/h (246km/h)	52	51	9/11	
H24.6.26	下り側	249km/h (255km/h)	55	54	9/11	
H25.6.17	上り側	249km/h (257km/h)	55	52	9/11	
H25.6.24	下り側	246km/h (253km/h)	55	53	10/10	
H26.7.15	上り側	249km/h (257km/h)	53	52	9/11	




注 1) 平均列車速度における()内の数値は、列車速度の上位半数の平均値。

2) 振動の基準は表6.2-65に示す指針値の70dB。

出典：「公害関係資料集」(平成22年度～平成26年度測定結果)(仙台市環境局)



凡例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 自動車交通振動測定地点

出典:「公害関係資料集」(平成12年版 仙台市環境局)

図 6.1-10 自動車交通振動測定地点



S=1:50,000
0 500 1000 2000m

イ 振動に係る苦情の状況

仙台市及び多賀城市における過去5年間の振動に係る苦情件数の経年変化は、表 6.1-37 に示すとおりである。仙台市の振動の苦情件数は2件～15件/年で推移しており、多賀城市の振動の苦情件数は0件～1件/年で推移している。

表 6.1-37 振動に係る苦情件数の経年変化(平成22年度～平成26年度)

単位：件

項目	年度	22	23	24	25	26
	振動	2	2	12	15	11
1		1	—	1	1	—

出典：「公害関係資料集」(平成22年度～平成26年度測定結果)(仙台市環境局)
「平成26年度版統計書」(平成28年5月 多賀城市)

ウ 発生源の状況

仙台市における振動規制法に基づく特定建設作業届出状況は、表 6.1-38 に示すとおりである。

平成26年度の全体158件のうち、工事種別ではビル等工事が96件を占めている。また、作業内容においてはブレーカーを使用する作業が121件を占めている。

表 6.1-38 振動規制法に基づく特定建設作業届出状況(平成26年度)

単位：件

作業内容	工事種別	ビル等 工事	上下水道等 工事	道路河川等 工事	その他の 工事	合計
くい打機くい抜機を使用する作業		23		1	8	32
鋼球を使用して破壊する作業						—
舗装破碎機を使用する作業		1		4		5
ブレーカーを使用する作業		72		5	44	121
計		96	—	10	52	158

出典：「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

図5-1に示す関係地域範囲内における振動規制法に基づく特定施設届出件数は表 6.1-39及び図 6.1-11に示すとおり、病院等の17事業場である。また、宮城県公害防止条例(振動)に基づく特定施設届出件数は、表 6.1-40及び図 6.1-12に示すとおり、病院等の15事業場である(いずれも、騒音振動特定施設一覧、平成26年3月31日現在による)。

なお、関係地域範囲のうち多賀城市域においては、振動規制法及び宮城県公害防止条例(振動)に基づく特定施設はない(平成26年9月 多賀城市市民経済部生活環境課聞き取り)。

表 6.1-39 振動規制法に基づく事業場数

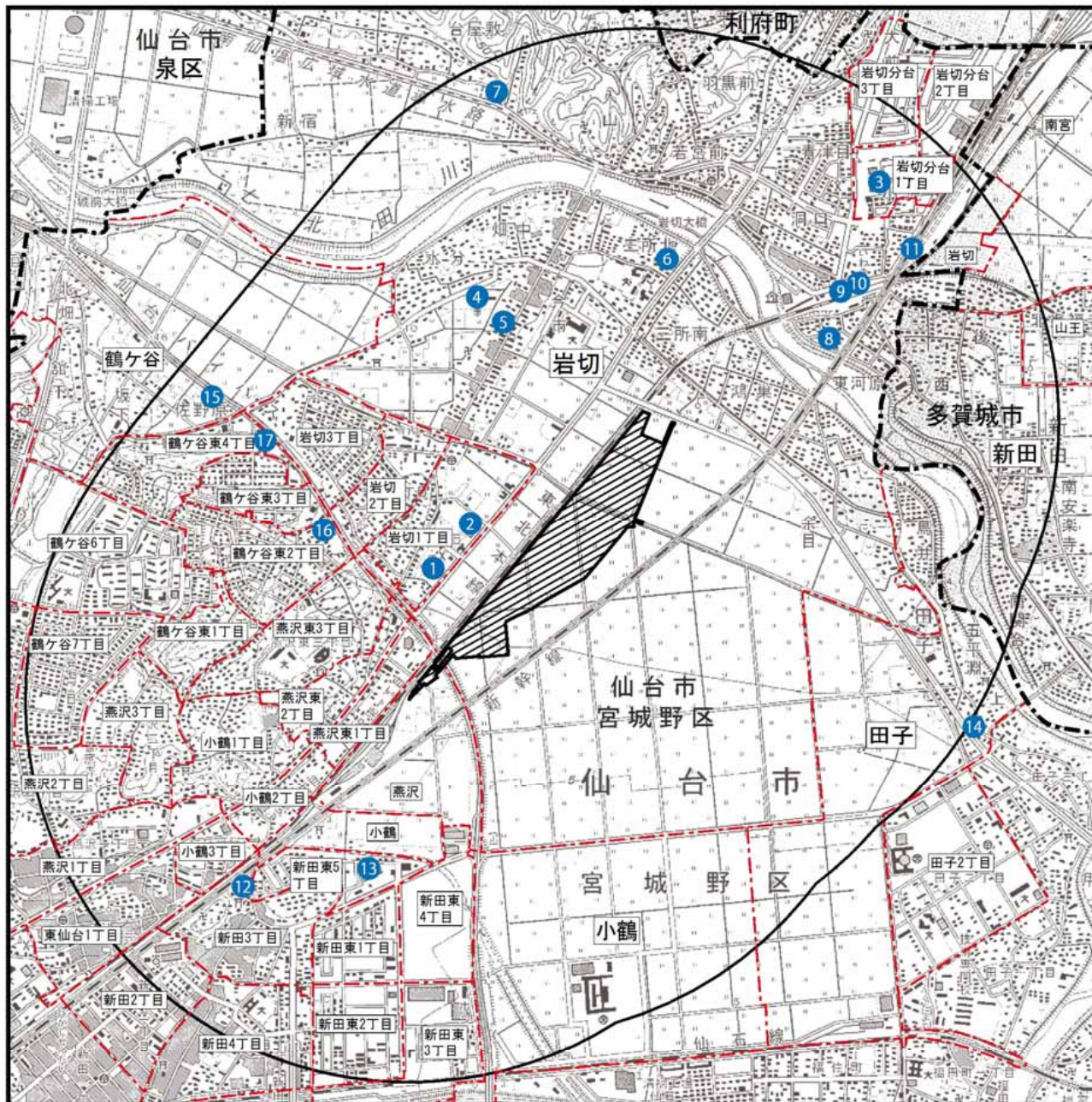
市区名	事業場所在地	事業場数	市区名	事業場所在地	事業場数
仙台市 宮城野区	岩切1丁目	2	仙台市 宮城野区	岩切字洞ノ口東	1
	岩切字分台	1		新田3丁目	1
	岩切字稻荷	1		新田東5丁目	1
	岩切字今市	1		田子字新入	1
	岩切字三所北	1		鶴ヶ谷字京原	1
	岩切字昭和東	1		鶴ヶ谷東2丁目	1
	岩切字東河原	1		鶴ヶ谷東4丁目	1
	岩切字洞ノ口	2			

出典：「騒音振動特定施設一覧 平成26年3月31日現在」(仙台市)






表 6.1-40 宮城県公害防止条例(振動)に基づく事業場数

市区名	事業場所在地	事業場数	市区名	事業場所在地	事業場数
仙台市 宮城野区	岩切1丁目	2	仙台市 宮城野区	岩切字洞ノ口	2
	岩切字分台	1		岩切字洞ノ口東	1
	岩切字稻荷	1		新田3丁目	1
	岩切字今市	1		新田東5丁目	1
	岩切字三所北	1		鶴ヶ谷字京原	1
	岩切字昭和東	1		鶴ヶ谷東4丁目	1
	岩切字東河原	1			

出典：「騒音振動特定施設一覧 平成26年3月31日現在」(仙台市)



凡例

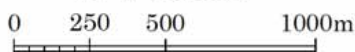
-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 町丁目界
-  : 関係地域の範囲(計画地から1500mの範囲)
-  ① ~ ⑰ 振動規制法に基づく特定施設を有する事業場

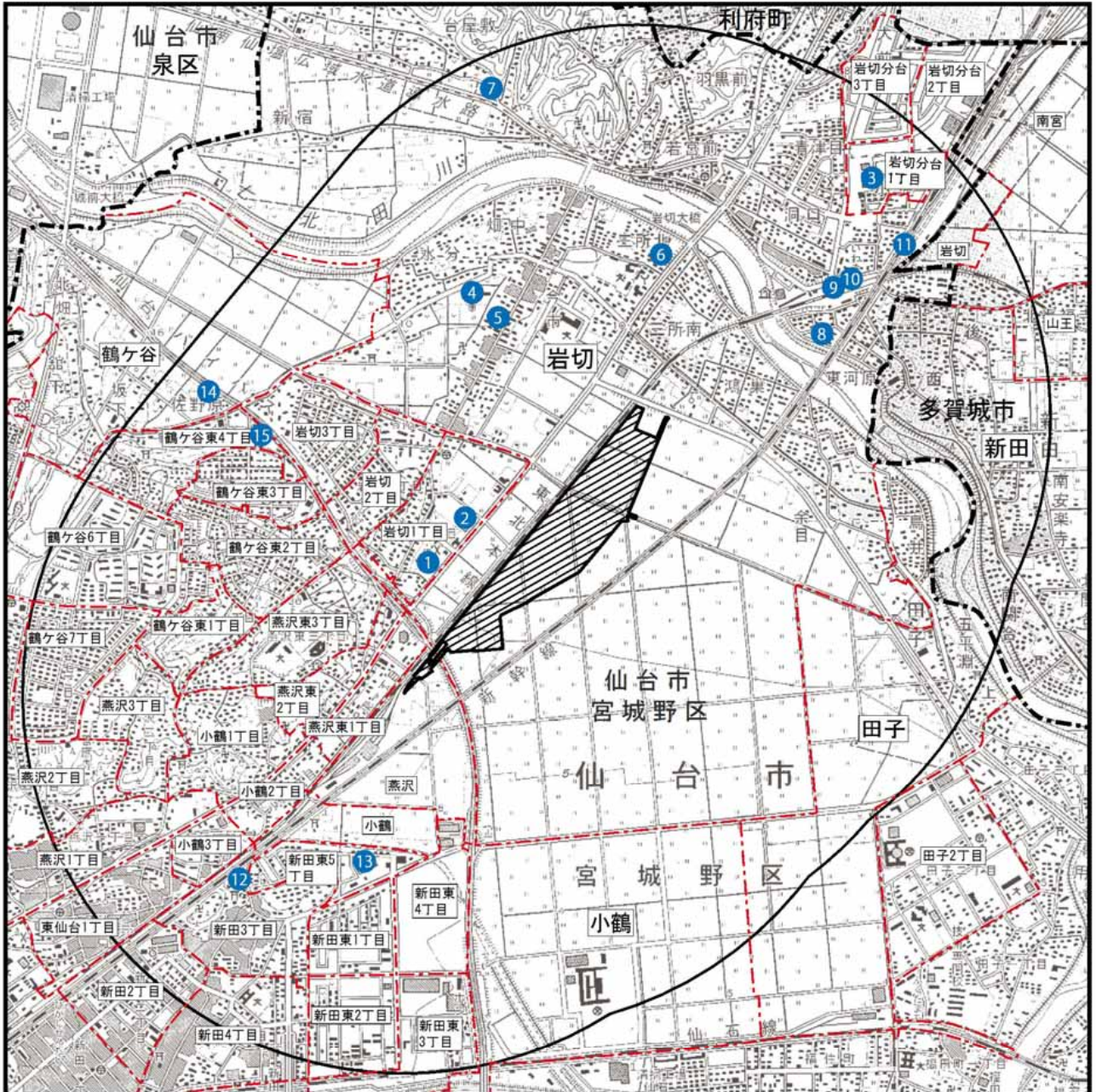
出典：「騒音振動特定施設一覧 平成26年3月31日現在」(仙台市)

図 6.1-11 振動規制法に基づく特定施設









S=1:25,000





凡例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 町丁目界
-  : 関係地域の範囲(計画地から1500mの範囲)
-  ~  宮城県公害防止条例(振動)に基づく特定施設を有する事業場

出典: 「騒音振動特定施設一覧 平成26年3月31日現在」(仙台市)

図 6.1-12
宮城県公害防止条例(振動)に基づく特定施設



S=1:25,000
0 250 500 1000m

(5) 悪臭

ア 悪臭の状況

過去5年間の悪臭に係る苦情件数の経年変化は、仙台市は表 6.1-41、多賀城市は表 6.1-42 に示すとおりである。

平成26年度における仙台市の苦情件数は、全体26件のうち、個人住宅・アパート・寮が7件と最も多く、次いでサービス業・その他の5件であった。

平成26年度における多賀城市の苦情件数は、全体6件のうち、その他の製造工場が2件と最も多く、サービス業・その他、下水・用水、個人住宅・アパート・寮及び猫の糞尿がそれぞれ1件であった。

表 6.1-41 悪臭に係る苦情件数の経年変化(平成22年度～平成26年度 仙台市)

単位：件

発生源区分	年度	22	23	24	25	26
畜産農業		1			2	1
飼料・肥料製造工場						
食料品製造工場		3	1		1	
化学工場						
その他の製造工場			3	2	4	
サービス業・その他		8	7	14	6	5
移動発生源						
建設作業現場			1	1	2	2
下水・用水			3			
ごみ集積所		1	1		1	
個人住宅・アパート・寮		4	3	8	8	7
不明		2	7	14	6	11
計		19	26	39	30	26

出典：「公害関係資料集」(平成22年度～平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-42 悪臭に係る苦情件数の経年変化(平成 22 年度～平成 26 年度 多賀城市)

単位：件

発生源区分	年度	22	23	24	25	26
畜産農業						
飼料・肥料製造工場						
食料品製造工場						
化学工場						
その他の製造工場				1		2
サービス業・その他	2	2				1
移動発生源						
建設作業現場				1	1	
下水・用水	1	1	3	2	1	
ごみ集積所						
個人住宅・アパート・寮	2		5			1
畑の堆肥					1	
猫の糞尿						1
不明	2	4	4	2		
計		7	7	14	6	6

出典：多賀城市市民経済部生活環境課聞き取り(平成 28 年 11 月)

イ 発生源の状況

悪臭に係る苦情件数が多い発生源区分は、「6.1.1 大気環境 (5)悪臭 ア悪臭の状況」に示したとおり、仙台市及び多賀城市においては個人住宅・アパート・寮である。

6.1.2 水環境

(1) 水質

ア 水質汚濁の状況

調査範囲では、河川の水質調査が計画地北側を流れる七北田川の今市橋とその下流の福田大橋と高砂橋、計画地南側を流れる高野川の高野川最下流、梅田川の大田見橋と福田橋、多賀城市内を流れる砂押川の市川橋の計7地点で実施され、湖沼の水質調査が平成24年度に与兵衛沼、安養寺大堤、ひょうたん池、加瀬沼の4地点で実施されている。なお、水質の調査地点は、図6.1-13に示すとおりである。

平成26年度における河川の各地点の水質調査結果は表6.1-43～表6.1-45、平成24年度における湖沼の各地点の水質調査結果は表6.1-46及び表6.1-47に示すとおりである。

河川の調査結果において、生活環境項目については、pH(水素イオン濃度)では梅田川の大田見橋、BOD(生物化学的酸素要求量)では七北田川の高砂橋、福田大橋及び今市橋、SS(浮遊物質)では七北田川の今市橋、梅田川の福田橋、大腸菌群数では七北田川の福田大橋、今市橋で環境基準値を満足しない月がみられた。なお、DO(溶存酸素量)は、すべての地点で環境基準を満足していた。健康項目については、河川・湖沼ともにすべての地点で環境基準を満足していた。

七北田川(福田大橋)及び梅田川(福田橋)において、水質のダイオキシン類監視調査が実施されている。その結果は表6.1-48に示すとおりであり、いずれの地点も環境基準を満足している。

表 6.1-43 河川の水質調査結果(生活環境項目 平成 26 年度)

河川名	地点名	環境基準		pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
		類型 (※1)	達成 期間 (※2)	最小～最大 (年平均) 75%値	最小～最大 (年平均) 75%値	最小～最大 (年平均) 75%値	最小～最大 (年平均) 75%値	最小～最大 (年平均) 75%値
七北田川	高砂橋	C	口	7.0～8.2 (7.5) 7.6	6.1～11 (8.9) 10	0.6～5.9 (1.6) 1.8	2～15 (6) 7	1.3×10 ¹ ～1.3×10 ⁵ (1.4×10 ⁴) 1.0×10 ⁴
	福田大橋	B	口	7.1～8.2 (7.5) 7.5	5.7～14 (9.7) 11	0.8～3.7 (1.5) 1.6	1～18 (8) 11	1.3×10 ² ～1.7×10 ⁴ (2.6×10 ³) 3.0×10 ³
	今市橋	B	口	7.2～8.5 (7.5) 7.6	8.6～13 (11) 12	0.5～6.3 (2.0) 1.7	1～34 (8) 7	1.7×10 ² ～4.9×10 ⁴ (1.2×10 ⁴) 1.3×10 ⁴
梅田川	福田橋	C	イ	7.3～7.8 (7.5) 7.6	5.9～13 (9.3) 11	0.8～3.9 (1.6) 1.9	2～54 (11) 12	2.8×10 ² ～2.4×10 ⁵ (3.0×10 ⁴) 5.2×10 ⁴
	大田見橋	C	イ	7.4～8.6 (7.8) 8.0	8.6～15 (11) 13	<0.5～3.9 (1.2) 1.4	<1～7 (2) 3	1.7×10 ² ～7.9×10 ⁴ (1.5×10 ⁴) 1.4×10 ⁴
高野川	高野川 最下流	—	—	7.3～7.6 (7.4) 7.5	5.9～12 (8.9) 10	<0.5～3.5 (1.5) 1.7	2～78 (14) 15	3.3×10 ² ～7.9×10 ⁴ (1.6×10 ⁴) 2.2×10 ⁴
砂押川	市川橋	C	—	(7.9)	(11.4)	(3.0)	(10.0)	—
環境基準		B	—	6.5以上 8.5以下	5mg/L以上	3mg/L以下	25mg/L以下	5000MPN /100mL 以下
		C	—	6.5以上 8.5以下	5mg/L以上	5mg/L以下	50mg/L以下	—

※1：環境基準欄の類型は以下のとおり(河川)

- AA…水道1級, 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの
- A…水道2級, 水産1級, 水浴及びB以下の欄に掲げるもの
- B…水道3級, 水産2級及びC以下の欄に掲げるもの
- C…水産3級, 工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの
- D…工業用水2級, 農業用水及びEの欄に掲げるもの
- E…工業用水3級環境保全

※2：環境基準欄の達成期間は以下のとおり

- イ…直ちに達成
- ロ…5年以内で可及的すみやかに達成
- ハ…5年を越える期間で可及的すみやかに達成

出典：「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

多賀城市 HP「多賀城市の環境データ(水質汚濁)」(平成27年3月16日 多賀城市市民経済部生活環境課)

表 6.1-44 河川の水質測定結果(健康項目 平成 26 年度)(1/2)

単位: mg/L

水域名	地点名	カドミウム		全シアン		鉛		六価クロム		砒素		総水銀	
		m/n	平均値	m/n	最高値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値
七北田川	高砂橋	0/4	<0.003	0/4	ND	0/4	<0.005	0/4	<0.02	0/4	<0.005	0/4	<0.0005
	福田大橋	0/4	<0.003	0/4	ND	0/4	<0.005	0/4	<0.02	0/4	<0.005	0/4	<0.0005
梅田川	福田橋	0/4	<0.003	0/4	ND	0/4	<0.005	0/4	<0.02	0/4	<0.005	0/4	<0.0005
環境基準		0.003 以下		検出されないこと。		0.01 以下		0.05 以下		0.01 以下		0.0005 以下	

水域名	地点名	アルキル水銀		PCB		ジクロロメタン		四塩化炭素		1,2-ジクロロエタン		1,1-ジクロロエチレン	
		m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値
七北田川	高砂橋	0/2	ND	0/2	ND	0/4	<0.002	0/4	<0.0002	0/4	<0.0004	0/4	<0.002
	福田大橋	0/2	ND	0/2	ND	0/4	<0.002	0/4	<0.0002	0/4	<0.0004	0/4	<0.002
梅田川	福田橋	0/2	ND	0/2	ND	0/4	<0.002	0/4	<0.0002	0/4	<0.0004	0/4	<0.002
環境基準		検出されないこと。		検出されないこと。		0.02 以下		0.002 以下		0.004 以下		0.1 以下	

水域名	地点名	シス-1,2-ジクロロエチレン		1,1,1-トリクロロエタン		1,1,2-トリクロロエタン		トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン		1,3-ジクロロプロペン	
		m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値
七北田川	高砂橋	0/4	<0.004	0/4	<0.0005	0/4	<0.0006	0/4	<0.002	0/4	<0.0005	0/4	<0.0002
	福田大橋	0/4	<0.004	0/4	<0.0005	0/4	<0.0006	0/4	<0.002	0/4	<0.0005	0/4	<0.0002
梅田川	福田橋	0/4	<0.004	0/4	<0.0005	0/4	<0.0006	0/4	<0.002	0/4	<0.0005	0/4	<0.0002
環境基準		0.04 以下		1 以下		0.006 以下		0.01 以下		0.01 以下		0.002 以下	

水域名	地点名	チウラム		シマジン		チオベンカルブ		ベンゼン		セレン		硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	
		m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値
七北田川	高砂橋	0/4	<0.0006	0/4	<0.0003	0/4	<0.001	0/4	<0.001	0/4	<0.002	0/24	0.47
	福田大橋	0/4	<0.0006	0/4	<0.0003	0/4	<0.001	0/4	<0.001	0/4	<0.002	0/24	0.59
	今市橋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0/12	0.55
梅田川	福田橋	0/4	<0.0006	0/4	<0.0003	0/4	<0.001	0/4	<0.001	0/4	<0.002	0/24	0.64
	大田見橋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0/12	0.37
高野川	高野川最下流	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0/12	0.73
環境基準		0.006 以下		0.003 以下		0.02 以下		0.01 以下		0.01 以下		10 以下	

注 1) 「m/n」とは、「環境基準を超えた検体数/総検体数」である。

2) 「ND」とは、定量下限値未満を示し、定量下限値は次のとおり。

全シアン(0.1mg/L), アルキル水銀(0.0005mg/L), PCB(0.0005mg/L)

3) 環境基準欄は、調査実施時における基準を示す。

出典: 「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-45 河川の水質測定結果(健康項目 平成 26 年度)(2/2)

単位: mg/L

水域名	地点名	ふっ素		ほう素		1,4-ジオキシサン	
		m/n	平均値	m/n	平均値	m/n	平均値
七北田川	高砂橋	—	—	—	—	0/4	<0.005
	福田大橋	—	—	—	—	0/4	<0.005
梅田川	福田橋	—	—	—	—	0/4	<0.005
環境基準		0.8 以下		1 以下		0.05 以下	

注) 「m/n」とは、「環境基準を超えた検体数/総検体数」である。

出典: 「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-46 湖沼の水質調査結果(生活環境項目 平成 24 年度)

湖沼名	地点名	環境基準		pH 最小～最大 (年平均) 75%値	COD (mg/L) 最小～最大 (年平均) 75%値	SS (mg/L) 最小～最大 (年平均) 75%値	DO (mg/L) 最小～最大 (年平均) 75%値	大腸菌群数 (MPN/100mL) 最小～最大 (年平均) 75%値
		類型	達成 期間					
与兵衛沼	与兵衛沼池出口	—	—	7.4～7.9 (7.7) 7.8	7.2～19 (11) 8.2	7～58 (26) 25	7.9～14 (10) 10	$7.9 \times 10^2 \sim 2.5 \times 10^3$ (9.3×10^2) 7.0×10^2
安養寺大堤	安養寺大堤池出口	—	—	7.6～7.9 (7.7) 7.8	10～15 (12) 13	14～33 (20) 17	7.6～11 (9.4) 9.6	$2.4 \times 10^2 \sim 4.9 \times 10^3$ (2.0×10^3) 2.2×10^3
ひょうたん池	ひょうたん池出口	—	—	7.1～7.8 (7.5) 7.6	7.1～9.9 (8.1) 7.8	5～14 (10) 12	2.1～11 (8.5) 11	$7.0 \times 10^2 \sim 1.7 \times 10^4$ (4.5×10^3) 7.9×10^2
加瀬沼	加瀬沼出口	—	—	7.3～8.8 (7.9) 8.2	6.9～10.0 (8.7) 10.0	—	4.2～11 (8.6) 10.0	$1.4 \times 10^2 \sim 5.6 \times 10^2$ (3.4×10^2) 5.6×10^2

出典：「公害関係資料集」(平成 24 年度測定結果)(仙台市環境局)

「平成 24 年度公共用水域(湖沼)の水質検査結果(速報値)」(宮城県環境対策課)

表 6.1-47 湖沼の水質測定結果(健康項目 平成 24 年度)

湖沼名	地点名	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		環境基準 (mg/L)
		m/n	平均値 (mg/L)	
与兵衛沼	与兵衛沼池出口	0/4	0.054	10
安養寺大堤	安養寺大堤池出口	0/4	0.033	
ひょうたん池	ひょうたん池出口	0/4	0.22	

注) 「m/n」とは、「環境基準を超えた検体数/総検体数」である。

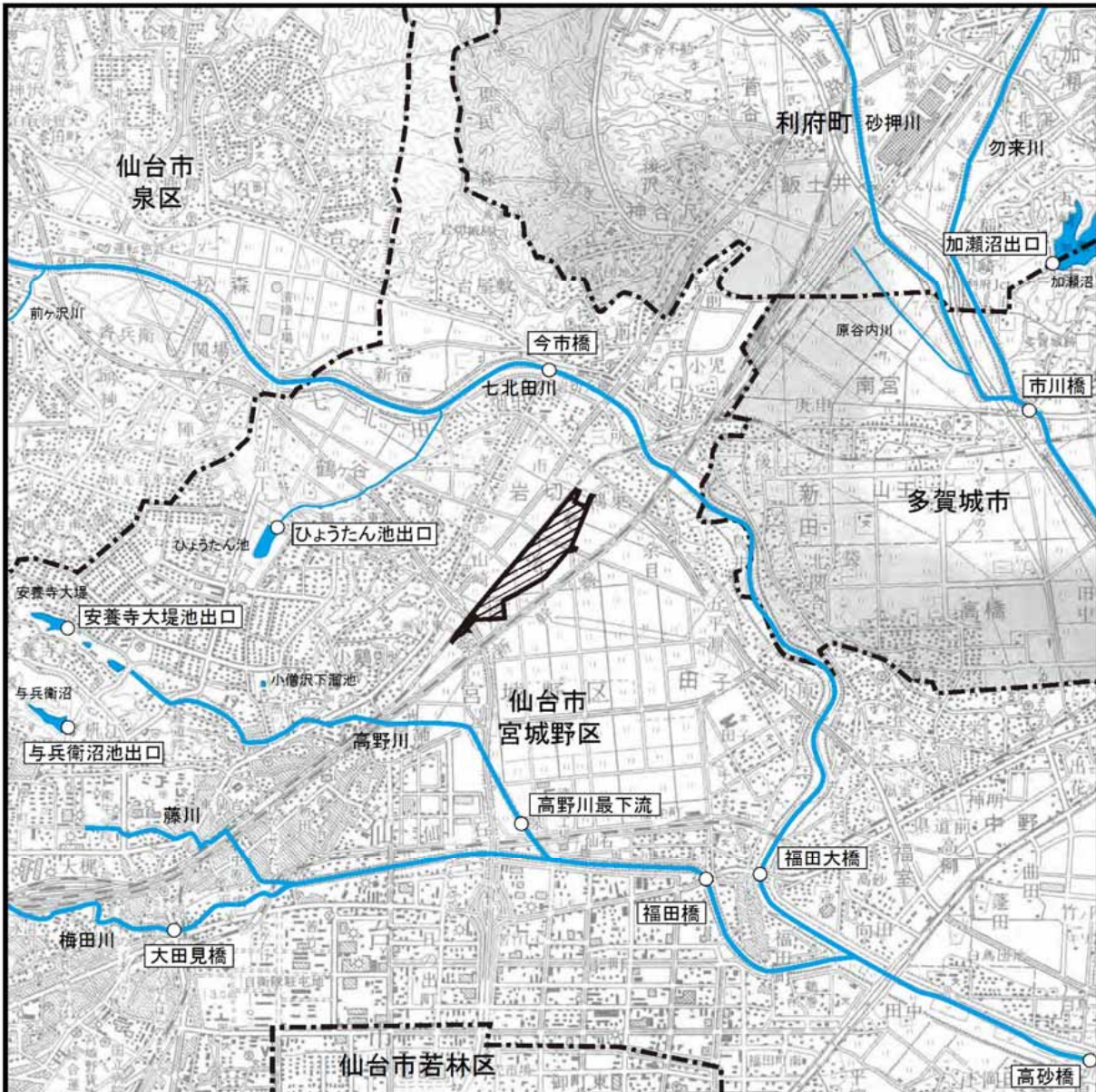
出典：「公害関係資料集」(平成 24 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-48 水質のダイオキシン類監視結果(平成 26 年度)





水域名	地点名	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
七北田川	福田大橋	0.025
梅田川	福田橋	0.094
環境基準		1 以下

注) 調査日：平成 26 年 10 月 28 日・29 日・30 日・31 日。

出典：「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

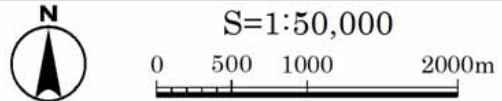


凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 河川及び湖沼
-  : 水質調査地点

出典:「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)
「平成24年度公共用水域(湖沼)の水質検査結果(速報値)」(宮城県環境対策課)

図 6.1-13 水質調査地点



イ 発生源の状況

図 5-1 に示す関係地域範囲内での水質汚濁防止法に基づく特定施設は表 6.1-49 及び図 6.1-14 のとおりであり、「自動式車両洗浄施設」が最も多い。

また、関係地域範囲内での下水道法に基づく特定施設は表 6.1-50 及び図 6.1-15 のとおりであり「自動式車両洗浄施設」が最も多く、次いで「新聞業、出版業、印刷業又は製版業の用に供する施設」である。

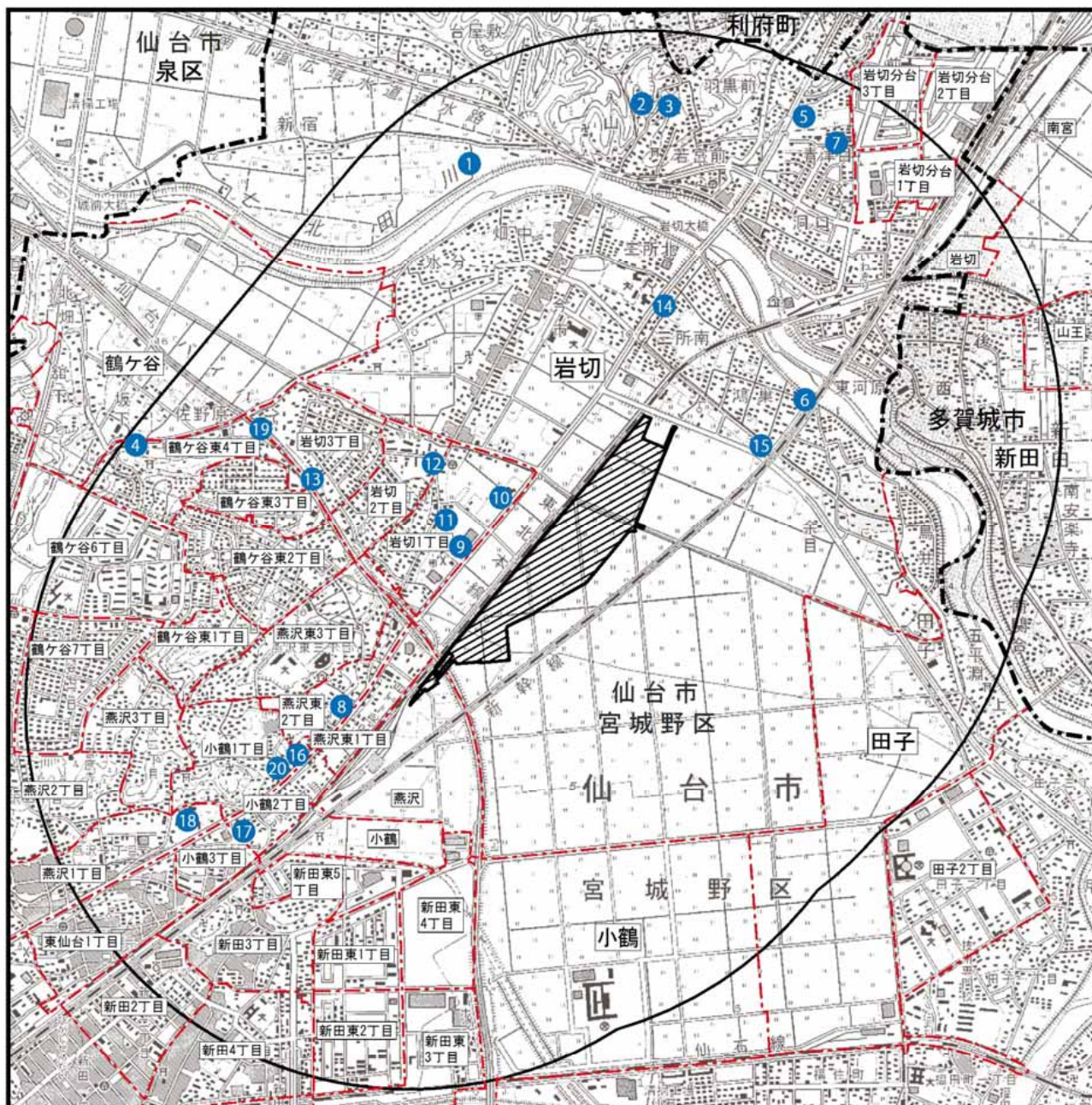
なお、関係地域範囲のうち多賀城市域においては、水質汚濁防止及び下水道法に基づく特定施設はない(平成 26 年 9 月 多賀城市市民経済部生活環境課聞き取り)。

表 6.1-49 水質汚濁防止法による特定施設







番号	施設名称	施設数	図中番号
1 の 2 (ロ)	畜産農業又はサービス業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの (ロ)牛房施設(牛房の総面積が 200m ² 未満の事業場に係るものを除く。)	1	①
23 の 2 (イ)(ロ)	新聞業、出版業、印刷業又は製版業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの (イ)自動式フィルム現像洗浄施設、(ロ)自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設	2	②～③
66 の 3	旅館業(旅館業法(昭和 23 年法律第 138 号)第 2 条第 1 項に規定するもの(下宿営業を除く。)をいう。)の用に供する施設であつて、次に掲げるもの (イ)ちゅう房施設、(ロ)洗濯施設、(ハ)入浴施設	1	④
67	洗濯業の用に供する洗浄施設	2	⑤～⑥
68	写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設	2	⑦～⑧
71	自動式車両洗浄施設	11	⑨～⑱
71 の 2 (イ)	科学技術(人文科学のみに係るものを除く。)に関する研究、試験、検査又は専門教育を行う事業場で環境省令で定めるもの(※)に設置されるこれらの業務の用に供する施設であつて、次に掲げるもの (イ)洗浄施設 ※環境省令で定める事業場は、次に掲げる事業場とする。 1. 国又は地方公共団体の試験研究機関(人文科学のみに係るものを除く。) 2. 大学及びその附属試験研究機関(人文科学のみに係るものを除く。) 3. 学術研究(人文科学のみに係るものを除く。)又は製品の製造若しくは技術の改良、考案若しくは発明に係る試験研究を行う研究所(前 2 号に該当するものを除く。) 4. 農業、水産又は工業に関する学科を含む専門教育を行う高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校、職員訓練施設又は職業訓練施設 5. 保健所 6. 検疫所 7. 動物検疫所 8. 植物防疫所 9. 家畜保健衛生所 10. 検査業に属する事業場 11. 商品検査業に属する事業場 12. 臨床検査業に属する事業場 13. 犯罪鑑識施設	1	⑳
計		20	

注) 図中番号は図 6.1-14 における番号に対応。

出典:「水質汚濁防止法に基づく特定施設届出一覧」(平成 26 年 3 月 31 日現在)(仙台市)



凡例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 町丁目界
-  : 関係地域の範囲(計画地から1500mの範囲)
-  ~  水質汚濁防止法に基づく特定施設を有する事業場

出典：「水質汚濁防止法に基づく特定施設一覧」(平成26年3月31日現在 仙台市)

図 6.1-14 水質汚濁防止法に基づく特定施設



S=1:25,000

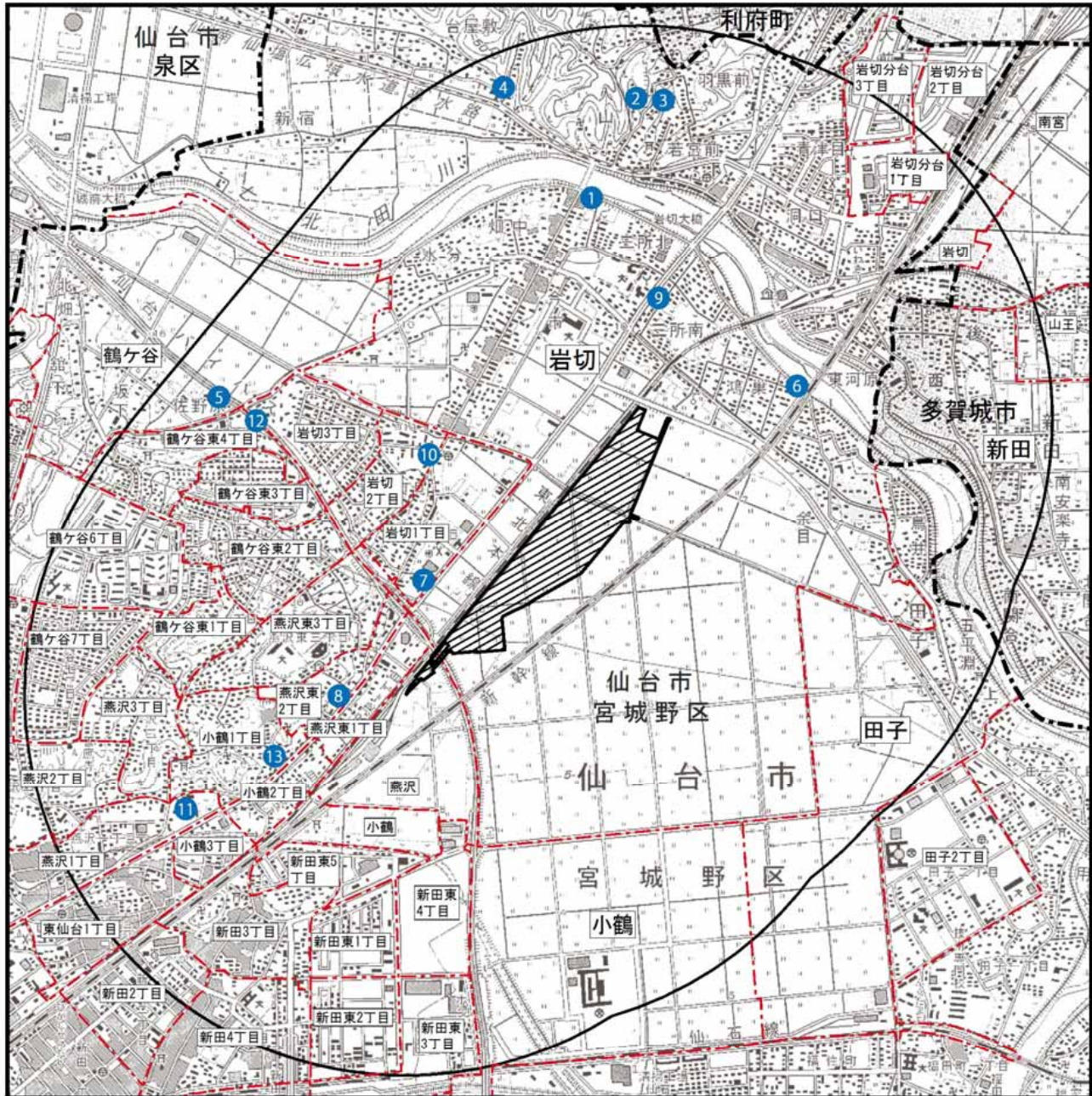
0 250 500 1000m

表 6.1-50 下水道法に基づく特定施設






番号	施設名称	施設数	図中番号
17	豆腐又は煮豆の製造業の用に供する湯煮施設	1	①
23の2 (イ)(ロ)	新聞業，出版業，印刷業又は製版業の用に供する施設であつて，次に掲げるもの (イ)自動式フィルム現像洗浄施設 (ロ)自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設	3	②～④
66の6	飲食店(66の7及び66の8に掲げるものを除く。)に設置されるちゅう房施設(総床面積が420㎡未満の事業場に係るものを除く。) 66の7：そば店，うどん店，すし店のほか，喫茶店その他の通常主食と認められる食事を提供しない飲食店(66の8に掲げるものを除く。)に設置されるちゅう房施設(総床面積が630㎡未満の事業場に係るものを除く。) 66の8：料亭，バー，キャバレー，ナイトクラブその他これらに類する飲食店で設備を設けて客の接待をし，又は客にダンスをさせるものに設置されるちゅう房施設(総床面積が1,500㎡未満の事業場に係るものを除く。)	1	⑤
67	洗濯業の用に供する洗浄施設	2	⑥～⑦
68	写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設	1	⑧
71	自動式車両洗浄施設	4	⑨～⑫
71の2 (イ)	科学技術(人文科学のみに係るものを除く。)に関する研究，試験，検査又は専門教育を行う事業場で環境省令で定めるもの(※)に設置されるそれらの業務の用に供する施設であつて，次に掲げるもの (イ)洗浄施設 ※環境省令で定める事業場は，次に掲げる事業場とする。 1. 国又は地方公共団体の試験研究機関(人文科学のみに係るものを除く。) 2. 大学及びその附属試験研究機関(人文科学のみに係るものを除く。) 3. 学術研究(人文科学のみに係るものを除く。)又は製品の製造若しくは技術の改良，考案若しくは発明に係る試験研究を行う研究所(前2号に該当するものを除く。) 4. 農業，水産又は工業に関する学科を含む専門教育を行う高等学校，高等専門学校，専修学校，各種学校，職員訓練施設又は職業訓練施設 5. 保健所 6. 検疫所 7. 動物検疫所 8. 植物防疫所 9. 家畜保健衛生所 10. 検査業に属する事業場 11. 商品検査業に属する事業場 12. 臨床検査業に属する事業場 13. 犯罪鑑識施設	1	⑬
計		13	

注) 図中番号は図 6.1-15 における番号に対応。

出典：「下水道法に基づく特定施設届出一覧」(平成26年3月31日現在)(仙台市)



凡例

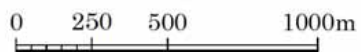
-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 町丁目界
-  : 関係地域の範囲(計画地から1500mの範囲)
-  ① ~ ⑬ 下水道法に基づく特定施設を有する事業場

出典：「下水道法に基づく特定施設一覧」（平成26年3月31日現在 仙台市）

図 6.1-15 下水道法に基づく特定施設



S=1:25,000



ウ 水質に係る苦情の状況

仙台市及び多賀城市における過去5年間の水質に係る苦情件数の経年変化は、表 6.1-51 に示すとおりである。

仙台市における苦情件数は1件～7件/年の間で推移し、多賀城市における苦情件数は0～6件/年で推移している。

表 6.1-51 水質に係る苦情件数の経年変化(平成22年度～平成26年度)

項目		年度				
		22	23	24	25	26
水質	仙台市	7	1	1	—	1
	多賀城市	3	6	3	2	0

出典：「公害関係資料集」(平成22年度～平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

「平成26年度版統計書」(平成28年5月 多賀城市)

(2) 底質

ア 底質の状況

調査範囲では、七北田川(福田大橋、高砂橋)及び梅田川(福田橋)で底質の調査が実施されており、このうち七北田川(福田大橋)及び梅田川(福田橋)で底質のダイオキシン類監視調査が実施されている。

七北田川(福田大橋、高砂橋)及び梅田川(福田橋)における底質の調査結果は表 6.1-52 のとおりである。また、七北田川(福田大橋)及び梅田川(福田橋)における底質のダイオキシン類監視結果は表 6.1-53 のとおりであり、いずれの地点も環境基準を満たしている。

表 6.1-52 河川の底質調査結果(平成26年度)

項目		地点名	七北田川		梅田川
			福田大橋	高砂橋	福田橋
pH	H ₂ O		7.6	7.3	6.9
	KCl		7.5	6.3	5.8
COD		(mg/kg)	< 2,200	20,000	< 2,000
n-ヘキサン抽出物質		(mg/kg)	94	1,000	59
全窒素		(mg/kg)	230	2,800	160
全リン		(mg/kg)	200	730	170
カドミウム		(mg/kg)	< 0.05	0.34	< 0.05
鉛		(mg/kg)	2.6	16	3.3
砒素		(mg/kg)	5.0	13	3.2
総水銀		(mg/kg)	< 0.01	0.1	0.01
全クロム		(mg/kg)	10	25	9
硫化物		(mg/kg)	38	2,300	68

注) 調査日：平成26年6月3日

出典：「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-53 底質のダイオキシン類監視結果(平成 26 年度)

水域名	地点名	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)
七北田川	福田大橋	0.12
梅田川	福田橋	0.25
環境基準		150 以下

注) 調査日：平成 26 年 10 月 28 日・29 日・30 日・31 日
 出典：「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

イ 発生源の状況

水質汚濁防止法・下水道法による届出が出されている特定施設であって、土壤汚染対策法により指定された有害物質を使用している施設について仙台市及び多賀城市に問い合わせたが、公表している資料はなかった。

(3) 地下水汚染

ア 地下水汚染の状況

調査範囲では、平成 26 年度に仙台市内の宮城野区の 7 地区と泉区の 1 地区で地下水の概況調査(環境基準項目)が実施されており、このうち宮城野区の 2 地区と泉区の 1 地区では地下水の概況調査(要監視項目)とダイオキシン類に関する地下水水質調査が実施されている。また、仙台市内の宮城野区の 10 地区と泉区の 1 地区で地下水の継続監視調査が実施されている。地下水の調査結果は表 6.1-54～表 6.1-58、調査地域は図 6.1-16 に示すとおりである。

なお、調査範囲のうち多賀城市域では、地下水の調査は実施されていない。

平成 26 年度における概況調査(環境基準項目)、概況調査(要監視項目)及びダイオキシン類に関する地下水水質調査では、環境基準値及び要監視項目の指針値を超過している地区はない。

平成 26 年度における継続監視調査では、宮城野区の 1 地区(第 3 次メッシュコード 5740-37-76)で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、宮城野区の 2 地区(第 3 次メッシュコード 5740-37-08, 5740-37-17)で砒素、宮城野区の 1 地区(5740-37-33)で鉛が環境基準を超過している。

表 6.1-54 地下水概況調査結果(環境基準項目)(1/2)

調査項目	地区	宮城野区	宮城野区	宮城野区	宮城野区
	第3次メッシュコード*	5740-37-55	5740-37-07	5740-37-02	5740-37-37
	調査日 基準値	H27. 1. 13	H26. 11. 12	H26. 11. 11	H27. 1. 13
水温	—	11. 0	14. 1	18. 0	10. 5
pH	—	7. 5	7. 9	7. 8	6. 8
カドミウム	0. 003	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001
全シアン	検出されないこと	ND	ND	ND	ND
鉛	0. 01	<0. 005	<0. 005	<0. 005	<0. 005
六価クロム	0. 05	<0. 02	<0. 02	<0. 02	<0. 02
砒素	0. 01	0. 006	0. 009	<0. 005	<0. 005
総水銀	0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005
アルキル水銀	検出されないこと	—	ND	ND	—
PCB	検出されないこと	ND	ND	ND	ND
ジクロロメタン	0. 02	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
四塩化炭素	0. 002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
塩化ビニルモノマー	0. 002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 2-ジクロロエタン	0. 004	<0. 0004	<0. 0004	<0. 0004	<0. 0004
1, 1-ジクロロエチレン	0. 1	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
1, 2-ジクロロエチレン	0. 04	<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 004
1, 1, 1-トリクロロエタン	1	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005
1, 1, 2-トリクロロエタン	0. 006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006
トリクロロエチレン	0. 03	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
テトラクロロエチレン	0. 01	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005
1, 3-ジクロロプロペン	0. 002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
チウラム	0. 006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006
シマジン	0. 003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003
チオベンカルブ	0. 02	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
ベンゼン	0. 01	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001
セレン	0. 01	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	1. 4	0. 025	0. 17	6. 7
ふっ素	0. 8	<0. 08	0. 23	<0. 08	<0. 08
ほう素	1	0. 06	0. 14	0. 02	0. 02
1, 4-ジオキサン	0. 05	<0. 005	<0. 005	<0. 005	<0. 005

注 1) 単位は、水温(℃), pH(—), その他の調査項目は(mg/L)

2) 環境基準欄は、調査実施時における基準を示す。

出典：「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-55 地下水概況調査結果(環境基準項目)(2/2)

調査項目	地区	宮城野区	宮城野区	宮城野区	泉区
	第3次メッシュコート*	5740-37-43	5740-37-66	5740-37-65	5740-37-63
	調査日 基準値	H27. 1. 13	H27. 1. 14	H27. 1. 13	H26. 11. 10
水温	—	11.0	11.7	11.0	16.0
pH	—	6.1	7.1	7.7	8.9
カドミウム	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
全シアン	検出されないこと	ND	ND	ND	ND
鉛	0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	検出されないこと	—	—	—	ND
PCB	検出されないこと	ND	ND	ND	ND
ジクロロメタン	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
塩化ビニルモノマー	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0.1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエチレン	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	0.03	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	0.006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	2.2	1.2	0.36	<0.015
ふっ素	0.8	<0.08	<0.08	<0.08	0.09
ほう素	1	<0.02	0.03	<0.02	0.02
1,4-ジオキサン	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

注 1) 単位は、水温(°C)、pH(—)、その他の調査項目は(mg/L)

2) 環境基準欄は、調査実施時における基準を示す。

出典：「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-56 地下水概況調査結果(要監視項目)

調査項目	地区	宮城野区	宮城野区	泉区
	第3次メッシュコード*	5740-37-02	5740-37-07	5740-37-63
	調査日 指針値	H26.11.11	H26.11.12	H26.11.10
クロロホルム	0.06	<0.006	<0.006	<0.006
1,2-ジクロロプロパン	0.06	<0.006	<0.006	<0.006
p-ジクロロベンゼン	0.2	<0.02	<0.02	<0.02
イソキサチオン	0.008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
ダイアジノン	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
フェニトロチオン(MEP)	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
イソプロチオラン	0.04	<0.004	<0.004	<0.004
オキシ銅(有機銅)	0.04	<0.004	<0.004	<0.004
クロロタロニル(TPN)	0.05	<0.005	<0.005	<0.005
プロピザミド	0.008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
EPN	0.006	<0.001	<0.001	<0.001
ジクロロボス(DDVP)	0.008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
フェノブカルブ(BPMC)	0.03	<0.003	<0.003	<0.003
イプロベンホス(IBP)	0.008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
クロルニトロフェン(CNP)	—	<0.001	<0.001	<0.001
トルエン	0.6	<0.06	<0.06	<0.06
キシレン	0.4	<0.04	<0.04	<0.04
フタル酸ジエチルヘキシル	0.06	<0.006	<0.006	<0.006
ニッケル	—	<0.001	<0.001	<0.001
モリブデン	0.07	<0.007	<0.007	<0.007
アンチモン	0.02	<0.002	<0.002	<0.002
エピクロロヒドリン	0.0004	<0.00004	<0.00004	<0.00004
全マンガン	0.2	<0.02	0.03	<0.02
ウラン	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002

注) 単位は、水温(°C), pH(-), その他の調査項目は(mg/L)
 出典:「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-57 ダイオキシン類に関する地下水水質調査結果

調査項目	地区	宮城野区	宮城野区	泉区
	第3次メッシュコード*	5740-37-02	5740-37-07	5740-37-63
	調査日 基準値	H26.11.11	H26.11.12	H26.11.10
ダイオキシン類年平均値	1	0.018	0.015	0.016

注) 単位: pg-TEQ/L
 出典:「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-58 地下水質調査結果(継続監視調査)

調査項目	地区	宮城野区
	第3次メッシュコード*	5740-37-23
	調査日	H26.7.29
基準値		
水温	—	16.5
pH	—	6.8
1,2-ジクロロエタン	0.004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0.1	<0.002
1,1,1-トリクロロエタン	1	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	<0.0006
トリクロロエチレン	0.03	<0.002
テトラクロロエチレン	0.01	0.010
1,4-ジオキサン	0.05	<0.005
塩化ビニルモノマー	0.002	<0.0002
1,2-ジクロロエチレン	0.04	<0.004

調査項目	地区	宮城野区	宮城野区	宮城野区	泉区
	第3次メッシュコード*	5740-37-32	5740-37-56	5740-37-76	5740-37-91
	調査日	H26.7.28	H26.7.28	H26.7.28	H26.7.28
基準値					
水温	—	16.1	21.3	13.6	15.1
pH	—	7.3	7.2	5.9	6.8
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	1.0	4.3	19	8.7
亜硝酸性窒素	—	<0.005	0.006	<0.005	0.012
アンモニア性窒素	—	0.06	<0.05	<0.05	<0.05

調査項目	地区	宮城野区	宮城野区
	第3次メッシュコード*	5740-37-12	5740-37-12
	調査日	H26.7.29	H26.7.29
基準値			
水温	—	14.6	16.0
pH	—	6.5	6.3
六価クロム	0.05	0.05	<0.02
全総クロム	—	0.056	0.016

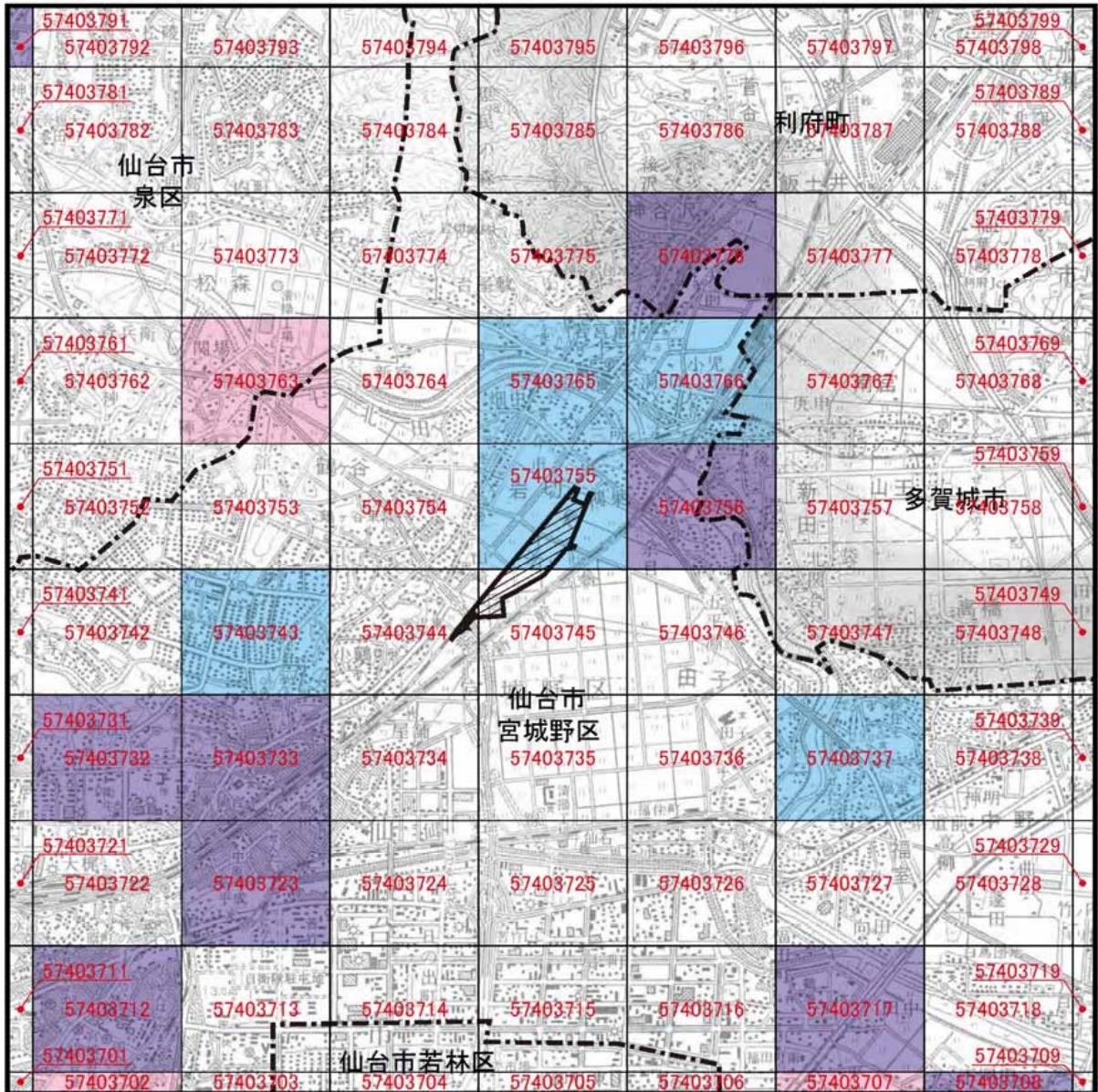
調査項目	地区	宮城野区	宮城野区	宮城野区
	第3次メッシュコード*	5740-37-08	5740-37-08	5740-37-17
	調査日	H26.7.29	H26.7.29	H26.7.29
基準値				
水温	—	13.6	14.8	22.7
pH	—	8.0	7.9	8.0
砒素	0.01	0.017	0.008	0.018

調査項目	地区	宮城野区
	第3次メッシュコード*	5740-37-33
	調査日	H26.7.28
基準値		
水温	—	14.8
pH	—	6.9
鉛	0.001	0.020






注 1) 単位は、水温(°C)、pH(—)、その他の調査項目は(mg/L)

2) 環境基準欄は、調査実施時における基準を示す。

出典：「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)



凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 地下水概況調査(環境基準項目・要監視項目)調査地点
ダイオキシン類に関する地下水調査地点
-  : 地下水概況調査(環境基準項目)調査地点
-  : 地下水継続監視調査地点

※図中の番号は3次メッシュコードを表す。

出典:「公害関係資料集」(平成26年度測定結果) (仙台市環境局)

図 6.1-16 地下水質調査地点



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

イ 発生源の状況

図 5-1 に示す関係地域範囲内における、水質汚濁防止法による特定施設は表 6.1-49 及び図 6.1-14 に示すとおりであり、「自動式車両洗浄施設」が最も多い。

(4) 水象

ア 河川・湖沼等の概要

調査範囲の水象の状況は表 6.1-59～表 6.1-61、及び図 6.1-17 に示すとおりである。

計画地の周辺には 2 級河川七北田川水系の河川(七北田川, 梅田川, 高野川, 藤川, 前ヶ沢川)が流れている。また, 東側の多賀城市と利府町には 2 級河川砂押川水系の河川(砂押川, 勿来川, 原谷内川)が流れている。

計画地周辺の湖沼は, 計画地西側の丘陵地に与兵衛沼溜池や鶴ヶ谷大堤溜池などの溜池が点在し, 東側の多賀城市と利府町の境界上に加瀬沼が存在する。

表 6.1-59 調査範囲の主な河川

No.	水系	種別	河川名	延長(m)
1	2 級河川 七北田川水系	2 級河川	七北田川	40,899
2			梅田川	13,035
3			高野川	3,900
4			藤川	1,500
5		準用河川	前ヶ沢川	510
6	2 級河川 砂押川水系	2 級河川	砂押川	14,491
7			勿来川	7,456
8		準用河川	原谷内川	1,400

出典：「宮城県河川・海岸図」(平成 25 年 3 月 宮城県)

表 6.1-60 調査範囲の主な湖沼(1/2)

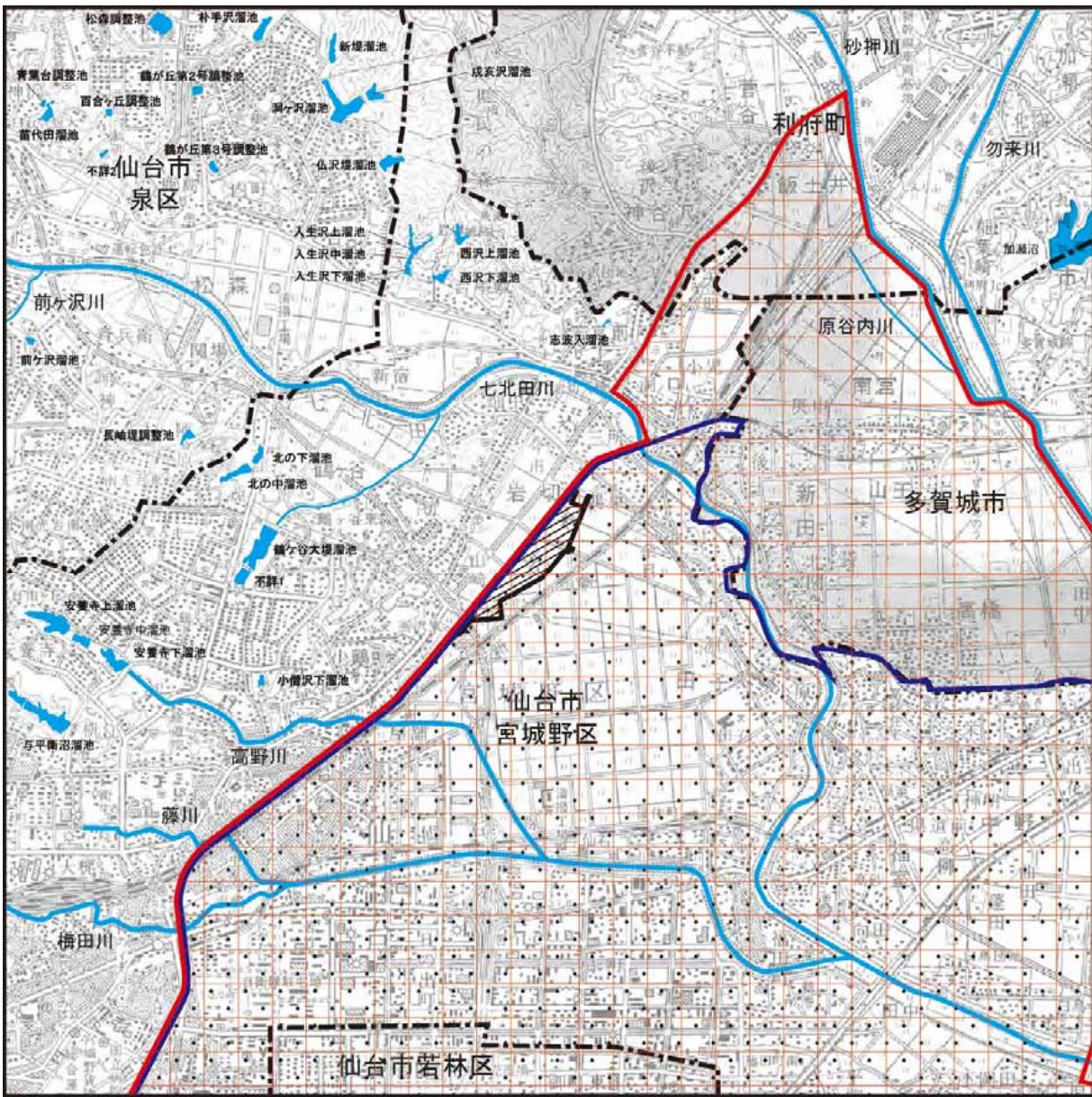
No.	名称	所在地
1	与平衛沼溜池	仙台市宮城野区蟹沢 15
2	安養寺上溜池	安養寺 2 丁目 4-1
3	安養寺中溜池	安養寺 2 丁目 7-1
4	安養寺下溜池	安養寺 2 丁目 13
5	小僧沢下溜池	燕沢 2 丁目 3
6	不詳 1	鶴ヶ谷 6 丁目 1
7	鶴ヶ谷大堤溜池	鶴ヶ谷 6 丁目 17
8	北の中溜池	鶴ヶ谷北 2 丁目 5
9	北の下溜池	鶴ヶ谷北 2 丁目 1-1
10	入生沢上溜池	岩切字入生沢 85
11	入生沢中溜池	岩切字入生沢 86
12	入生沢下溜池	岩切字入生沢 87
13	西沢下溜池	岩切字台屋敷 3
14	西沢上溜池	岩切字入生沢 81

出典：「平成 27 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 28 年 3 月 仙台市)

表 6.1-61 調査範囲の主な湖沼(2/2)

No.	名称	所在地
15	志波入溜池	仙台市宮城野区岩切字羽黒前 116
16	長岫堤調整池	仙台市泉区松森字長岫
17	前ヶ沢溜池	〃 松森字前ヶ沢
18	苗代田溜池	〃 天神沢 1 丁目
19	青葉台調整池	〃 本田町 22
20	不詳 2	〃 松森字鹿島
21	百合ヶ丘調整池	〃 歩坂町 77
22	鶴が丘第 3 号調整池	〃 鶴が丘 2 丁目 13
23	鶴が丘第 2 号調整池	〃 鶴が丘 2 丁目 22
24	松森調整池	〃 松陵 2 丁目
25	仏沢堤溜池	〃 松森字戌亥沢
26	洞ヶ沢溜池	〃 松森字戌亥沢
27	戌亥沢溜池	〃 松森字戌亥沢
28	朴手沢溜池	〃 松森字朴手
29	新堤溜池	〃 松森字戌亥沢
30	加瀬沼	多賀城市市川 (宮城郡利府町加瀬, 塩竈市大日向町の一部も含む)

出典：「平成 27 年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 28 年 3 月 仙台市)
「平成 26 年度版統計書」(平成 26 年 2 月 多賀城市)



凡 例

- : 計画地
- : 宮城県公害防止条例に基づく地下水採取規制地域
- : 市町・区境界線
- : 工業用水法に基づく指定地域
- : 河川及び湖沼
- : 湧水地点

出典:「宮城県河川・海岸図」(平成25年3月 宮城県)
 「平成27年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成28年3月 仙台市)
 「地下水採取規制地域の指定」(平成7年10月1日 宮城県告示第1045号)
 「工業用水法施行令」(昭和32年6月10日 政令第142号)

図 6.1-17 調査範囲の水象の状況



S=1:50,000



イ 地下水・湧水の概要

仙台市では、「宮城県公害防止条例」及び「工業用水法」に基づき地下水採水規制を行っており、新增設井戸の届出、地下水採取量の記録、報告の義務付けを行うとともに、知事による地下水採水量の削減と水源の転換の指導を行っている。「宮城県公害防止条例」に基づく地下水採水規制地域及び「工業用水法」に基づく指定地域は、図 6.1-17 に示すとおりである。計画地は、地下水採取規制地域及び工業用水法に基づく指定地域に含まれている。

また、調査範囲に湧水はない。

仙台市及び多賀城市における飲用井戸の設置数は、表 6.1-62 に示すとおりである。仙台市全体では、平成 11 年度に 5,325 箇所の飲用井戸が設置されており、そのうち計画地の位置する宮城野区は 41 箇所で仙台市全体の 0.8% である。多賀城市全体では、平成 21・22 年度に 20 箇所の飲用井戸が確認された。

表 6.1-62 飲用井戸の設置数

市町村	飲用井戸数(箇所)	調査年度
仙台市	5,325	平成 11 年度
青葉区	1,035	〃
宮城野区	41	〃
若林区	2,087	〃
太白区	1,816	〃
泉区	346	〃
多賀城市	20	平成 21・22 年度

出典：「飲用井戸水等調査報告書」（平成 13 年 3 月 仙台市）
「飲用井戸実態調査」（平成 21・22 年調査 多賀城市）

ウ 水辺の状況

河川、湖沼の状況は「6.1.2 水環境 (4)水象 ア 河川・湖沼等の概要」に示したとおりであり、動植物の状況は「6.1.4 生物環境」に、地形の状況は「6.1.3 土壌環境」に示すとおりである。

エ 水源地の状況(工業用水)

宮城県企業局が行う工業用水事業のうち計画地に係る事業としては「仙塩工業用水事業」、「仙台圏工業用水事業」がある。

「仙塩工業用水事業」は、昭和 36 年 11 月から仙塩地区への給水が開始され、地盤沈下が顕著な仙台市苦竹地区等においては、地下水に代わる水源としての大きな役割を果たしている。また、平成 6 年 4 月からは、仙台市泉地区及び富谷町成田地区への給水を開始している。

「仙台圏工業用水事業」は、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道事業のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、昭和 51 年 10 月から給水を開始している。仙台港背後地のほか、名取市及び利府町の企業にも給水している。

なお、詳細は「6.2.3 社会資本整備等 (4)工業用水」に示す。

オ 水源地の状況(農業用水)

調査範囲では、七北田川や砂押川、勿来川及び原谷地川に農業用の堰や揚水機が設置されている。

「農業用水施設台帳(河川取水施設)改訂五版」(平成 20 年 3 月 宮城県)によると、計画地の周辺には七北田川の中野堰があり、取水量は $0.4300\text{m}^3/\text{秒}$ ～ $0.8000\text{m}^3/\text{秒}$ である。

なお、詳細は「6.2.3 社会資本整備等 (5)農業用水」に示す。

6.1.3 土壤環境

(1) 地形・地質

ア 地形・地質の状況

調査範囲の地形の状況は、図 6.1-18 に示すとおりである。

仙台市の地形は、西部の奥羽山脈東麓に沿って広がる陸前丘陵、中央部を西から東に流下する七北田川、広瀬川、名取川の各河川沿いに発達する河岸段丘、東部の仙台湾に沿って広がる沖積平野に大別され、西側から東側に移行するにつれて標高が低くなっている。

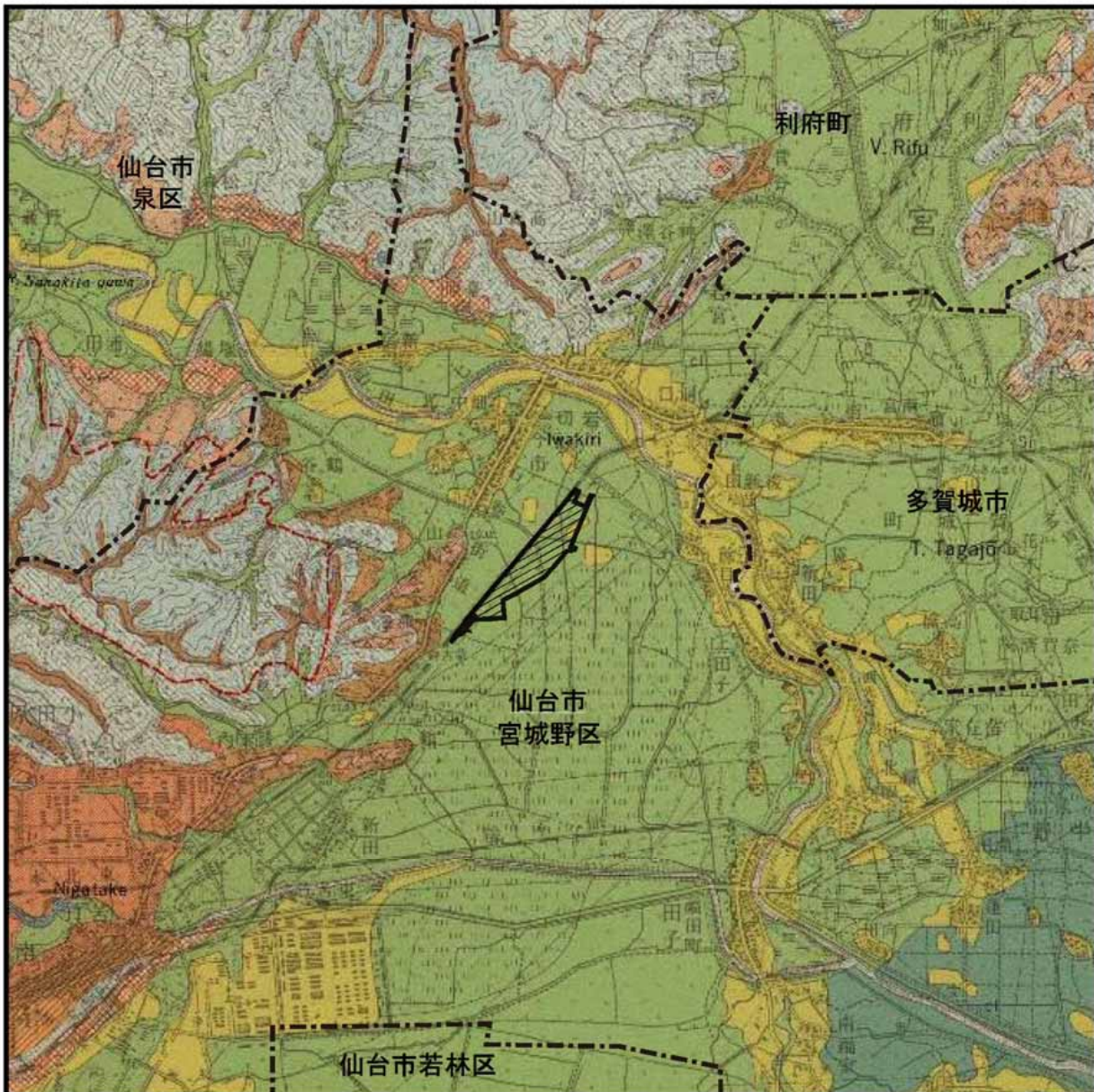
調査範囲は、富谷丘陵、七北田丘陵、仙台市街台地と利府低地、七北田川低地、苦竹低地が接する地域であり、計画地は七北田川低地と苦竹低地の間に位置している。

調査範囲における地形分類図は、図 6.1-18 に示すとおりであり、計画地は、谷底平野にあたる。

調査範囲の地質の状況は、図 6.1-19 に示すとおりである。

調査範囲における地質は、西側の丘陵地では砂岩、凝灰岩、及び礫岩が多く分布し、七北田川流域の河岸段丘や東側の沖積層には砂及び粘土層が広く分布している。

計画地は、沖積層(砂及び粘土)にあたる。



凡 例

: 計画地

: 市町・区境界線

丘陵地

: 丘頂緩斜面及び丘腹緩斜面

: 丘麓斜面

: 急斜面(谷密度80以上)

: 急斜面(谷密度80未満)

砂礫台地

: Gt I (上位)

: Gt II⁺(中位)

: Gt II (中位)

: Gt III⁺(下位)

: Gt III (下位)

岩石台地

: Rt I (上位)

: Rt II (中位)

: Rt III (下位)

低地

: 谷底平野

: 自然堤防及び砂堆・浜堤

: 海岸平野

: 河原及び浜

その他

: 崖

: 人口平坦地界

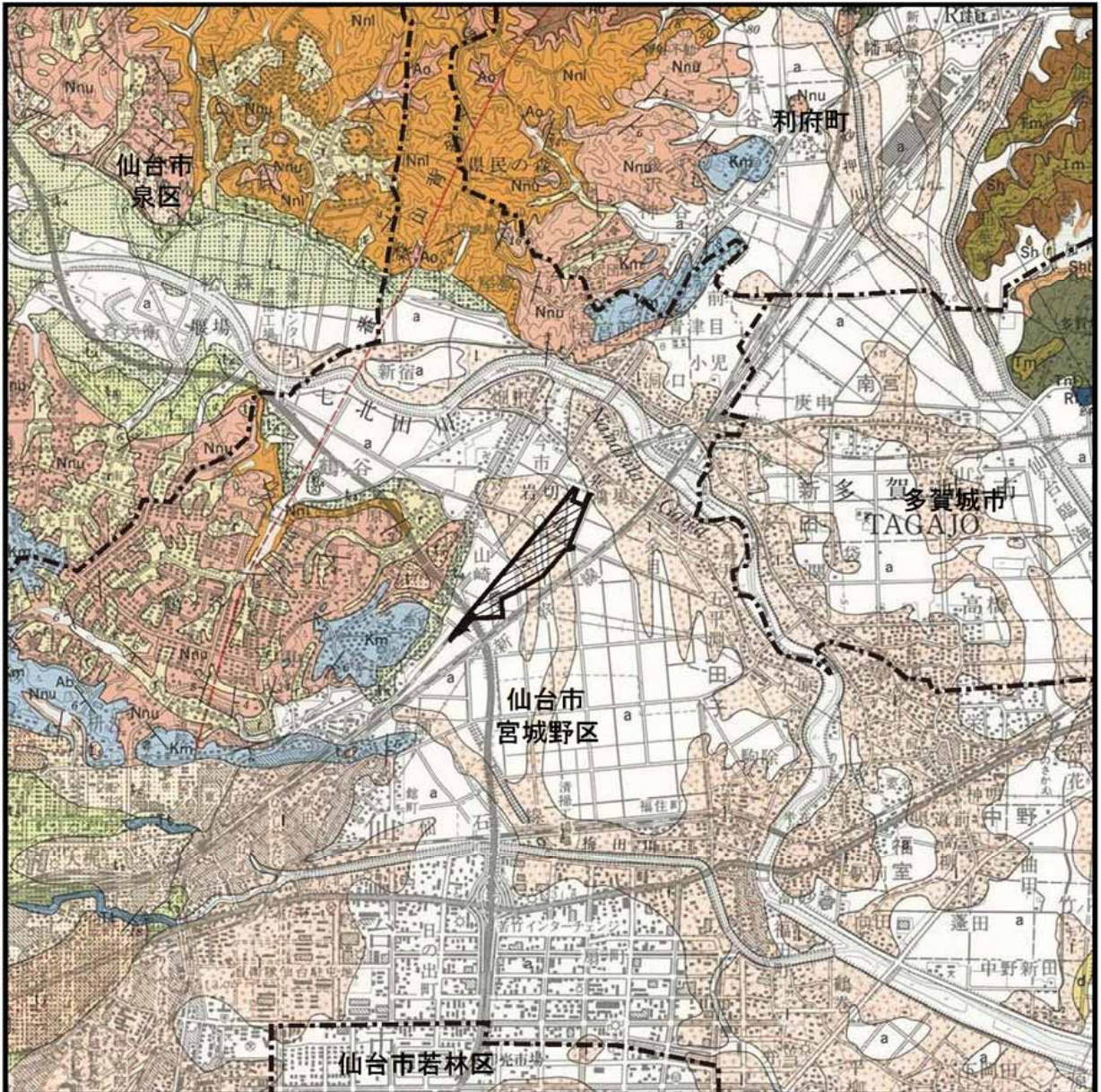
出典：「土地分類基本調査 地形分類図」(昭和42年3月 経済企画庁)

図 6.1-18 地形分類図



S=1:50,000

0 500 1000 2000m



凡例

: 計画地

: 市町・区境界線

埋谷土
 : 土砂

沖積層
 : 砂及び粘土
 : 砂

河岸段丘堆積物
 : 礫層・砂層及び粘土層
 : 砂

留ヶ谷層
 : 砂岩及び礫岩

竜の口層
 : シルト岩・砂質シルト岩・凝灰岩及び砂岩

亀岡層
 : 砂岩・凝灰岩・シルト岩・亜炭及び礫岩
又は礫混じり砂岩

七北田層
 : 砂岩(凝灰岩薄層を挟む)

: 砂岩・軽石凝灰岩及び礫岩

青麻層
 : 砂岩・シルト岩及び凝灰岩

番ヶ森山層
 : 軽石質砂岩及び礫岩

佐浦町層
 : 火山円礫岩・凝灰岩
及び凝灰質砂岩

塩釜層
 : 軽石凝灰岩
 : 火山角礫岩及び凝灰角礫岩

利府層
 : 頁岩・砂質頁岩及び砂岩

出典：「5万分の1地質図幅『仙台』(昭和61年3月 地質調査所)

図 6.1-19 地質図



S=1:50,000
0 500 1000 2000m

イ 注目すべき地形・地質

調査範囲における注目すべき地形・地質は、表 6.1-63 及び図 6.1-20 に示すとおりである。
 注目すべき地形・地質として、活断層地形の「長町－利府線」と「大年寺山」があげられる。

表 6.1-63 注目すべき地形・地質

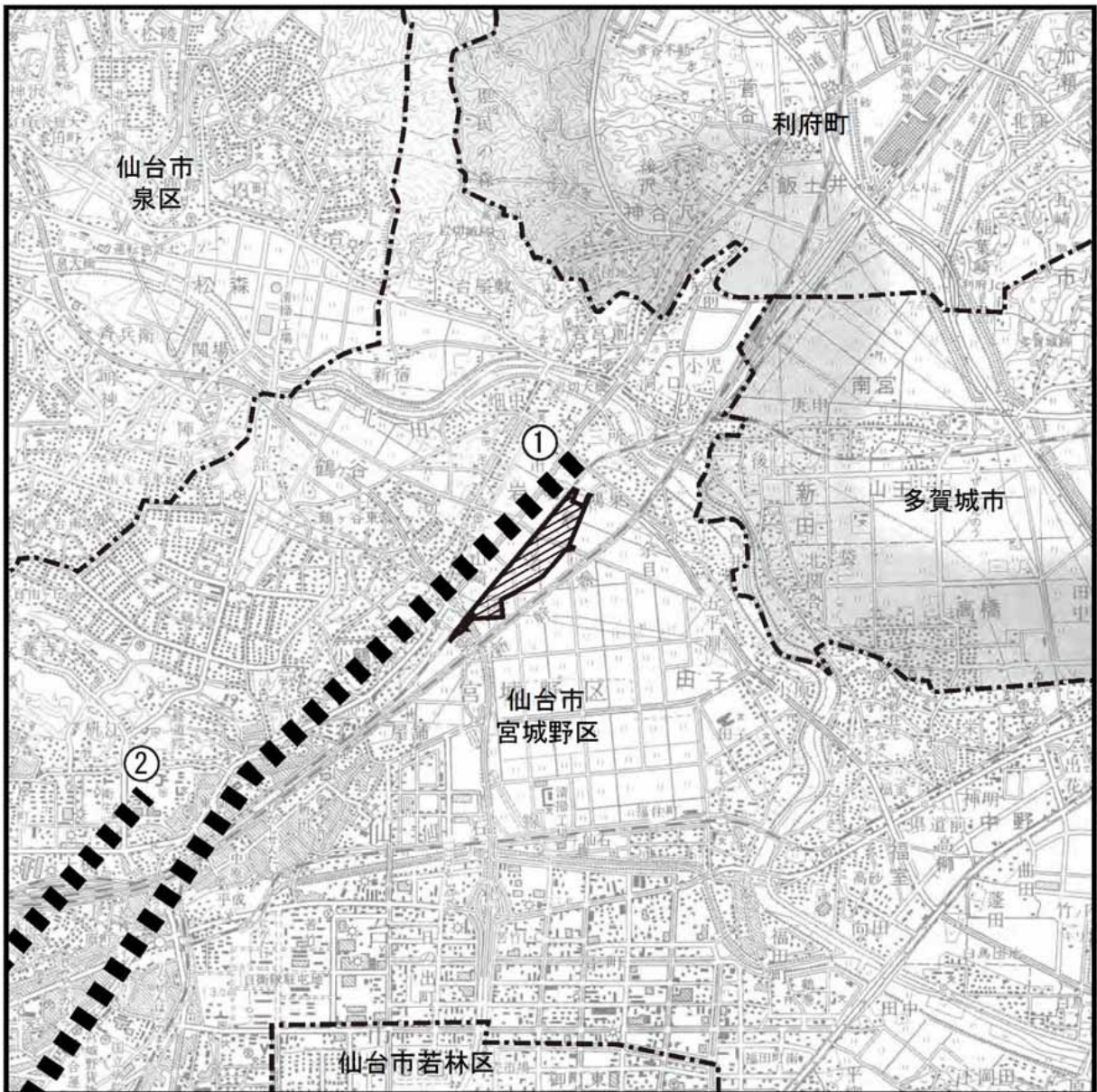
No.	名称	選定理由*			概要
		I	II	III	
①	長町－利府線		○	○	・活断層地形
②	大年寺山		○		・活断層地形
—	—	0	2	1	—

※：選定理由は以下のとおり。




I：「日本の地形レッドデータブック第2集」（平成14年 日本の地形レッドデータブック作成委員会）に記載されている地形

II：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）に掲載されている地形・地質

III：「日本の典型地形 都道府県別一覧」（平成11年4月 国土地理院）に掲載されている地形

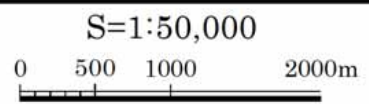


凡例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 注目すべき地形・地質(①, ②)

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)

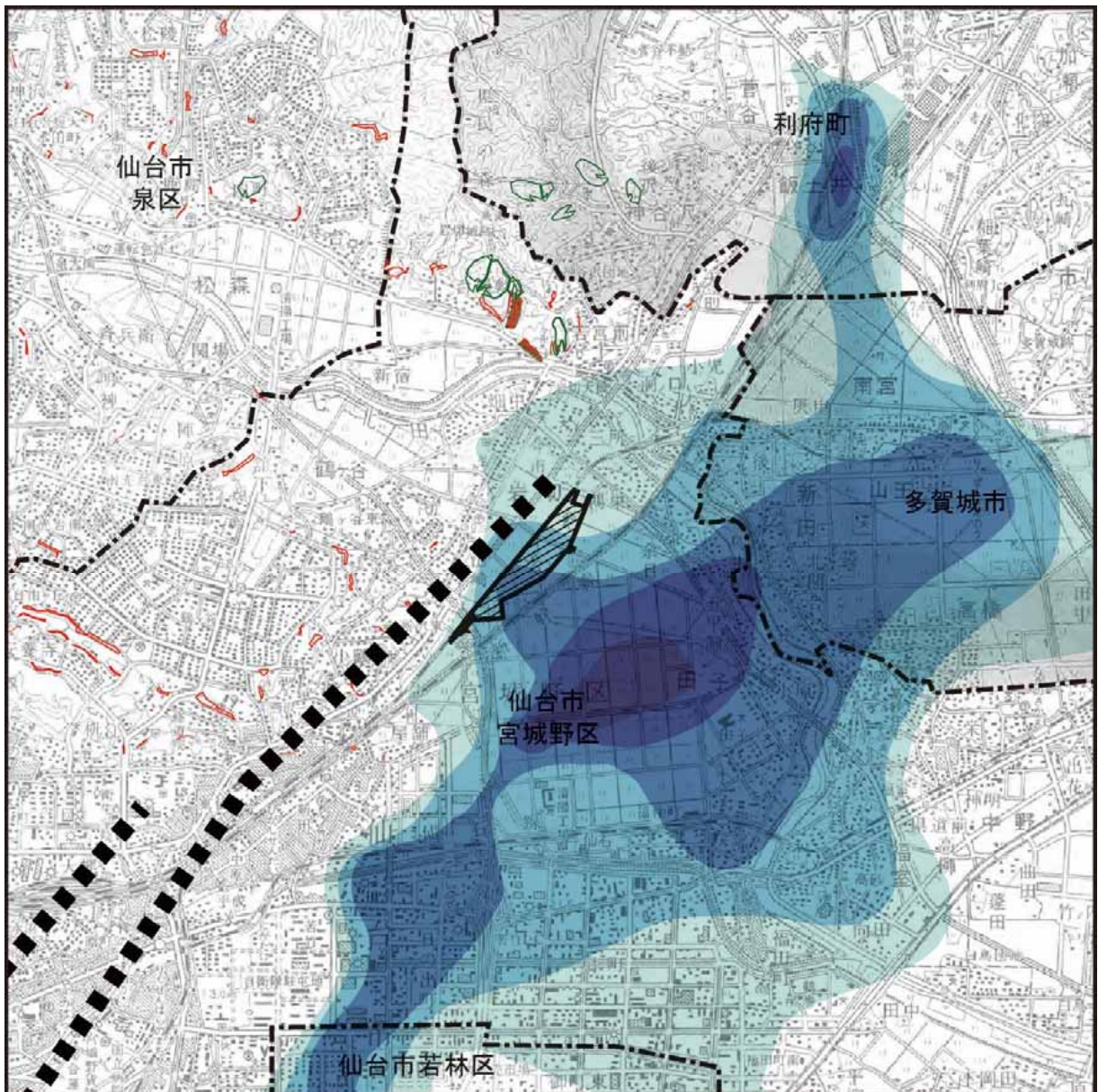
図 6.1-20 注目すべき地形・地質















ウ 災害危険地形

調査範囲における災害の危険箇所は図 6.1-21 に示すとおりであり、防災に係る法令(急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律)に関する指定地等が分布している。なお、調査範囲には、地すべり等防止法及び砂防法に関する指定地は分布していない。

計画地の西側には「長町一利府線」、「大年寺山」等の活断層が分布している。また、軟弱層は、調査範囲においては 0～10m の厚さで分布しており、計画地では 2～6m の厚さで分布している。



凡 例

-  : 計画地
 -  : 市町・区境界線
 -  : 急傾斜地崩壊危険箇所
(急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律)
 -  : 土石流危険渓流
(土石災害警戒区域等における土石災害防止対策の推進に関する法律)
 -  : 急傾斜地崩壊危険区域
(仙台市災害危険区域条例)
 -  : 活断層
- 軟弱層の厚さ
- | | |
|---|-----|
|  | (m) |
|  | 2 |
|  | 4 |
|  | 6 |
|  | 8 |
|  | 10 |

出典：「せんだいぐらしのマップ」(<http://www2.wagmap.jp/sendacity/top/mapselectgroup.asp?mct=9>)
 (閲覧 平成26年9月 仙台市)
 「仙台市史特別編1自然」(平成6年3月 仙台市)
 「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)

図 6.1-21 防災関連指定地域



S=1:50,000
 0 500 1000 2000m

工 既往災害履歴

調査範囲において近年発生した災害は、昭和 53 年の宮城県沖地震や平成 15 年の宮城県北部地震、平成 17 年の宮城地震などがある。宮城県沖地震では、計画地の位置する仙台市内で震度 5 が観測され、宮城地震では震度 5 強を観測している。

平成 23 年 3 月 11 日には「平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震」が発生した。この地震は三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 という巨大地震で、計画地の位置する仙台市内をはじめ、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度 6 強など広い範囲で強い揺れを観測した。また、太平洋沿岸を中心に高い津波を観測し、特に東北地方から関東地方の太平洋沿岸では大きな被害があった。

(2) 地盤沈下

ア 調査範囲の規制地域の指定状況

仙台市では「工業用水法」(昭和31年6月11日法律第146号)の第3条第1項で定める指定地域がある。また、地下水の採取に係る条例として、仙台市では、「宮城県公害防止条例」(昭和46年3月18日条例第12号)において、地下水採取規制を行っており、新增設井戸の届出、地下水採取量の記録、報告の義務付けを行うとともに、知事による地下水採取量の削減と水源の転換の指導を行っている。計画地は、図6.1-17に示すとおり、「工業用水法」に基づく指定地域及び「宮城県公害防止条例」に基づく地下水採取規制の対象地域に含まれている。

イ 地下水位の観測結果

仙台市における平成26年度の地下水位の観測結果は表6.1-64、過去5年間における経年変化は表6.1-65に示す。

なお、地盤沈下測定局等の位置は図6.1-22に示すとおりである。

平成26年度の地下水位の観測結果の平均値は、1.08(標高m)～3.30(標高m)である。また、平成22年度と平成26年度における地下水位を比較すると、すべての測定局で低下している。

表 6.1-64 地下水位の観測結果(平成26年度 仙台市)

No.	名称		所在地	地下水位 (標高 m)		
				最高値	最低値	平均値
1	中野測定局	1号井	仙台市宮城野区 中野字高橋前 65	3.34	2.85	3.13
		2号井		2.19	1.64	2.00
		3号井		1.22	0.83	1.08
2	日の出町測定局	1号井	宮城野区日の出町 3-6	3.43	3.18	3.30
		2号井		3.08	2.46	2.82

出典：「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

表 6.1-65 地下水位の経年変化(平成22年度～平成26年度 仙台市)

No.	名称		所在地	地下水位 (標高 m)				
				平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
1	中野測定局	1号井	仙台市宮城野区 中野字高橋前 65	3.18	2.84	3.48	2.99	3.13
		2号井		2.20	1.77	2.41	1.88	2.00
		3号井		1.50	1.08	1.23	1.04	1.08
2	日の出町測定局	1号井	宮城野区日の出町 3-6	3.53	3.22	3.59	3.23	3.30
		2号井		2.91	2.64	3.21	2.67	2.82

注) 地下水位は該当年度の平均値である。

出典：「公害関係資料集」(平成22年度～平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

ウ 地盤沈下の観測結果

仙台市の平成 24 年度における地盤変動量を表 6.1-66, 平成 20 年度～平成 24 年度の地盤変動量の経年変化を表 6.1-67, 多賀城市の平成 24 年度における地盤変動量を表 6.1-68, 平成 20 年度～平成 24 年度の地盤変動量の経年変化を表 6.1-69 に示す。

平成 24 年度における地盤高さの年間変動量は, -5～-655.5mm の変動であった。これは, 平成 20 年度の年間-2～-15mm, 平成 22 年度の年間+3～-13mm の変動量に比較して非常に大きいことから, 東日本大震災による影響と推定される。

表 6.1-66(1) 地盤沈下の観測結果(平成 24 年度, 仙台市)(1/3)

No.	水準点番号	所在地	変動量(mm)		標高(m)
			平成 24 年度	累計	
—	5649	原町五丁目	-15.3	-29.9	25.0614
—	5650	燕沢一丁目	-86.5	-77.5	10.8137
—	5651	岩切字山崎	-22.4	-36.7	10.5229
—	5652	岩切字羽黒前	-39.2	-84	7.4039
—	045-003	原町一丁目	-13.4	-27.3	35.3554
—	045-004	原町三丁目	-22.2	-28.8	20.3105
—	045-005	苦竹二丁目	—	-23.7	10.6240
—	045-006	日の出町一丁目	-68.2	-144.1	4.2312
—	045-007	扇町一丁目	-81.6	-229	3.1054
—	045-008	扇町一丁目	-75.5	-324.7	2.9575
—	045-009	福室字高砂駅西	-71.1	-121.3	3.4942
—	045-010	福室字高砂駅東	-69.7	-123.1	4.1770
—	045-011	中野字出花西	-78.6	-158.7	3.5009
—	753	南目館	-19.8	-30.2	8.9877
—	気象台	五輪一丁目	-7.3	-20.7	38.5215
—	港湾 (3)	中野字出花	-72.7	-57.8	2.3161
—	仙 0-2	苦竹四丁目	-64.9	-60.1	4.4186
—	仙 10	東仙台四丁目	-14	-36.3	28.2634
—	仙 11	東仙台二丁目	-11.5	-31.2	23.4411
—	仙 12	東仙台二丁目	-11.5	-39.2	23.2172
—	仙 13	岩切一丁目	-88.5	-53	8.1914
—	仙 15	岩切字中江北	—	-70.6	7.1983
—	仙 17	田子字権八	-67.8	-133.8	6.1523
—	仙 18	田子字二木	-72.7	-125.3	5.7489
—	仙 19	田子一丁目	-65.4	-100	4.0363
—	仙 20	福田町二丁目	-70.1	-92.9	4.4920
—	仙 22	岡田字明神東	-74.3	-151.9	3.5963
—	仙 28	卸町二丁目	-28	-48.3	6.8557
—	仙 29	卸町二丁目	-35.8	-177.5	6.2195
—	仙 30	苦竹四丁目	-42.3	-82	5.8199
—	仙 41	五輪一丁目	-5	-12.9	39.4788
—	仙 43	中野字高橋前	-73.5	-70	4.4778
—	仙 44	岡田西町	-65.7	-175.7	3.7332
—	仙 61	宮千代三丁目	-19	-85.4	7.6045
—	仙 62	東宮城野	-14.2	-45.9	9.6117
—	仙 64	卸町東一丁目	-58.4	-79.8	4.7105
—	仙 65	鶴代町	-63.6	-70.8	4.1460

注 1) 変動量は, 左が年間(単年度)変動量/右が累計変動量。

注 2) 変動量が大きいの東日本大震災による影響と推定される。

出典: 宮城県 HP: 地盤沈下対策 (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/index-jiban.html>)

表 6.1-66(2) 地盤沈下の観測結果(平成 24 年度, 仙台市)(2/3)

No.	水準点番号	所在地	変動量(mm)		標高(m)
			平成 24 年度	累計	
—	仙 68	中野字蓬田	-102.4	-61.6	3.2759
—	仙 69	福室字寺前	-80.9	-75.2	4.1550
—	仙 96	白鳥二丁目	-72.8	-47.8	1.5096
—	仙 104	小鶴字仙石	—	-137.3	3.0904
—	仙 105	福住町	-52.1	-57.8	3.8487
—	仙 106	田子一丁目	-67	-70.7	3.5286
—	仙 108	高瀬町	-44.5	-88.5	4.6769
—	仙 109	岩切三丁目	-22.1	-33.1	13.1337
—	仙 110	岩切字青津目	-59.9	-55	6.6308
—	仙 111	岩切字東河原	-61.2	-42.3	7.7760
—	仙 112	栄四丁目	-63.4	-58.2	3.7421
—	仙 113	福室一丁目	-67.3	-53.4	2.8232
—	仙 114	鶴巻一丁目	-75.8	-79.7	3.1222
—	仙 115	松森字齐兵衛	-23	-71.9	19.7856
—	仙 116	松森字前田	-53.9	-46.1	17.0218
—	仙 117	市名坂字原田	-60.1	-42.9	16.5962
—	仙 121	福田町南	-53.8	-53.2	3.6395
—	仙 122	鶴巻二丁目	-66.2	-58.3	3.3961
—	仙 123	岡田字北在家	-56.8	-42.7	3.2313
—	仙 125	苦竹三丁目	-67.9	-49.1	4.5107
—	仙 126	日の出町二丁目	-63.9	-62.6	4.6575
—	仙 127	日の出町二丁目	-51	-64	3.6596
—	仙 128	日の出町三丁目	-122.9	-80.1	3.0519
—	仙 129	日の出町三丁目	-57.9	-68.8	3.4482
—	仙 134	小鶴字屋舗	-32.2	-36.1	7.8012
—	仙 135	福室字田中前二番	-65.7	-47.3	2.0244
—	仙 136	苦竹四丁目	-85.1	-143	4.8035
—	仙 138	扇町四丁目	-655.5	-148.6	2.9948
—	仙 141	福室字弁当二番	-62	-32.4	3.4442
—	仙 142	幸町二丁目	-15.7	-50.5	33.3902
—	仙 143	福田町四丁目	-52.4	-81.0	2.8750
—	仙 144	扇町四丁目	-68.2	-40.7	2.4837
—	仙 146	岩切字三所南	-55.7	-45.9	8.6973
—	仙 147	田子三丁目	-85.8	-87.8	5.5411
—	仙 148	南目館	-88.1	-122.9	7.9894
—	仙 156	新田四丁目	-21.4	-21.4	6.9092
—	仙 157	岩切字今市東	-68.1	-68.1	8.6363
—	仙苦 1-1	日の出町一丁目	-45.3	-205.7	4.3530
—	仙苦 1-2	日の出町一丁目	-64.2	-161.2	3.6824
—	仙苦 1-3	扇町一丁目	-71.6	-213.9	3.1613
—	仙苦 1-4	扇町一丁目	-77	-201.5	3.2487
—	仙苦 2-2	日の出町二丁目	-59.3	-157.2	3.5139
—	仙苦 2-3	扇町五丁目	-70.2	-241.7	2.6301
—	仙苦 3-1	苦竹三丁目	-36.8	-109.1	6.0680
—	仙苦 3-2	日の出町二丁目	-82.3	-353.8	3.2442
—	仙苦 3-3	扇町二丁目	-65.9	-195.5	3.1038

注 1) 変動量は、左が年間(単年度)変動量/右が累計変動量。

注 2) 変動量が大きいののは東日本大震災による影響と推定される。

出典：宮城県 HP：地盤沈下対策 (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/index-jiban.html>)

表 6.1-66(3) 地盤沈下の観測結果(平成 24 年度, 仙台市)(3/3)

No.	水準点番号	所在地	変動量(mm)		標高(m)
			平成 24 年度	累計	
—	仙苦 3-5	扇町四丁目	-79	-226.7	2.5213
—	仙苦 4-1	日の出町三丁目	—	-275.5	4.4270
—	仙苦 4-2	日の出町三丁目	-63.3	-166.1	4.0613
—	仙苦 4-3	扇町三丁目	-87.7	-216.9	3.6107
—	仙苦 4-4	扇町四丁目	-80.2	-230.9	3.2053
—	仙苦 4-5	扇町四丁目	-76.4	-247.2	3.2833
—	仙苦 5-1	卸町四丁目	-51.6	-163.6	5.3601
—	仙苦 5-2	六丁の目西町	-95.9	-98.6	5.3670
—	仙苦 5-3	六丁の目元町	-26.9	-45.5	6.6499
—	仙 H	日の出町三丁目	-65.1	-107	4.0074
—	TS-2	福室字田中前二番	-61	-73.5	1.8633

注 1) 変動量は、左が年間(単年度)変動量/右が累計変動量。

注 2) 変動量が大きいののは東日本大震災による影響と推定される。

出典：宮城県 HP：地盤沈下対策 (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/index-jiban.html>)

表 6.1-67(1) 地盤沈下の経年変化(平成 20 年度,平成 22 年度,平成 24 年度,仙台市)(1/2)

No.	水準点番号	平成 20 年度	平成 22 年度	平成 24 年度	
		変動量(mm)	変動量(mm)	変動量(mm)	標高(m)
—	5649	-3	+3	-15.3	25.0614
—	5650	-15	-2	-86.5	10.8137
—	5651	-7	-1	-22.4	10.5229
—	5652	-8	0	-39.2	7.4039
—	045-003	-7	-1	-13.4	35.3554
—	045-004	-5	+1	-22.2	20.3105
—	045-005	仮点	+3	—	10.6240
—	045-006	-8	0	-68.2	4.2312
—	045-007	-9	0	-81.6	3.1054
—	045-008	-8	-1	-75.5	2.9575
—	045-009	-12	-1	-71.1	3.4942
—	045-010	-6	+2	-69.7	4.1770
—	045-011	-8	-1	-78.6	3.5009
—	753	-2	+3	-19.8	8.9877
—	気象台	-4	+3	-7.3	38.5215
—	港湾 (3)	-7	仮点	-72.7	2.3161
—	仙 0-2	-8	-7	-64.9	4.4186
—	仙 10	-3	+2	-14	28.2634
—	仙 11	-4	+3	-11.5	23.4411
—	仙 12	-5	+2	-11.5	23.2172
—	仙 13	-8	-2	-88.5	8.1914
—	仙 15	-7	-3	—	7.1983
—	仙 17	-8	-5	-67.8	6.1523
—	仙 18	-10	-4	-72.7	5.7489
—	仙 19	-7	-3	-65.4	4.0363
—	仙 20	-7	0	-70.1	4.4920
—	仙 22	-7	-2	-74.3	3.5963
—	仙 28	-2	+2	-28	6.8557
—	仙 29	-4	-5	-35.8	6.2195
—	仙 30	-5	+1	-42.3	5.8199
—	仙 41	-3	+3	-5	39.4788
—	仙 43	-8	-1	-73.5	4.4778
—	仙 44	-7	-2	-65.7	3.7332
—	仙 61	-2	+1	-19	7.6045
—	仙 62	-3	+2	-14.2	9.6117
—	仙 64	-4	-1	-58.4	4.7105
—	仙 65	-5	+1	-63.6	4.1460
—	仙 68	-9	+1	-102.4	3.2759
—	仙 69	-9	+1	-80.9	4.1550
—	仙 96	-5	+2	-72.8	1.5096
—	仙 104	-11	-4	—	3.0904
—	仙 105	-7	0	-52.1	3.8487
—	仙 106	-8	-1	-67	3.5286
—	仙 108	-10	-6	-44.5	4.6769
—	仙 109	-6	-1	-22.1	13.1337
—	仙 110	-7	-2	-59.9	6.6308
—	仙 111	-8	-1	-61.2	7.7760

注 1) 変動量は、左が年間(単年度)変動量/右が累計変動量。

注 2) 変動量が大きいののは東日本大震災による影響と推定される。

出典：宮城県 HP：地盤沈下対策 (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/index-jiban.html>)

表 6.1-67(2) 地盤沈下の経年変化(平成 20 年度, 平成 22 年度, 平成 24 年度, 仙台市)(2/2)

No.	水準点番号	平成 20 年度	平成 22 年度	平成 24 年度	
		変動量 (mm)	変動量 (mm)	変動量 (mm)	標高 (m)
—	仙 112	-6	-2	-63.4	3.7421
—	仙 113	-6	+2	-67.3	2.8232
—	仙 114	-6	-1	-75.8	3.1222
—	仙 115	-11	-3	-23	19.7856
—	仙 116	-9	-1	-53.9	17.0218
—	仙 117	-11	-2	-60.1	16.5962
—	仙 121	-6	-1	-53.8	3.6395
—	仙 122	-6	-2	-66.2	3.3961
—	仙 123	-4	+1	-56.8	3.2313
—	仙 125	-6	0	-67.9	4.5107
—	仙 126	-7	+1	-63.9	4.6575
—	仙 127	-9	-2	-51	3.6596
—	仙 128	異常点	-13	-122.9	3.0519
—	仙 129	-9	-2	-57.9	3.4482
—	仙 134	-7	+2	-32.2	7.8012
—	仙 135	-4	+2	-65.7	2.0244
—	仙 136	-11	-6	-85.1	4.8035
—	仙 138	-9	-2	-655.5	2.9948
—	仙 141	-5	+2	-62	3.4442
—	仙 142	-2	0	-15.7	33.3902
—	仙 143	-7	-3	-52.4	2.8750
—	仙 144	-6	-1	-68.2	2.4837
—	仙 146	-7	-3	-55.7	8.6973
—	仙 147	-9	-4	-85.8	5.5411
—	仙 148	再設	-6	-88.1	7.9894
—	仙 156	—	—	-21.4	6.9092
—	仙 157	—	—	-68.1	8.6363
—	仙苦 1-1	-7	0	-45.3	4.3530
—	仙苦 1-2	-9	-1	-64.2	3.6824
—	仙苦 1-3	-9	-4	-71.6	3.1613
—	仙苦 1-4	-8	-4	-77	3.2487
—	仙苦 2-2	-13	-4	-59.3	3.5139
—	仙苦 2-3	-10	-3	-70.2	2.6301
—	仙苦 3-1	-10	-3	-36.8	6.0680
—	仙苦 3-2	-17	-5	-82.3	3.2442
—	仙苦 3-3	-9	-1	-65.9	3.1038
—	仙苦 3-5	-9	-9	-79	2.5213
—	仙苦 4-1	-9	-2	—	4.4270
—	仙苦 4-2	仮点	+2	-63.3	4.0613
—	仙苦 4-3	仮点	0	-87.7	3.6107
—	仙苦 4-4	-6	0	-80.2	3.2053
—	仙苦 4-5	-6	0	-76.4	3.2833
—	仙苦 5-1	-6	+2	-51.6	5.3601
—	仙苦 5-2	-9	0	-95.9	5.3670
—	仙苦 5-3	-3	+2	-26.9	6.6499
—	仙 H	移転	-5	-65.1	4.0074
—	TS-2	-5	+1	-61	1.8633

注 1) 変動量は、左が年間(単年度)変動量/右が累計変動量。

注 2) 変動量が大きいの東日本大震災による影響と推定される。

出典：宮城県 HP：地盤沈下対策 (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/index-jiban.html>)

表 6.1-68 地盤沈下の観測結果(平成 24 年度, 多賀城市)

No.	水準点番号	所在地	変動量(mm)	標高(m)
3	50	多賀城市高橋字発向	△254/△326	3.12
4	51	多賀城市南宮字毛上 28	△248/△342	4.92
5	52	多賀城市新田字中 143	△248/△379	4.34
6	53	多賀城市高橋一丁目 12-20	△256/△389	4.55
7	T-1	多賀城市南宮字色の字 197	△234/△286	4.75
8	T-3	多賀城市山王字北寿福寺 53-23	△225/△270	5.18
9	T-7	多賀城市山王字山王四区	△254/△308	4.35
10	新 TS-1	多賀城市新田字西後 8-2	△259/△292	7.29
11	TS-3	多賀城市新田字中 46-2	△253/△309	5.37
12	TS-4	多賀城市新田字新後 15-9	△238/△287	6.19
13	多賀城市水道事業所観測井架台	多賀城市新田字中 46-2	△255/△332	6.43
14	多賀城市水道事業所外管	〃	△224/△265	6.59
15	多賀城市水道事業所内管	〃	△223/△264	7.21
16	TM-1 宮東衛組 No. -1	多賀城市南宮字庚申 146-2	△254/△442	4.23
17	TM-2 宮東衛組 No. -2	多賀城市南宮字町 70	△249/△302	4.97

注 1) 変動量は、左が年間(単年度)変動量/右が累計変動量。

注 2) 変動量が大きいののは東日本大震災による影響と推定される。

出典：「平成 26 年度版統計書」(平成 28 年 5 月 多賀城市)

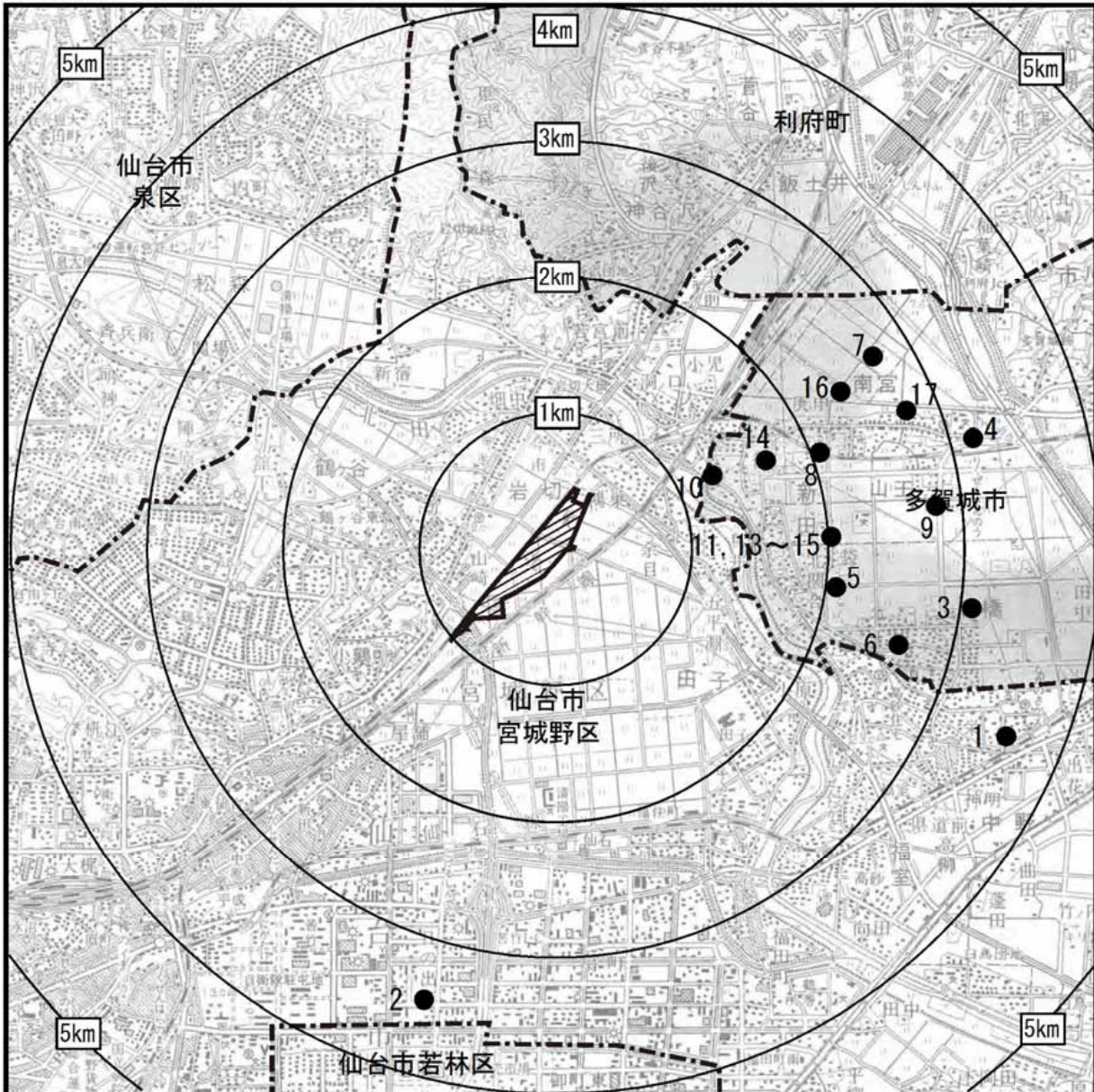
表 6.1-69 地盤沈下の経年変化(平成 20 年度, 平成 22 年度, 平成 24 年度, 多賀城市)

No.	水準点番号	平成 20 年度		平成 22 年度		平成 24 年度	
		変動量(mm)	標高(m)	変動量(mm)	標高(m)	変動量(mm)	標高(m)
3	50	△9/△72	3.37	△1/△72	3.37	△254/△326	3.12
4	51	△7/△93	5.17	△1/△94	5.17	△248/△342	4.92
5	52	△7/△129	4.59	△1/131	4.58	△248/△379	4.34
6	53	△7/△132	4.81	△1/△133	4.81	△256/△389	4.55
7	T-1	△6/△51	4.99	△1/52△	4.99	△234/△286	4.75
8	T-3	△5/△43	5.41	△2/△45	5.40	△225/△270	5.18
9	T-7	△7/△53	4.60	△1/△54	4.60	△254/△308	4.35
10	新 TS-1	△8/△31	7.56	△2/△33	7.55	△259/△292	7.29
11	TS-3	△7/△54	5.63	△2/△56	5.63	△253/△309	5.37
12	TS-4	△6/△48	6.42	△1/△49	6.42	△238/△287	6.19
13	多賀城市水道事業所観測井架台	△7/△75	6.69	△2/△77	6.68	△255/△332	6.43
14	多賀城市水道事業所外管	△6/△40	6.82	△1/△41	6.82	△224/△265	6.59
15	多賀城市水道事業所内管	△7/△40	7.21	△0/△41	7.21	△223/△264	7.21
16	TM-1 宮東衛組 No. -1	△6/△186	4.49	△2/△188	4.48	△254/△442	4.23
17	TM-2 宮東衛組 No. -2	△6/△51	5.23	△1/△53	5.22	△249/△302	4.97


注 1) 変動量は、左が年間(単年度)変動量/右が累計変動量。


注 2) 変動量が大きいののは東日本大震災による影響と推定される。


出典：「平成 26 年度版統計書」(平成 28 年 5 月 多賀城市)



凡 例

 : 計画地

 : 市町・区境界線

 : 地盤沈下・地下水位測定局

出典:「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)
「平成26年度版統計書」(平成28年5月 多賀城市)

図 6.1-22 地盤沈下測定局等の位置図



S=1:50,000

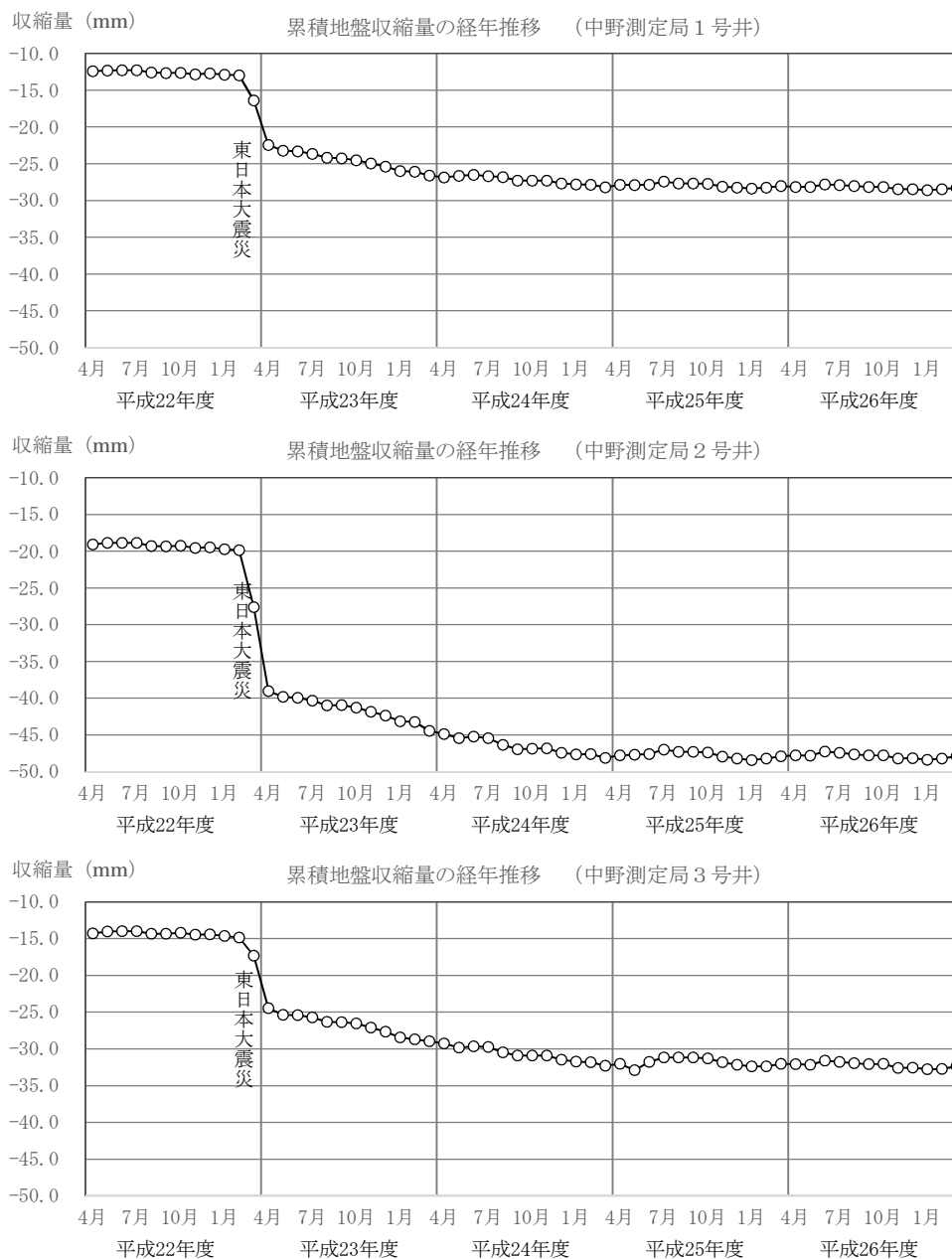
0 500 1000 2000m

工 累積地盤収縮量の推移

中野測定局の1号井～3号井及び日の出町測定局の1号井、2号井における平成22年度～平成26年度の累積地盤収縮量の経年変化を、図6.1-23及び図6.1-24に示す。

中野測定局及び日の出町測定局のいずれの観測井においても平成23年の2月から4月にかけて大きな収縮量を示している。

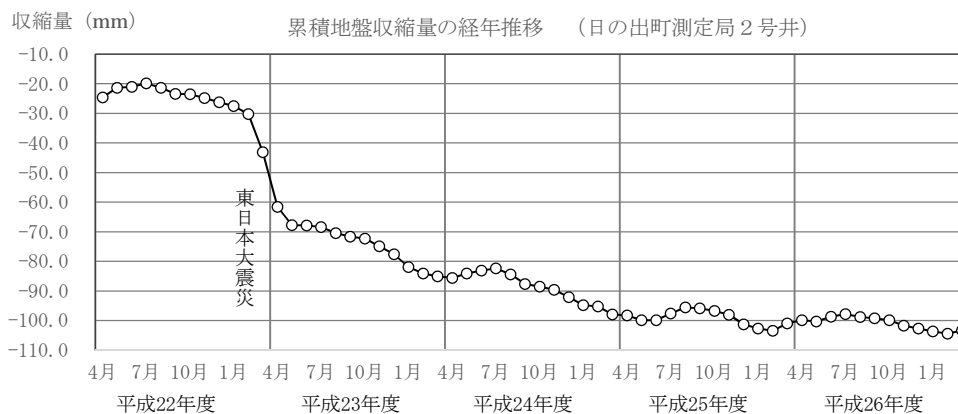
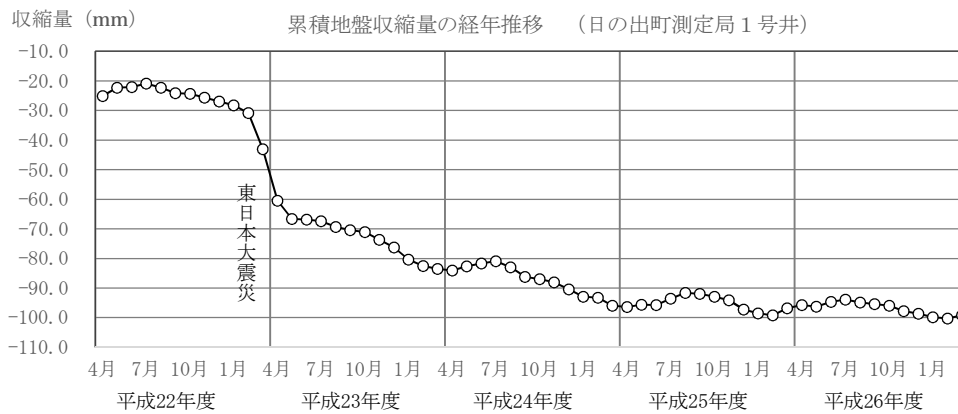
東日本大震災後、平成24年度にかけて中野測定局では5～8mm程度、日の出町測定局においては、40mm程度収縮し、その後は安定している。



注) 累積地盤収縮量は観測開始年を初期値(累積収縮量0mm)としている。

出典:「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

図 6.1-23 累積地盤収縮量の経年変化(中野測定局)



注 1) 累積地盤収縮量は観測開始年を初期値(累積収縮量0mm)としている。
 2) 平成19年9月より新日の出測定局へ移設
 出典: 「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)

図 6.1-24 累積地盤収縮量の経年変化(日の出町測定局)

オ 地盤沈下に関する苦情件数

「公害関係資料集」(平成26年度測定結果)(仙台市環境局)によると、平成24年度における地盤沈下に関する苦情件数は、0件である。

カ 地盤沈下が生じやすい地形・地質

地盤沈下の主な原因としては、軟弱な粘土層が分布している地域において、大量の地下水を揚水する場合等が挙げられる。仙台市では軟弱な地層が厚く分布する日の出町及びその周辺地域において、工場・事業場の進出に伴う地下水の汲み上げが行われたため、昭和47年から昭和48年頃地盤沈下が顕在化した。

地盤沈下が生じやすい軟弱層の分布は図6.1-21のとおりであり、軟弱層は、調査範囲においては0~10mの厚さで分布しており、計画地では2~6mの厚さで分布している。

(3) 土壌汚染

ア 土壌のダイオキシン類調査結果

調査範囲における土壌のダイオキシン類調査結果は、表 6.1-70 に示すとおりである。調査範囲では平成 20 年度～平成 26 年度にかけて計 7 地点(図 6.1-25)で調査を実施している。

調査結果は、全ての地点で環境基準を達成している。

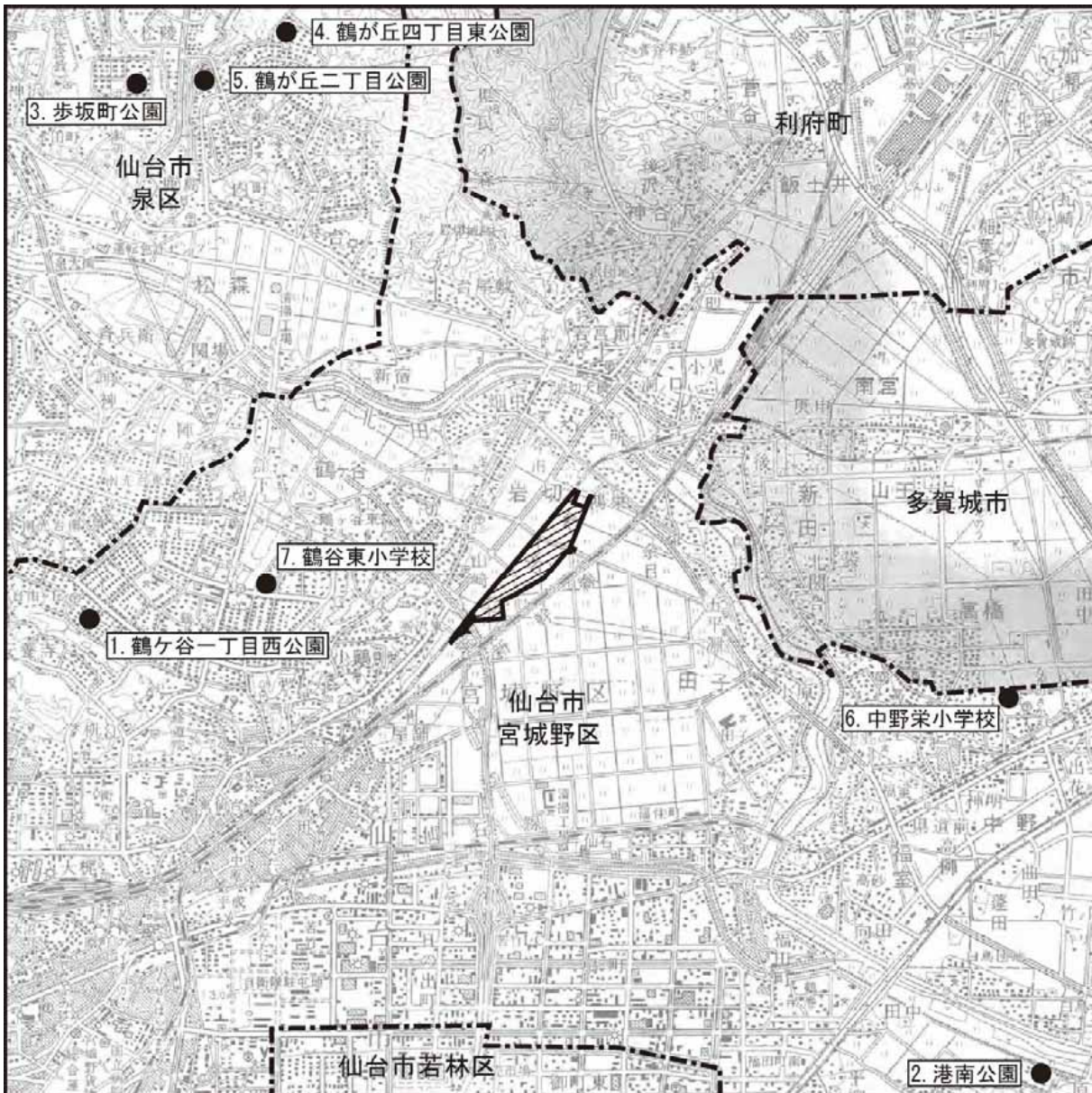
なお、平成 23 年度～平成 25 年度は調査範囲内において土壌のダイオキシン類の調査は実施していない。

表 6.1-70 土壌のダイオキシン類調査結果(平成 20 年度～平成 26 年度)




No.	調査年月日	地点所在地	調査地点名称	測定結果 (pg-TEQ/g)	環境基準 (pg-TEQ/g)
1	平成 20 年 11 月 18 日, 19 日	宮城野区鶴ヶ谷	鶴ヶ谷一丁目西公園	0.45	1,000
2		宮城野区蒲生	港南公園	0.44	
3	平成 21 年 10 月 27 日, 28 日	泉区歩坂町	歩坂町公園	2.3	
4		泉区鶴が丘	鶴が丘四丁目東公園	2.7	
5		泉区鶴が丘	鶴が丘二丁目公園	5.1	
6	平成 22 年 12 月 9 日	宮城野区栄	中野栄小学校	0.49	
7	平成 26 年 10 月 15 日～16 日	宮城野区鶴ヶ谷	鶴谷東小学校	0.028	

注) 平成 23 年度～平成 25 年度は調査範囲内において土壌のダイオキシン類調査を実施していない。

出典「公害関係資料集」(平成 20 年度～平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)



凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 土壌のダイオキシン類調査地点

出典:「公害関係資料集」(平成20～26年度測定結果)(仙台市環境局)

図 6.1-25 土壌のダイオキシン類調査地点



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

イ 土壤汚染対策法施行状況

土壤汚染対策法は、平成 15 年 2 月 15 日より施行され、平成 22 年 4 月 1 日に一部改正された。仙台市における施行状況は表 6.1-71 に示すとおりである。

土壤汚染対策法施行後の累積で、水質汚濁防止法の有害物質使用特定施設の件数は 171 件、廃止件数が 26 件、調査結果報告件数が 8 件、調査猶予件数が 16 件、一定規模(3,000m²)以上の土地の形質の変更の届出件数が 47 件となっている。法改正により、新たに区分された要措置区域、形質変更時要届出区域の指定件数は、平成 26 年度にはそれぞれ 1 件と 4 件である。また、土地所有者等による区域指定の申請(法第 14 条)が 2 件ある。

表 6.1-71 土壤汚染対策法施行状況(仙台市全体)

(仙台市全域について、平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

内 容		件数
法に規定する特定有害物質の使用を把握している特定施設 ^{※1} の件数		171
法第 3 条 ^{※2}	有害物質使用特定施設の廃止件数	26
	調査結果報告件数	8
	調査猶予件数	16
法第 4 条	一定規模(3,000m ²)以上の土地の形質の変更の届出	47
	調査命令発出件数	0
	調査結果報告件数	0
法第 5 条	調査命令発出件数	0
	調査結果報告件数	0
法第 6 条	要措置区域に指定した件数	1
	要措置区域を解除した件数	1
法第 12 条	形質変更時要届出区域に指定した件数	4
	形質変更時要届出区域を解除した件数	4
法第 14 条	指定の申請件数	2

※1 特定施設とは、水質汚濁防止法第 2 条第 2 項に規定する特定施設をいう。

※2 法 3 条については、土壤汚染対策法施行後から平成 27 年 3 月 31 日までの累計件数。

有害物質使用特定施設の廃止年度と調査結果報告・調査猶予の年度が異なる場合があること、また、調査猶予の取り消し後に調査結果報告を行う場合があることから、結果報告件数と調査猶予件数の合計が有害物質使用特定施設の廃止件数と一致しない場合がある。

出典：「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)

調査範囲における、土壌汚染対策法施行状況は表 6.1-72 及び図 6.1-26 に示すとおりで、法第 6 条の要措置区域に指定された 2 件及び法第 12 条の形質変更時要届出区域に指定された 4 件となっている。

表 6.1-72 土壌汚染対策法施行状況(調査範囲)

条項	指定番号	指定年月日 (告示番号)	所在地 (地番)	指定面積 (㎡)	基準を超過した 特定有害物質の種類
法第 6 条	要-14	平成 25 年 10 月 22 日 (第 502 号)	仙台市宮城野区扇町四丁目 5 番 5 の一部	200.0	ベンゼン
	要-15	平成 26 年 8 月 29 日 (第 364 号)	仙台宮城野区萩野町四丁目 19 番 87 号の一部	190.0	シス-1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン
法第 12 条	形-3	平成 24 年 11 月 5 日 (第 491 号)	仙台宮城野区仙石 16 番 1 の一部	1500	砒素及びその化合物
	形-5	平成 24 年 11 月 26 日 (第 511 号)	仙台宮城野区幸町四丁目 1 番 2 の一部	1300	鉛及びその化合物 砒素及びその化合物 ふっ素及びその化合物
	形-11	平成 25 年 7 月 9 日 (第 339 号)		5313.27	
	形-19	平成 26 年 8 月 29 日 (第 365 号)	仙台宮城野区萩野町四丁目 19 番 44, 19 番 87 及び 19 番 122 の各一部	4313.8	鉛及びその化合物

出典：「土壌汚染対策法に基づく要措置区域等」

(仙台市 HP : <http://www.city.sendai.jp/suishitsu/kurashi/machi/kankyohozen/kogai/osentaisaku/sochikuiki.html>)

ウ 土壌汚染に関する苦情件数

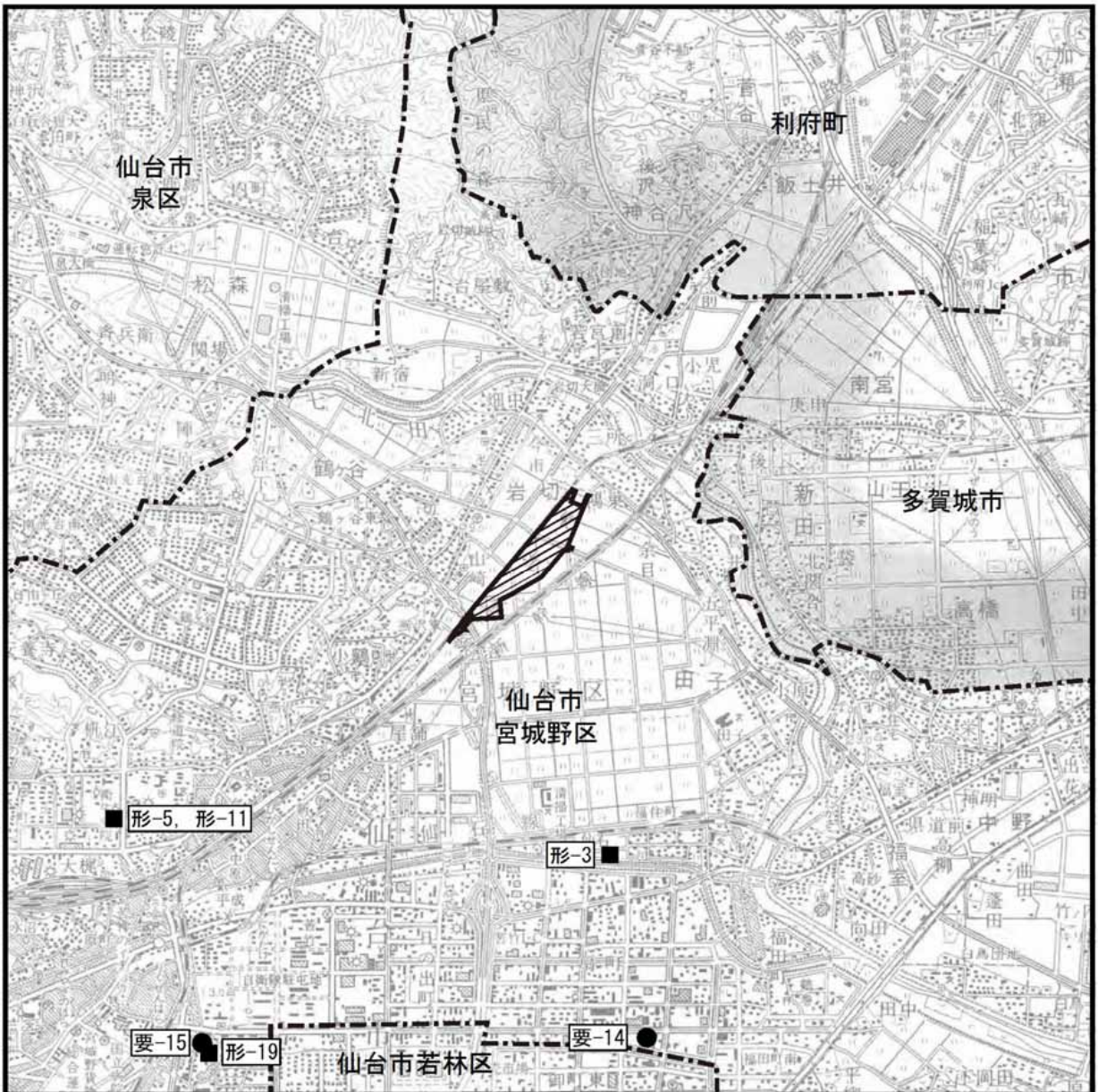
「公害関係資料集」(平成 26 年度測定結果)(仙台市環境局)によると、平成 26 年度における土壌汚染に関する苦情件数は、0 件である。

エ 発生源の状況





水質汚濁防止法・下水道法による届出が出されている特定施設であって、土壌汚染対策法により指定された有害物質を使用している施設について仙台市及び多賀城市に問い合わせたが、公表している資料はなかった。

オ 計画地周辺の状況

計画地周辺では土壌汚染は報告されていない。



凡 例

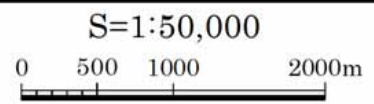
-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 要措置区域(法第6条)
-  : 形質変更時要届出区域(法第12条)

出典:「土壤汚染対策法に基づく要措置区域等」

(仙台市HP: <http://www.city.sendai.jp/suishitsu/kurashi/machi/kankyohozen/>

[kogai/osentaisaku/sochikuiki.html](http://www.city.sendai.jp/kogai/osentaisaku/sochikuiki.html))

図 6.1-26 土壤汚染対策法施行状況



6.1.4 生物環境

(1) 植物

ア 注目すべき植物種の状況

仙台市は、市域が海岸から奥羽山脈まで広がりを持ち、仙台市の丘陵地帯が暖温帯と冷温帯の間に位置する中間地帯と呼ばれる領域が広く占めているという特徴があり、暖地系及び寒地系の両方の植物がみられ、植物相が多様である。

調査範囲内における注目すべき植物種の状況は、以下に示す 3 つの文献から整理した。具体的には、これら文献に掲載されている種のうち、表 6.1-73 に示す選定基準に該当するものを注目すべき種として整理した。ただし、文献①については、仙台市全域を対象としていることから、文献①に掲載されている種のうち、地域区分が「東部田園地域」とされている減少種（表 6.1-74 参照）、または、種の分布地として調査範囲内の地域（中野、岩切、岡田、県民の森等）が示されている種のみを抽出した。

整理した結果は、表 6.1-75～表 6.1-79 に示すとおりであり、調査範囲内における注目すべき種数は 180 種であった。

- ①「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年 3 月 仙台市）
- ②「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成 5 年 3 月 宮城県）
- ③「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成 13 年 3 月 宮城県）
- ④「平成 27 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 28 年 3 月 仙台市）

表 6.1-73 注目すべき種の選定基準

判断基準		番号等*	説明	
仙台市における保全上重要な種の区分注)	学術上重要種	1	仙台市において、もともと稀産あるいは希少である種。あるいは分布が限定されている種。	
		2	仙台市周辺地域が分布の北限、南限となっている種。あるいは隔離分布となっている種。	
		3	仙台市が模式産地(タイプロカリティー)となっている種	
		4	その他、学術上重要な種	
	注目種	減少種	EX	絶滅。過去に仙台市に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、仙台市では既に絶滅したと考えられる種。
			EW	野生絶滅。過去に仙台市に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられる種。
			A	現在ほとんど見ることができない。
			B	減少が著しい。
			C	減少している。
			*	普通に見られる。
			/	生息・生育しない可能性が非常に大きい。
	環境指標種	○	本市の各環境分類において良好な環境を指標する種。(ビオトープやミティゲーションにおける計画・評価のための指標)	
	ふれあい保全種	○	市民に親しまれている(よく知られている)種のうち、保全上重要な種。(身近にある種の保全に対して啓蒙をはかるための種。)	
	レッドデータ等	国 RL(「環境省レッドリスト 2015 の公表について」(平成 27 年 環境省報道発表資料)掲載種)	EX	絶滅
EW			野生絶滅	
CR			絶滅危惧ⅠA類	
EN			絶滅危惧ⅠB類	
VU			絶滅危惧Ⅱ類	
NT			準絶滅危惧	
DD			情報不足	
LP			絶滅のおそれのある地域個体群	
県 RDB(「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(平成 28 年 宮城県)掲載種)		EX	絶滅	
		EW	野生絶滅	
		CR+EN	絶滅危惧類	
		VU	絶滅危惧Ⅱ類	
		NT	準絶滅危惧	
		DD	情報不足	
要		要注目種		
天記、種保存法		特天	『文化財保護法』(昭和 25 年法律第 214 号)における特別天然記念物	
		天	『文化財保護法』(昭和 25 年法律第 214 号)における天然記念物	
		国内	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』(平成 4 年法律第 75 号)における国内希少野生動植物	
		国際	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』(平成 4 年法律第 75 号)における国際希少野生動植物	

注) 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)による。

※: 番号等は表 6.1-75~表 6.1-79 に示す注目すべき種の選定基準に該当する。

表 6.1-74 減少種の地域区分

番号	地域区分
1	山地地域
2	丘陵地域
3	市街地地域
4	東部田園地域
5	海浜地域(後背の樹林帯も含む)

注) 計画地は、「4 東部田園地域」に該当する。

出典: 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)

「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画 2011-2020」(平成 28 年 3 月 仙台市)

表 6.1-75 注目すべき植物種(1/5)

No.	科名	種名	文献			仙台市重要種区分							国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地	
			①	②	③	学術上重要種	注目種					ふれあい保全種					
							減少種										
							山地	西部丘陵地・田圃	市街地	東部田圃	海浜						環境指標種
1	ミズニラ	ミズニラ	○			1		B		A				NT	NT		
2	トクサ	イヌスギナ	○	○	○			B		B						中野	
3	イノモトソウ	オオバノイノモトソウ	○			1,2		B	C							岩切	
4	チャセンシダ	コタニワタリ	○		○			B					○				
5	オシダ	リョウメンシダ		○	○			B				○	○				
6		オシダ		○	○			B									
7		アイアスカイノデ			○	2											
8		イワシロイノデ			○	○			B								
9		サカゲイノデ			○				B								
10		ジュウモンジシダ		○	○			B				○	○				
11	ヒメシダ	ヒメワラビ	○			2		B	B	B							
12	メシダ	イヌガンソク		○	○			C									
13		クサソテツ	○	○	○			B		C		○					
14	デンジソウ	デンジソウ	○				EX	EX	EX	EX	EX		VU	EW			
15	サンショウモ	サンショウモ	○				EX	EX	EX	EX	EX		VU	NT			
16	マツ	モミ		○	○	2		C				○	○				
17	イチイ	カヤ		○	○	2		B				○					
18	クルミ	オニグルミ	○	○	○			B	B	B		○	○				
19	ヤナギ	ネコヤナギ		○		4		C	C			○	○				
20		キツネヤナギ		○	○			C				○	○				
21	カバノキ	ハンノキ	○	○	○	1,4		C		B	C	○	○			岡田	
22		ウダイカンバ		○	○	4	C	C									
23		サワシバ	○	○			C	B				○				県民の森	
24		アカシデ	○	○	○		C	B			/	○	○			県民の森	
25		イヌシデ		○	○	4	C	B			C	○					
26	ブナ	ブナ		○		4	C	B				○					
27		イヌブナ		○		1,4		B				○	○				
28		アカガシ	○	○	○	2	C	C	C	C	○					県民の森	
29		ミズナラ		○			C	B				○					
30		シラカシ	○	○	○	2	C	C	C	C	/	○	○				岡田
31		ウラジロガシ	○	○	○	2	C	C	C	/							
32	ニレ	エノキ	○	○	○	4		B	B	B		○				岡田	
33		オヒョウ		○			C										
34		ケヤキ	○	○	○		C	C	B	B		○	○				
35	タデ	ヤナギスカボ	○	○		1				C			VU	要			
36		イスタデ		○	○							○					
37		ミゾソバ	○	○	○		C	B	C			○	○				
38		ノダイオウ	○	○		1,4	C		C				VU	要		県民の森	
39	ナデシコ	カワラナデシコ	○				C			C		○				県民の森	
40	モクレン	タムシバ		○								○					

注 1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(平成 27 年 河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

2) 表中の文献は以下のとおりである。

① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)

② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 5 年 3 月 宮城県)

③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。

4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

表 6.1-76 注目すべき植物種(2/5)

No.	科名	種名	文献			仙台市重要種区分							国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地	
			①	②	③	学術上重要種	注目種					ふれあい保全種					
							減少種										
							山地	西部丘陵地・田圃	市街地	東部田圃	海浜						環境指標種
41	モクレン	シデコブシ		○									NT				
42	クスノキ	オオバクロモジ		○	○							○	○				
43		シロダモ	○	○	○	2		*		*	*	○	○				
44	キンボウゲ	ニリンソウ	○	○				B		B		○	○			県民の森	
45		イチリンソウ		○										CR+EN			
46		キクザキイチゲ	○	○			C	B		B		○	○				
47		レンゲショウマ	○			1		B		C							
48		カザグルマ	○	○		1		B		B				NT	VU		県民の森
49		ヒメキンボウゲ	○			1,2	EX	EX	EX	EX	EX			VU	CR+EN		
50	スイレン	オニバス	○				EX	EX	EX	EX	EX			VU	EX		
51	マツモ	マツモ	○	○	○	1				A							
52		ヨツバリマツモ	○			1,2				A							
53	ツバキ	ヤブツバキ	○	○	○			B	B	B	B	○	○				
54		ナツツバキ		○											VU		
55	ケシ	ヤマブキソウ		○		1		B									
56	アブラナ	ナズナ	○	○	○			B	B	B		○	○			日の出町公園, 天神沢, 松陵	
57		コイスガラシ		○										NT	CR+EN		
58	ユキノシタ	トリアシショウマ	○	○	○		C	B		B		○				県民の森	
59		オオコガネネコノメソウ	○	○		1,2											
60		タコノアシ		○										NT			
61		ユキノシタ			○			B	B								
62	バラ	ザイフリボク		○		1		B									
63		ヤマブキ		○	○			C				○					
64		カスミザクラ		○	○			C				○					
65		ハマナス		○		4						○	○		NT		
66		カジイチゴ	○			1,2				C	C						岡田, 与兵衛沼公園
67		マメ	タヌキマメ	○			1,2	EX	EX	EX	EX	EX			CR+EN		
68		ツクシハギ	○	○	○			B				○	○			与兵衛沼	
69		センダイハギ	○	○		1					B	○	○	CR+EN		岡田	
70	ユズリハ	ユズリハ	○	○	○	1,2		C		C	C						
71	カエデ	ハウチワカエデ	○	○	○			C				○				県民の森	
72		メグスリノキ		○		1		B									
73		ヤマモミジ		○	○			B				○	○				
74		イタヤカエデ (広義)	○	○				C									県民の森
75		ウリハダカエデ		○	○			C					○				
76	トチノキ	トチノキ		○			C	C				○					
77	モチノキ	イヌツゲ		○	○			C				○					
78	グミ	マルバグミ			○									VU			
79	スマレ	サクラスマレ		○		1		B									
80		ナガハシスマレ	○	○		1		B		B						県民の森	

注 1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(平成 27 年 河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

2) 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)
- ② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 5 年 3 月 宮城県)
- ③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。

4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

表 6.1-77 注目すべき植物種(3/5)

No.	科名	種名	文献			仙台市重要種区分							国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地	
			①	②	③	学術上重要種	注目種					ふれあい保全種					
							減少種										
							山地	西部丘陵地・田圃	市街地	東部田圃	海浜						環境指標種
81	ヒシ	ヒシ	○	○	○			B		B		○	○				
82	ミズキ	アオキ	○	○	○			C	C	C	C	○	○				
83	ウコギ	コシアブラ		○	○		C	C									
84	セリ	サワゼリ	○			1							VU	NT		岩切	
85	イチヤクソウ	ウメガサソウ	○					C		C	○	○				県民の森	
86	ツツジ	ヤマツツジ		○	○			C	C		C	○	○				
87		ナツハゼ	○	○	○			C				○				県民の森	
88	ヤブコウジ	ヤブコウジ	○	○	○							○				与兵衛沼公園	
89	モクセイ	イボタノキ	○	○	○			B				○				県民の森	
90	リンドウ	イヌセンブリ	○			1							VU	VU		岡田	
91	ミツガシワ	ヒメシロアサザ	○			1				A			VU	VU			
92	ガガイモ	コカモメヅル	○		○	1								VU		県民の森	
93	アカネ	ハクチョウゲ		○									EN				
94	ヒルガオ	ハマヒルガオ	○								B	○	○			中野	
95	ムラサキ	ルリソウ		○				C						NT			
96	クマツヅラ	カリガネソウ			○									CR+EN			
97	シソ	フトボナギナタコウジュ	○			1,2										県民の森	
98		ヒメハッカ	○			1				B				NT	CR+EN		
99	ゴマノハグサ	アブノメ		○										VU			
100		オオアブノメ	○			1				B				VU	要		
101		ムラサキサギゴケ	○	○	○			C		C		○					岡田
102		カワヂシャ	○			1			B	B				NT	NT		新田
103	タヌキモ	フサタヌキモ	○				EX	EX	EX	EX	EX		EN	EX			
104		ムラサキミミカキグサ	○			1		A		A	A			NT	NT		
105	オオバコ	オオバコ		○	○							○					
106	オミナエシ	オミナエシ	○	○				B		B		○	○			岡田	
107	キキョウ	シデシャジン	○			1										県民の森	
108		キキョウ		○	○	1			B			○	○	VU	VU		
109	キク	オクモミジハグマ		○	○			C				○					
110		キッコウハグマ		○	○			B				○					
111		オケラ	○	○	○			B				○	○				県民の森
112		アキノキリンソウ		○	○			C				○					
113		エゾタンポポ	○	○	○			C	B	B	C	○	○				岡田
114		オナモミ			○									VU	VU		
115	オモダカ	オモダカの仲間	○	○	○			C		B		○					
116	トチカガミ	クロモ	○		○			B		A		○					
117		ミズオオバコ	○			1		B		B				VU	NT		
118	ヒルムシロ	イトモ	○			1		C		B			NT	要			
119		エビモ	○	○	○			B		B		○					
120		ツツイトモ			○									VU	CR+EN		

注 1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(平成 27 年 河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

2) 表中の文献は以下のとおりである。

① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)

② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 5 年 3 月 宮城県)

③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。

4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

表 6.1-78 注目すべき植物種(4/5)

No.	科名	種名	文献			仙台市重要種区分							国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地	
			①	②	③	学術上重要種	注目種					ふれあい保全種					
							減少種										
							山地	西部丘陵地・田圃	市街地	東部田圃	海浜						環境指標種
—	ヒルムシロ	ヒルムシロの仲間	○	○					C		B						
121	イバラモ	イトトリゲモ	○		1			B		A			NT	NT			
122		トリゲモ	○		1			B		A			VU	CR+EN			
123		オオトリゲモ	○		1			B		A				CR+EN			
124	ユリ	スズラン		○										VU			
125		カタクリ	○	○				B	B	B		○				県民の森	
126		ショウジョウバカマ	○	○				B				○	○			県民の森	
127		ニッコウキスゲ	○	○	○			B	B	B		○					
128		コオニユリ	○					B		B	B						
129		ヒメヤブラン	○	○	○			C			*	○	○			日の出町公園	
130		オオバジャノヒゲ		○	○			B				C	○				
131		ユキザサ		○				C					○				
132	キンバイザサ	コキンバイザサ	○				EX	EX	EX	EX	EX			EX			
133	ミズアオイ	ミズアオイ	○							C		○		NT			
134		コナギ	○							C		○	○				
135	アヤメ	ノハナショウブ		○	1			C				○	○				
136		ヒメシャガ		○				B	B			○	○	NT	NT		
137		カキツバタ	○		1			B		A				NT	VU		
138		アヤメ		○											NT		
139	イネ	ヤマアワ		○				B			B						
140		メヒシバ		○	○							○					
141		カゼクサ			○				C	C			○				
142		オオウシノケグサ	○	○	○	4		B		B	C	○	○				
143		ケカモノハン	○									B	○	○		中野	
144		カモノハン	○		1							B				岡田	
145		エゾノサヤヌカグサ	○								C						
146		オギ	○	○				C	C	C	C	○	○			岡田	
147		アイアシ	○		1							C	○		NT	七北田川	
148		ヨシ	○	○	○			C	C	C	C	○	○				
149		ツルヨシ	○					C	C	C		○					
150		オオクマガサ			○	3											
151		スズダケ		○				C				○	○				
152		ネズミノオ	○		○						C		○			岡田	
153		ハイドジョウツナギ		○											VU		
154		マコモ	○		○			B		B		○	○				
155		シバ	○	○	○			B	B	B		○	○				
156	サトイモ	ミズバショウ		○				B				○	○				
157		ヒメザゼンソウ	○	○				B	C							県民の森	
158	ミクリ	ミクリ	○	○	1			B		B		○		NT	NT		
159		ヤマトミクリ	○		1			A		A				NT	CR+EN		

注 1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(平成 27 年 河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

2) 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)
 - ② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 5 年 3 月 宮城県)
 - ③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)
- 3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。
 4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

表 6.1-79 注目すべき植物種(5/5)

No.	科名	種名	文献			仙台市重要種区分										国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地	
			①	②	③	学術上重要種	注目種													
							減少種					環境指標種	ふれあい保全種							
							山地	西部丘陵地・田圃	市街地	東部田圃	海浜									
160	ミクリ	ナガエミクリ	○			1		A		A						NT	NT			
161	ガマ	ヒメガマ	○	○	○			C	C	C				○						
162		ガマ	○	○	○			C	C	C			○	○						
163	カヤツリグサ	ヤマクボスゲ		○		1									NT	VU				
164		マメスゲ	○			1										CR+EN	岡田			
165		オオカサスゲ	○					B		B										
166		センダイスゲ		○	○	4														
167		ニイガタガヤツリ		○											CR	要				
168		フトイ	○					B		B										
169		カンガレイ	○	○				B		B										
170		サンカクイ	○	○	○			B		B								大堤公園		
171		ラン	ユウシュンラン	○			1		B							VU	NT	県民の森		
172			キンラン		○		1	B	B							VU	VU			
173	シュンラン		○	○	○			C		C		○								
174	セッコク		○				EX	EX	EX	EX	EX					CR+EN				
175	ミズトンボ		○			1		A		B					VU	CR+EN				
176	ホクリクムヨウラン		○			1		B										県民の森		
177	ジガバチソウ			○	○											NT				
178	クモキリソウ		○		○	1,4		B			B							岡田		
179	ツレサギソウ			○												NT				
180	ネジバナ		○	○				B		B		○	○					日の出町公園		
	71 科	180 種	111 種	118 種	81 種	68 種	21 種	126 種	37 種	81 種	38 種	71 種	64 種	38 種	54 種	0 種				

注 1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(平成 27 年 河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

2) 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)
- ② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 5 年 3 月 宮城県)
- ③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。

4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

イ 保存樹木，保存樹林，保存緑地

仙台市の「杜の都の環境をつくる条例」に基づく「保存樹木」，「保存緑地」及び多賀城市の「多賀城市樹木の保存に関する要綱」に基づく「保存樹木」の調査範囲における指定状況は表 6.1-80，表 6.1-81 及び図 6.1-27 に示すとおりである。

調査範囲には「保存樹林」はない。また，計画地内に「保存樹木」，「保存樹林」及び「保存緑地」はない。

表 6.1-80 保存樹木

項目	記号	市	所有者	樹種	推定樹齢 (年)	樹高 (m)	幹周 (m)
保存樹木	1	仙台市	千手観音堂	イチヨウ	200	21.0	3.5
	2		稲舟神社	イロハカエデ	200	18.0	2.1
	3		個人所有	イチヨウ	1,200	32.0	7.8
	4		宮城野中学校	チョウセンゴヨウマツ	67	14.0	2.1
	5		宮城野八幡神社	ケヤキ	200	32.0	3.3
	6		善應寺	キンモクセイ	260	10.0	0.9
	7		善應寺	イチイ	260	13.0	2.8
	8		善應寺	シラカシ	250	15.0	3.1
	9		志賀神社	イチイ	600	18.0	3.2
	10		大山祇神社	イチヨウ	200	21.0	3.6
	11		個人所有	クロマツ	350	6.0	1.2
	12		西光寺	スギ	350	24.0	2.4
	13		西光寺	ギンモクセイ	350	5.5	1.1
	14		西光寺	アラカシ	350	5.0	1.8
	15		個人所有	ギョリュウ	130	4.4	0.9
	16	多賀城市	個人所有	ヒイラギ	220	8.20	1.34
	17		貴船神社	ウラジロガシ	470	30.00	3.20
	18		多賀城市	コブシ	180	17.80	1.82
	19		個人所有	ツバキ	420	6.00	1.25
	20	多賀城市	多賀城市	イチヨウ	190	25.40	3.00

出典：「杜の都の名木・古木」（平成 21 年 3 月 仙台市建設局百年の杜推進部百年の杜推進課）

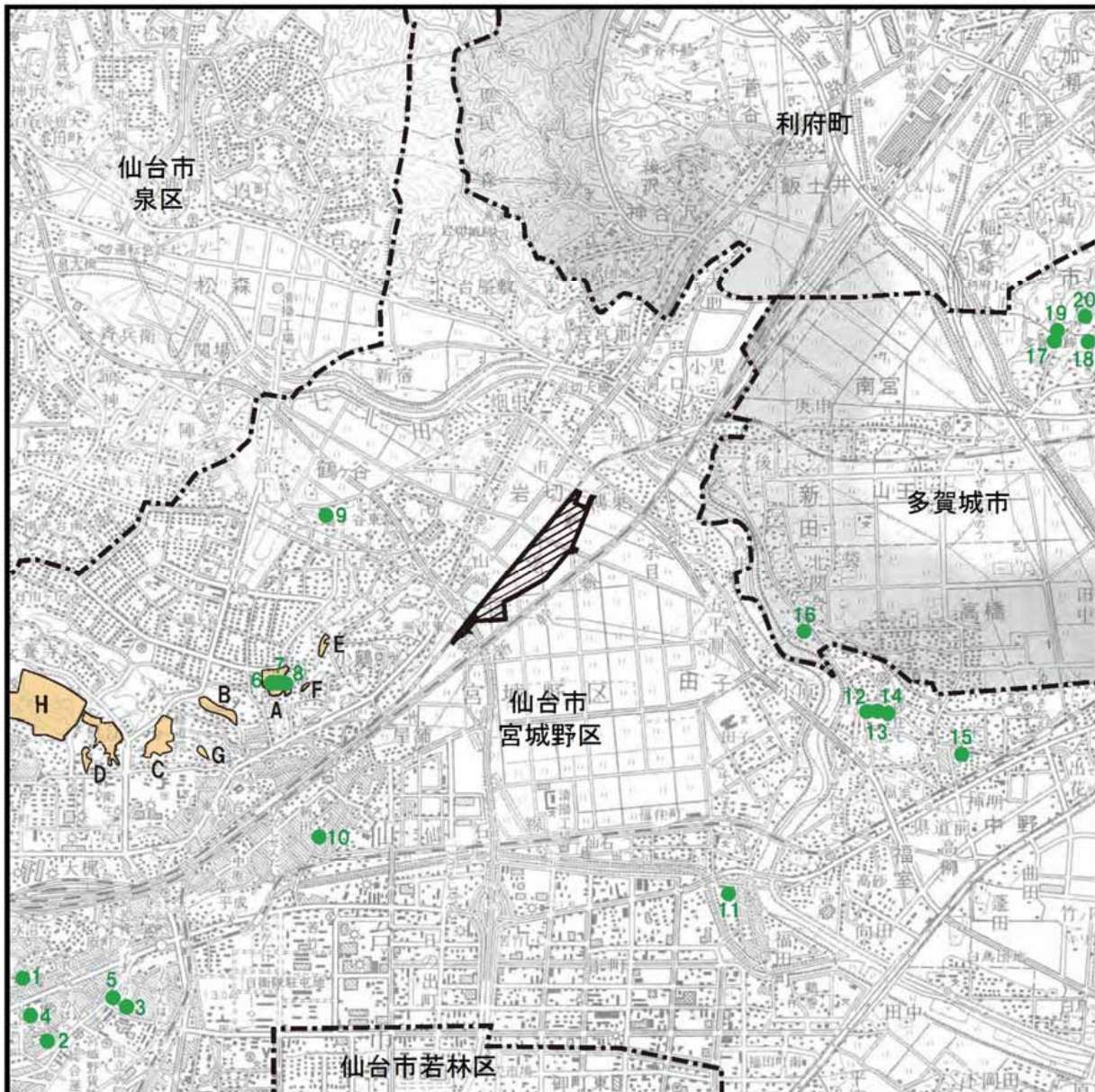
「宮城県多賀城市ホームページ(保存樹木)」(最終更新日 平成 27 年 3 月 16 日)

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/kanri/kurashi/kankyo/kankyo/hozonjumoku/index.html>





表 6.1-81 保存緑地

項目	記号	市	名称	保存緑地の面積 (ha)
保存緑地	A	仙台市	善応寺	2.93
	B		西山	2.40
	C		安養寺	4.48
	D		木皿山	5.76
	E		案内沢北	0.81
	F		大拙庵	0.44
	G		ラ・サールホーム	0.35
	H		与兵衛沼	24.89

出典：「仙台市公園・緑地等配置図」（平成 25 年 4 月 仙台市）



凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 保存樹木(1~20)
-  : 保存緑地(A~H)

出典：1.「社の都の名木・古木」(平成21年3月 仙台市建設局百年の杜推進部百年の杜推進課)
 2.「宮城県多賀城市ホームページ(保存樹木)」
 (<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/kanri/kurashi/kankyo/kankyo/hozonjumoku/index.html>)
 (最終更新日 平成27年3月16日)
 3.「仙台市公園・緑地等配置図」(平成25年4月 仙台市)

図 6.1-27 保存樹木・保存緑地



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

ウ 植生

植生及び植物の生育地として重要な地域の状況

調査範囲の現存植生は、図 6.1-28 に示すとおりであり、計画地は「水田雑草群落」である。

「平成 21 年度 自然環境に関する基礎調査業務報告書」（平成 22 年 3 月 仙台市）では、環境省の植生自然度 9, 10(自然植生)に該当する植生を「自然性の高い植生」として位置づけている。調査範囲における自然性の高い植生の分布は図 6.1-29 に示すとおりであり、七北田川沿いや鶴ヶ谷中央公園周辺などに分布しているが、計画地の植生は「自然性の高い植生」に該当しない。なお、植生自然度の区分基準は表 6.1-82 のとおりである。

表 6.1-82 植生自然度の区分基準

植生自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツトドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても、特に自然植生に近い地区
7	クリーミズナラ群落、クヌギコナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑畑、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

出典：「平成 27 年度 仙台市自然環境基礎調査報告書」（平成 28 年 3 月 仙台市）

「環境省ホームページ」（閲覧日：平成 26 年 8 月 29 日）http://www.biodic.go.jp/kiso/fnd_f.html

「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年 3 月 仙台市）では、表 6.1-83 に示す選定基準により、動植物の生息・生育地として重要な地域を選定している。また、多賀城市と利府町にまたがって位置する加瀬沼は緑地環境保全地域に指定されている。

調査範囲においては、表 6.1-84 及び図 6.1-30 に示す植物の生育地として重要な地域が存在するが、計画地においては存在しない。

表 6.1-83 動植物の生息・生育地として重要な地域の選定基準

No.	判断理由	
保全上重要な地域	1	・保全上重要な動植物種が高密度で分布する地域
	2	・多様な生物相が保存されている地域
	3	・自然性の高い植生、その他学術上重要な植生が保存されている地域
	4	・湿地、湧水、岸壁地、地滑り等の動植物の生息・生育地として特異な環境を有する地域
	5	・自然とのふれあいの場としてふさわしい地域
	6	・環境教育の場としてふさわしい地域
	7	・郷土の特色が保存されている地域(里地・里山・居久根等)
	8	・緑の回廊としてあるいは動物の移動のネットワークとして重要な地域(山地から市街地への連続した緑地、市街地や田園地域に点在する緑地等)
	9	・海辺や水辺、植生帯境界等のエコトーンとして重要な地域

出典：「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年 3 月 仙台市）

表 6.1-84 植物の生育地として重要な地域

No.	件名	備考	判断理由
①	七北田川中～下流域の河畔植生	<ul style="list-style-type: none"> 市と丘陵の緑地の連続性を確保するうえで重要なコリドー。 河畔植生として保護が必要。 	8, 9
②	与兵衛沼周辺の里地・里山植生	<ul style="list-style-type: none"> 市街地に残された、まとまりのある里地・里山植生として重要。 	7, 8
③	榴ヶ岡・新寺・木下地区の緑地	<ul style="list-style-type: none"> 段丘に沿った緑地と社寺林景観。 	7, 8
④	県民の森	<ul style="list-style-type: none"> 県民の森緑地環境保全地域。 市街地に隣接する緑地・公園である。 植物生育地，環境学習のフィールドとして重要である。 	5, 6, 7
⑤	加瀬沼	<ul style="list-style-type: none"> 加瀬沼緑地環境保全地域 宮城県レッドリストの群落複合の項目で「(仮称)加瀬沼の池沼植物群落」が壊滅危惧に指定されている。 	—

注 1) 表中のNo. は図 6.1-30 の番号に対応する。

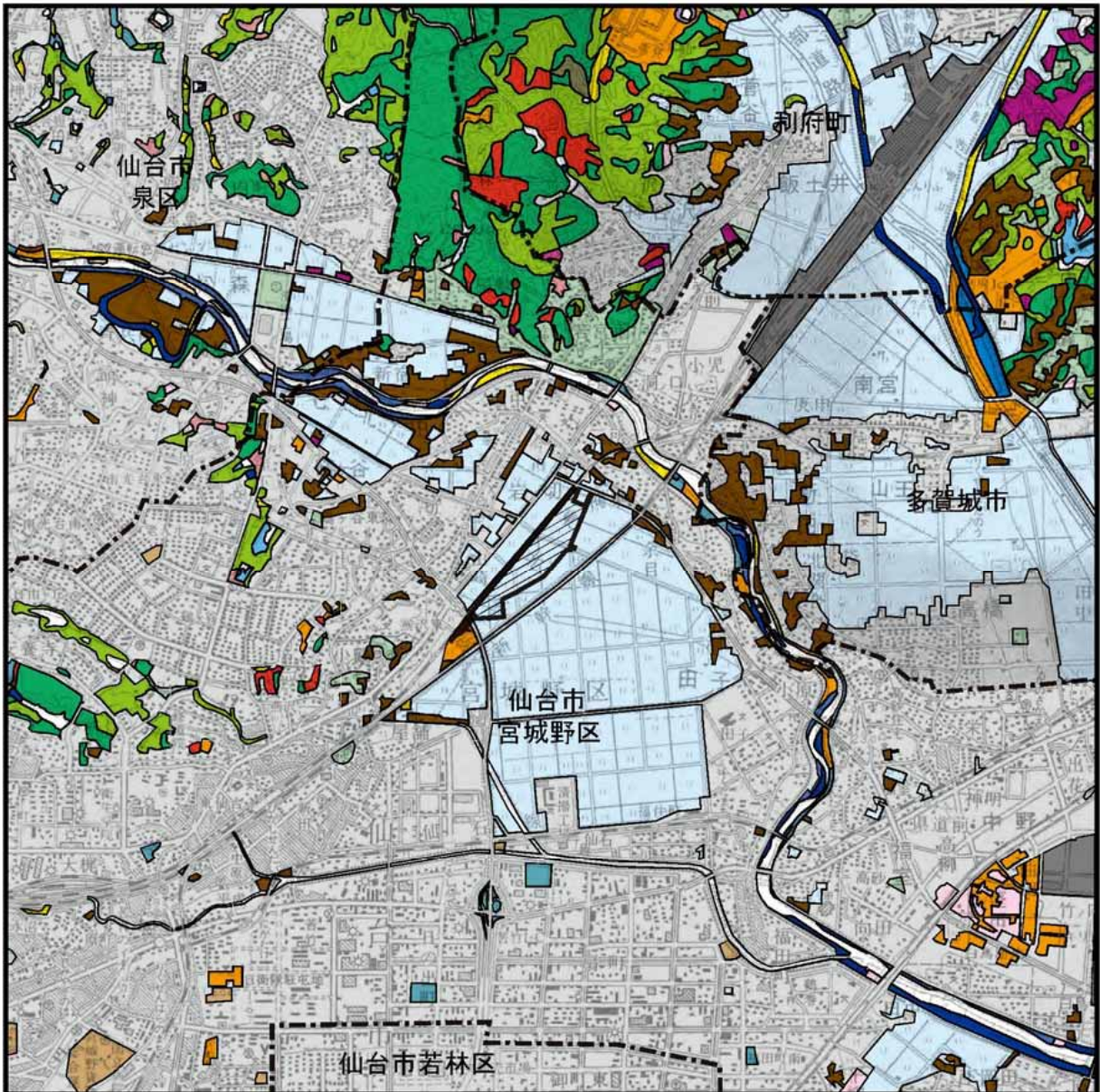
2) 表中の①～④の判断理由は表 6.1-83 に対応する。

出典：①～④：「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)

⑤：「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)

計画地の植生の状況

計画地の植生の状況は、図 6.1-28 に示すとおりであり、「水田雑草群落」である。



凡例

: 計画地

: 市町・区境界線

フナクラス域自然植生
 ヤナギ低木群落 (IV)
 フナクラス域代償植生
 アカマツ群落 (V)
 落葉広葉低木群落
 ススキ群団 (V)
 伐採跡地群落 (V)
 ヤブツバキクラス域代償植生
 クリーコナラ群集
 アズマネザサ群落
 クズ群落

河川・湿原・塩沼地・砂丘植生等
 ヨシクラス
 ヒルムシロクラス
 植林地・耕作地植生
 スギ・ヒノキ・サワラ植林
 竹林
 ゴルフ場・芝地
 路傍・空地雑草群落
 果樹園
 畑雑草群落
 水田雑草群落
 放棄水田雑草群落

その他
 市街地
 緑の多い住宅地
 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
 工場地帯
 造成地
 開放水域
 自然裸地

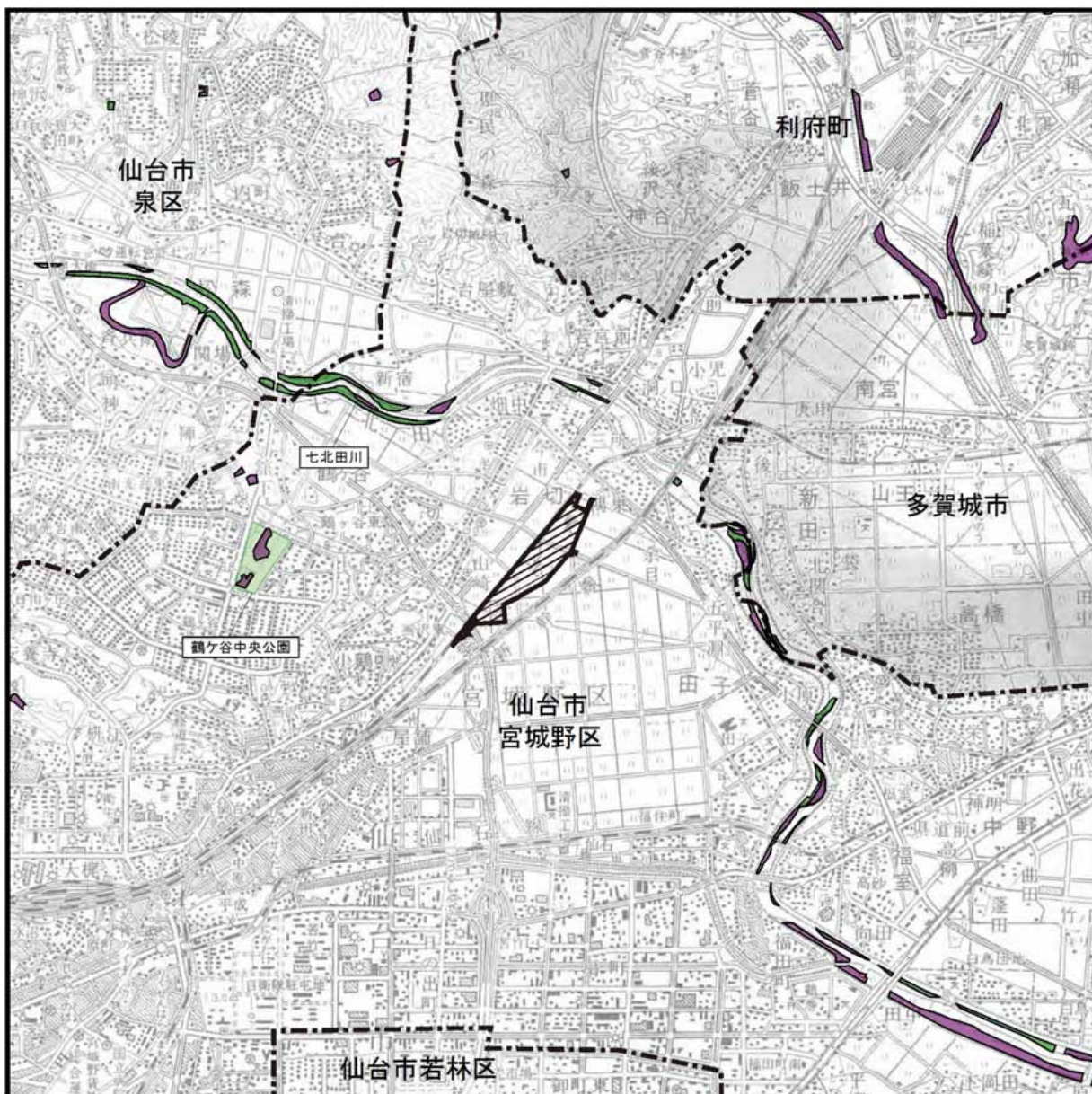
出典：「平成 27 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 28 年 3 月 仙台市)
 「第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査 植生調査情報提供ホームページ」
 (<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-006.html>) (平成 28 年 8 月閲覧)

図 6.1-28 現存植生図



S=1:50,000

0 500 1000 2000m




凡 例


 : 計画地

 : 市町・区境界線

植生自然度個別値 : 10

 ヨシクラス及びヒルムシロクラス

植生自然度個別値 : 9

 ヤナギ低木群落 (IV)

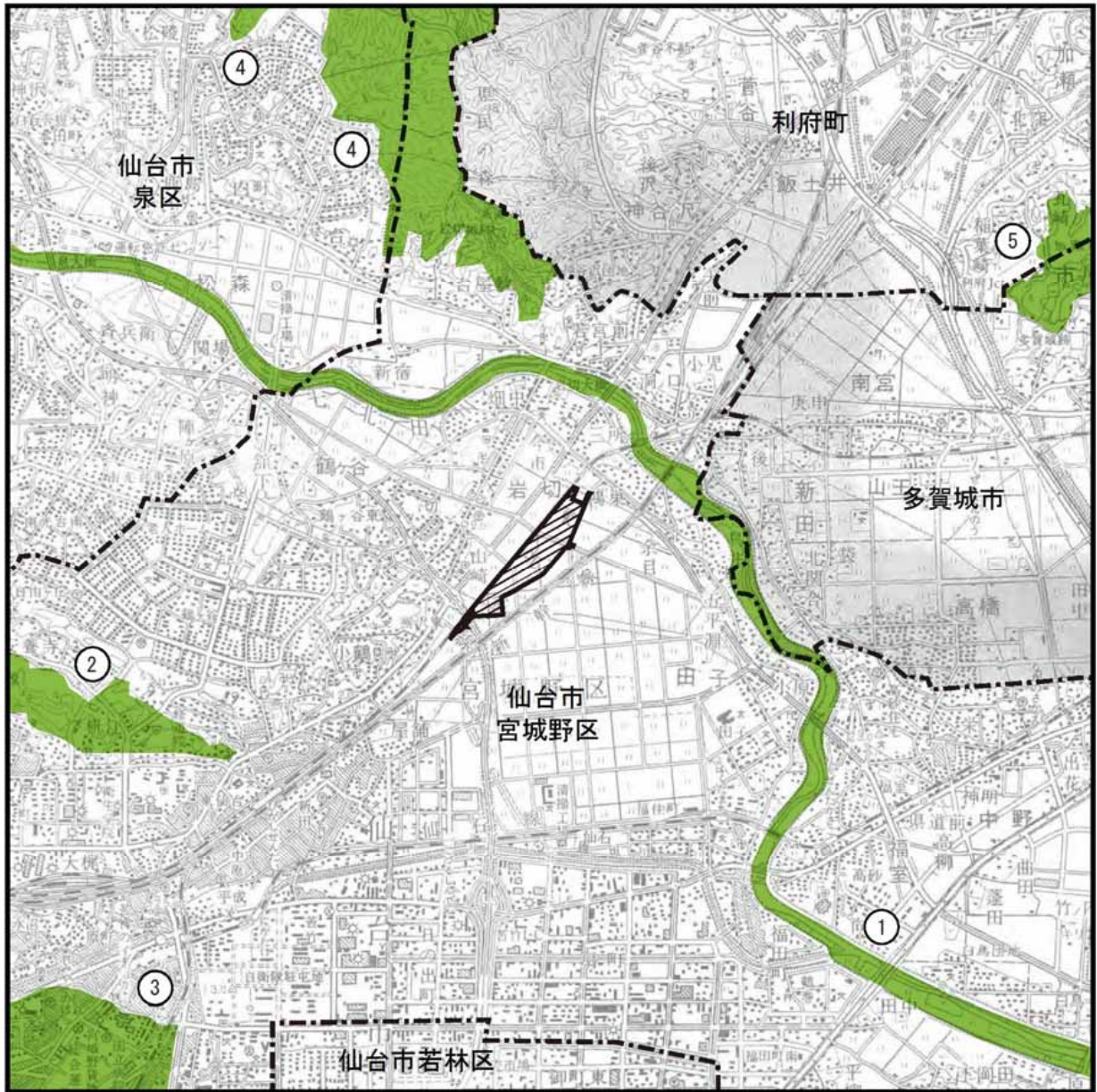
出典 : 「平成 27 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 28 年 3 月 仙台市)
 「第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査 植生調査情報提供ホームページ」
 (<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-006.html>) (平成 28 年 8 月閲覧)

図 6.1-29 植生自然度






S=1:50,000

0 500 1000 2000m

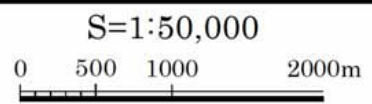


凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 植物生育地として重要な地域

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成23年3月 仙台市)
 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月 宮城県)

図 6.1-30 植物生育地として重要な地域



(2) 動物

ア 注目すべき動物種の状況

計画地は東部田園地域に位置している。仙台市の田園地域では、人の生活空間の拡大や圃場整備等により動物の生息環境が減少しているが、田園地域に見られる居久根などの緑地や河川沿いなどでキツネ、イタチ、カワセミ、アオダイショウ、ミヤマクワガタ等の動物が生息している。

調査範囲内における注目すべき動物種の状況は、以下に示す 3 つの文献から整理した。具体的には、これら文献に掲載されている種のうち、表 6.1-73 に示す選定基準に該当するものを注目すべき種として整理した。ただし、文献①については、仙台市全域を対象としていることから、文献①に掲載されている種のうち、地域区分が「東部田園地域」とされている減少種（表 6.1-74 参照）、又は、種の分布地として調査範囲内の地域（中野、岩切、岡田、県民の森等）が示されている種のみを抽出した。

整理した結果は、注目すべき動物種の種数は表 6.1-85 に示すとおりであり、調査範囲内における注目すべき種数は 152 種であった。また、注目すべき動物種は表 6.1-86～表 6.1-91 に示す。

- ① 「平成 22 年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年 3 月 仙台市）
- ② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成 5 年 3 月 宮城県）
- ③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成 13 年 3 月 宮城県）

表 6.1-85 注目すべき動物種の種数

項目	目数	科数	種数	文献			学術上重要種	仙台市重要種区分							国 RL	県 RDB	天記・種保存法
				文献①	文献②	文献③		注目種									
								減少種					環境指標種	ふれあい保全種			
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜					
哺乳類	4	8	14	13	7	5	5	14	10	12	13	11	8	8	2	5	1
鳥類	14	29	68	61	36	32	28	34	55	60	60	51	40	16	23	25	7
爬虫類	2	4	7	6	3	4	3	5	7	6	6	6	4	4	1	1	0
両生類	2	4	7	3	7	4	2	7	7	7	3	2	5	4	4	5	0
魚類	8	10	17	14	4	3	10	9	10	10	11	10	7	7	14	13	0
昆虫類	7	28	39	25	15	10	16	3	26	23	22	2	10	14	17	14	0
合計	37	83	152	122	72	58	64	72	115	118	115	82	74	53	61	63	8

注 1) 国 RL：「環境省レッドリスト 2015 の公表について」（平成 27 年 環境省報道発表資料）掲載種
 県 RDB：「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」（平成 28 年 宮城県）掲載種
 天記：「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号）
 種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成 4 年法律第 75 号）
 2) 表中の文献は以下のとおりである。
 ① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成 23 年 3 月 仙台市）
 ② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成 5 年 3 月 宮城県）
 ③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成 13 年 3 月 宮城県）
 3) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

表 6.1-86 注目すべき動物種【哺乳類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市重要種区分										国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地		
				①	②	③	学術上重要種	注目種						環境指標種	ふれあい保全種							
								減少種				山 地	西 部 丘 陵 地 ・ 田 園			市 街 地					東 部 田 園	海 浜
								山 地	西 部 丘 陵 地 ・ 田 園	市 街 地	東 部 田 園											
1	モグラ(食虫)	トガリネズミ	ホンシュウトガリネズミ	○				*	C	/	/	/	○			DD						
2			ホンシュウジネズミ	○				*	C	B	C		○	○								
3			カワネズミ	○			1,4	B	B	/	/	/	○	○		DD						
4		モグラ	ヒメヒミズ	○			1	*		/	/	/	○									
5			ミズラモグラ	○			1,4	C		/	/	/			NT	NT						
6			アズマモグラ	○	○	○		*	C	C	C	*		○								
7	ウサギ	ウサギ	トウホクノウサギ	○	○	○		*	C	B	B	C		○								
8	ネズミ(齧歯)	リス	ニホンリス		○	○		*	C	B		C		○								
9		ヤマネ	ヤマネ	○			1,4	C			/	/			NT	天記						
10		ネズミ	ハタネズミ	○	○			C	C	B	C	C	○	○								
11			ホンドヒメネズミ	○	○			*	C	C	/		○									
12	ネコ(食肉)	イヌ	ホンドタヌキ	○	○	○		*	C		C		○	○				宮城野区鶴ヶ谷				
13		イタチ	ホンドイタチ	○	○	○		C	C	B	C	C	○	○								
14			ホンドオコジョ	○			1,4	C		/	/	/			NT	NT						
				4目	8科	14種	13種	7種	5種	5種	14種	10種	12種	13種	11種	8種	8種	2種	5種	1種		

注 1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(平成 27 年 河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

2) 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)
- ② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 5 年 3 月 宮城県)
- ③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。

4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

表 6.1-87 注目すべき動物種【鳥類】(1/2)

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市重要種区分							国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要種	注目種					ふれあい保全種					
								減少種										
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜						採掘指標種
1	キジ	キジ	ウズラ	○			1,4	A	A	A	A	A			VU	CR+EN		
2			ヤマドリ		○			*	C				○					
3	カモ	カモ	ヒシクイ	○			1,4				C	C			VU	NT	天記	
4			マガン	○		○	1,4			A	B	B			NT		天記	
5	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	○	○	○			C	B	C	C	○	○				
6	ペリカン	サギ	サンカノゴイ	○			1		B	A	B	B			EN	NT		
7			ヨシゴイ	○	○				C	B	C	C	○	○	NT	NT		七北田川
8			オオヨシゴイ	○			1				B	B			CR	CR+EN		
9			アマサギ	○			2		A	*			○					岡田, 中野
10			チュウサギ	○			1,2,4		C	A	C	C			NT			
11			コサギ	○	○	○	2		C	B	*	*	○	○				
12	ツル	クイナ	クイナ	○					C	A	B	B	○			要		鶴ヶ谷
13			ヒクイナ	○					C	B	B	B	○	○	NT	CR+EN		
14			バン	○		○			C	B	C	C	○					
15			オオバン	○		○	1				B	B						
16	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	○	○	○		*	*	C	C	C	○	○				
17			カッコウ	○	○				C	C	B	C	C	○	○			七北田川, 鶴ヶ谷
18	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	○				*	C	B			○		NT	NT		与兵衛沼緑地
19	チドリ	チドリ	イカルチドリ	○		○			C	C	B	B	○					
20		シギ	オオシシギ	○			1,4	B	B	A	B	B			NT	NT		
21			アカアシシギ	○			1				B	B			VU			
22		カモメ	コアジサシ	○			1,2,4		A	B	B				VU	VU	国際	
23	タカ	ミサゴ	ミサゴ	○			1,4				C	C	○		NT			七北田川
24		タカ	オジロワシ	○			1,2,4		B	B	B	B			VU	VU	天記・国内・国際	鶴ヶ谷, 田子
25			オオワシ	○			1,2,4				B	B			VU	VU	天記・国内	
26			チュウヒ	○					C	B	C	C	○		EN	NT		
27			ツミ	○	○		1,4	C	C	C	C	C				DD		
28			ハイタカ	○	○	○	1,4	C	C	C	C	C			NT	NT		
29			オオタカ	○	○	○	1,4	C	C	B	B	C	○	○	NT	NT	国内	七北田川, 岩切
30			サシバ	○	○				C	C	A	C	C		VU	VU		
31			ノスリ	○	○	○		*	C	C	C		○					県民の森
32	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	○			1	C	C	C	B	B				要		
33			フクロウ	○	○				C	C	B	B	C	○	○			鶴ヶ谷, 与兵衛沼
34			アオバズク	○					C	B	B	B	○			VU		与兵衛沼
35			トラフズク	○			1				B	B						
36			コミミズク	○			1		B	A	B	B	○			要		田子

注 1) 種名は「日本鳥類目録 改訂第7版」(平成24年 日本鳥学会)に準拠した。
 2) 表中の文献は以下のとおりである。
 ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)
 ②「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成5年3月 宮城県)
 ③「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月 宮城県)
 3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。
 4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

表 6.1-88 注目すべき動物種【鳥類】(2/2)

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市重要種区分										国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要種	注目種													
								減少種													
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種	ふれあい保全種							
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	○	○	○			C	C	C			○	○			七北田川, 小松島新堤, 梅田川, 与兵衛沼, 鶴ヶ谷			
38	キツツキ	キツツキ	アカゲラ	○	○	○		*	C	B	C	C									
39			アオゲラ	○	○	○		*	C	B	C	C	○	○							
40	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	○					C	B	C	B		○							
41			チゴハヤブサ	○			1, 4			B	B					要					
42			ハヤブサ	○	○		1, 4	C	B	B	B	B			VU	NT	国内・国際	小鶴			
43	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	○	○	○	1, 4	C	C	B	C	C			VU	VU					
44		カササギヒタキ	サンコウチョウ		○	○			C	B			○	○							
45		モズ	チゴモズ	○			1, 4		B	B	B				CR	CR+EN					
46			モズ	○	○	○		*	C	B	C	C	○	○							
47			アカモズ	○			1, 4		B	B	B	B			EN	CR+EN		光が丘, 七北田川			
48		ヒバリ	ヒバリ	○	○	○			C	B	C	C	○	○							
49		ツバメ	ツバメ	○	○	○			C	C	C		○								
50		ウグイス	ウグイス	○	○	○		*	*	C	C	C		○							
51		ムシクイ	センダイムシクイ		○	○		*	C	B			○								
52		ヨシキリ	オオヨシキリ	○	○	○			C	B	C	C	○					鶴ヶ谷, 田子			
53			コヨシキリ	○					C	A	C	C	○					福田町			
54		セッカ	セッカ	○					C	B	C	C	○					七北田川			
55		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ		○			*		B			○								
56		ヒタキ	トラツグミ	○	○	○		*	C	B	C	C	○								
57			クロツグミ	○	○			*	C	B	C	C	○								
58			シロハラ		○	○		*	C	B			○								
59	コルリ		○				*	C	B	C	C	○									
60	ルリビタキ		○	○	○		*	C	C	C	C	○									
61	コサメビタキ			○	○				B				○								
62	キビタキ			○	○		*	C	B			○									
63	オオルリ		○	○	○		*	C	C	C	C	○									
64	セキレイ		キセキレイ	○	○	○		*	C	C	C	C	○	○							
65			セグロセキレイ	○	○	○	4	C	C	C	C										
66	ホオジロ	ホオジロ	○	○	○		*	*	B	C	C	○									
67		ホオアカ	○		○	1	B	C	A	C	B	○									
68		アオジ	○	○	○		C	C	C	C	C										
				14 目	29 科	68 種	61 種	36 種	32 種	28 種	34 種	55 種	60 種	60 種	51 種	40 種	16 種	23 種	25 種	7 種	

- 注 1) 種名は「日本鳥類目録 改訂第7版」(平成24年 日本鳥学会)に準拠した。
 2) 表中の文献は以下のとおりである。
 ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)
 ②「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成5年3月 宮城県)
 ③「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月 宮城県)
 3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。
 4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74を参照。

表 6.1-89 注目すべき動物種【爬虫類・両生類】

【爬虫類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市重要種区分										国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要種	注目種													
								減少種						ふれあい保全種							
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種								
1	カメ	イシガメ	ニホンイシガメ	○			1, 4		A	A	A	A			NT	DD					
2			クサガメ	○	○	○	1		B	B	B	B		○							
3	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	○	○	○		*	*	C	C	C	○	○				栴江			
4		ナミヘビ	アオダイショウ	○	○	○		*	*	C	C	C	○	○				鶴ヶ谷, 松森, 岩切			
5			ジムグリ	○				*	*	C	C	C	○								
6			ヒバカリ	○				C	C	C	C	B	○	○							
7			クサリヘビ			○	4	C	C												
	2 目	4 科	7 種	6 種	3 種	4 種	3 種	5 種	7 種	6 種	6 種	6 種	4 種	4 種	1 種	1 種	0 種				

注 1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(平成 27 年 河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

2) 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)
- ② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 5 年 3 月 宮城県)
- ③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。

4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

【両生類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市重要種区分										国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要種	注目種													
								減少種						ふれあい保全種							
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種								
1	有尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ		○	○	1, 4	*	C	B			○		NT	NT					
2			クロサンショウウオ		○	○	4	*	C	A			○	○	NT	LP					
3		イモリ	アカハライモリ		○			*	C	A			○	○	NT	LP					
4	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	○	○	○		*	C	C	C	C		○				松森			
5		アカガエル	ニホンアカガエル	○	○	○		*	*	B	*	C						松陵			
6			トウキョウダルマガエル	○	○			C	C	B	C		○	○	NT	NT		松陵			
7			ツチガエル		○			*	C	B			○			NT					
	2 目	4 科	7 種	3 種	7 種	4 種	2 種	7 種	7 種	7 種	3 種	2 種	5 種	4 種	4 種	5 種	0 種				

注 1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(平成 27 年 河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

2) 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)
- ② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 5 年 3 月 宮城県)
- ③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。

4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

表 6.1-90 注目すべき動物種【魚類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市重要種区分										国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地		
				①	②	③	学術上 重要種	注目種														
								減少種														
								山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種	ふれあい保全種								
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類 ^{*1}	○	○		1	B	B			A				○	VU	NT		七北田川		
2	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	○			1	A	B	B	B	B	B	○		EN	NT		七北田川			
3	コイ	コイ	キンブナ		○												VU	NT ^{*2}				
4			タナゴ	○				EX	EX	EX	EX	EX					EN	CR+EN				
5			アカヒレタビラ	○			1				EX	A					EN	CR+EN				
6			ゼニタナゴ	○			1	EW	EW	EW	EW	EW					CR	CR+EN				
7			ウグイ	○		○		*	C	B	C	C	○	○								七北田川
8			シナイモツゴ	○			1	A				EX					CR	CR+EN				
9			ドジョウ	ドジョウ		○	○											DD				
10				ホトケドジョウ		○		1		B	B			○	○		EN	NT				
11	サケ	アユ	アユ	○				C	C	C	C	○	○								七北田川, 梅田川	
12		サケ	サクラマス	○			1	C			C	C	○	○	NT	NT ^{*3}						
13	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	○		○	1		A	A	C	C	○	○	VU	NT						
14	トゲウオ	トゲウオ	ニホンイトヨ	○			1						A		LP	DD				梅田川		
15	カサゴ	カジカ	カジカ	○				C	C	A			○	○	NT						七北田川	
16			ウツセミカジカ (回遊型)	○				EX	EX	EX	EX	EX			EN ^{*4}	VU ^{*5}						
17	スズキ	ハゼ	アベハゼ	○			2						C				NT				七北田川河口付近	
	8 目	10 科	17 種	14 種	4 種	3 種	10 種	9 種	10 種	10 種	11 種	10 種	7 種	7 種	14 種	13 種	0 種					

注 1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(平成 27 年 河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

2) 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)
- ② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 5 年 3 月 宮城県)
- ③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。

4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

*1 「スナヤツメ北方種」及び「スナヤツメ南方種」として記載。

*2 「キンブナ (河川のキンブナ)」のみ該当する。

*3 「サクラマス (降海型)」のみ該当する。

*4 「カジカ小卵型」として記載。

*5 「ウツセミカジカ」として記載。

表 6.1-91 注目すべき動物種【昆虫類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市重要種区分										国 RL	県 RDB	天記・ 種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上 重要種	注目種													
								減少種													
								山地	西部 丘陵地・ 田園	市街地	東部 田園	海浜	環境 指標種	ふれあい 保全種							
1	トンボ	カワトンボ	アオハダトンボ	○					C	A					○	NT		泉区七北田川			
2		ヤンマ	カトリヤンマ	○			1		B		B					CR+EN					
3			ヤブヤンマ	○					B		B										
4		サナエトンボ	ホンサナエ			○			B												
5			ウチワヤンマ	○			1		C	B	C										
6			ナゴヤサナエ	○			1, 2			C					VU	CR+EN		七北田川			
7			オニヤンマ		○	○			*	B				○							
8		トンボ	アカネの仲間	○	○	○			C		C		○	○							
9	カマキリ	カマキリ	オオカマキリ	○		○			*	C	C			○							
10	バッタ	マツムシ	スズムシ	○			1		B	A	B			○							
11		バッタ	カワラバッタ	○			1			B	B		○			NT					
12			トノサマバッタ	○		○			*	C	*			○							
13	カメムシ	セミ	エゾゼミ			○			*	B			○	○							
14		コオイムシ	コオイムシ	○			1		B	A	A				NT	NT					
15			タガメ	○			1		B	A	A		○		VU	CR+EN					
16		タイコウチ	タイコウチ	○			1		B		A										
17	チョウ	タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン		○										VU						
18			オオウラギンヒョウモン	○				EX	EX	EX	EX	EX			CR	EX					
19			オオムラサキ	○		○	1		C	B	B		○	○	NT						
20		アゲハチョウ	アオスジアゲハ	○		○	4			*	*		○	○							
21		シロチョウ	ヒメシロチョウ <small>北條道・本村種</small>	○				EX	EX	EX	EX	EX			EN	CR+EN*1					
22		ジャノメチョウ	ジャノメチョウ	○	○				C	C	C		○								
23		ヤママユガ	オナガミズアオ			○									NT						
24		ヤガ	ガマキンウワバ	○	○		1	C	C									旧仙台市			
25	コウチュウ	オサムシ	ヤマトトクリゴミムシ			○	1		B												
26			シラハタキバナガゴミムシ			○										DD					
27		ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ	○					C	B	B				NT						
28			ゲンゴロウ	○			1			B	B		○		VU	NT					
29			ケシゲンゴロウ			○									NT						
30		ガムシ	コガムシ			○									DD						
31		クワガタムシ	ミヤマクワガタ			○			C	B			○	○							
32			ノコギリクワガタ	○	○				C	C	C		○	○							
33		タマムシ	タマムシ	○			1, 2		B	A	A		○		NT*2						
34		ホタル	ゲンジボタル	○			1		C	B	C		○	○		NT					
35		カミキリムシ	ヨツボシカミキリ			○									EN	CR+EN					
36			アオスジカミキリ	○			1, 2		B	B	B										
37	ハチ	スズメバチ	モンスズメバチ			○									DD						
38		ミツバチ	クロマルハナバチ			○									NT						
39		コハナバチ	アオスジハナバチ			○										CR+EN					
40		ハキリバチ	マイマイツツハナバチ			○									DD	VU					
7目	28科	39種		25種	15種	10種	16種	3種	26種	23種	22種	2種	10種	14種	17種	14種	0種				

注 1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(平成 27 年 河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

2) 表中の文献は以下のとおりである。

① 「平成 22 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成 23 年 3 月 仙台市)

② 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 5 年 3 月 宮城県)

③ 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成 13 年 3 月 宮城県)

3) 表中の分布地は、文献①に記載されている分布地を示す。

4) 減少種の地域区分については、表 6.1-74 を参照。

*1 「ヒメシロチョウ」として記載。

*2 「ヤマトタマムシ」として記載。

イ 動物生息地として重要な地域の状況

「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)では、表 6.1-83 に示す選定基準により、動物生息地として重要な地域を選定している。また、多賀城市と利府町にまたがって位置する加瀬沼は緑地環境保全地域に指定されている。

調査範囲においては、表 6.1-92 及び図 6.1-31 に示す地域が存在する。なお、計画地は、「福田町の田園」の北西側に含まれる。

表 6.1-92 動物生息地として重要な地域

No.	地域	備考	判断理由
①	七北田川(中流域～河口)	・川に接する地域の環境変化が著しく、動物の生息環境・移動経路としての重要性がとて大きくくなってきている。	2, 8
②	低地の水田地域	・セッカの繁殖、ホオアカの繁殖。 ・居久根は低地における鳥類の生息地及び移動のための中継地として重要。	1, 7, 8
③	福田町の田園	・市街地に残されたまとまった広がり確保された田園生態系として重要。 ・かつてはマガン、その他水鳥の渡来地としての利用もあった。	5, 7
④	県民の森	・市街地に隣接する緑地・公園である。 ・鳥類の中継地、昆虫類の生息地、環境学習のフィールドとして重要である。	6, 7
⑤	加瀬沼	・加瀬沼緑地環境保全地域 ・年間を通してシジュウカラ、エナガなどが見え、冬季に訪れるオオハクチョウ、マガモ、オナガガモなどの水鳥も観察される。	—

注 1) 表中のNo. は図 6.1-31 の番号に対応する。

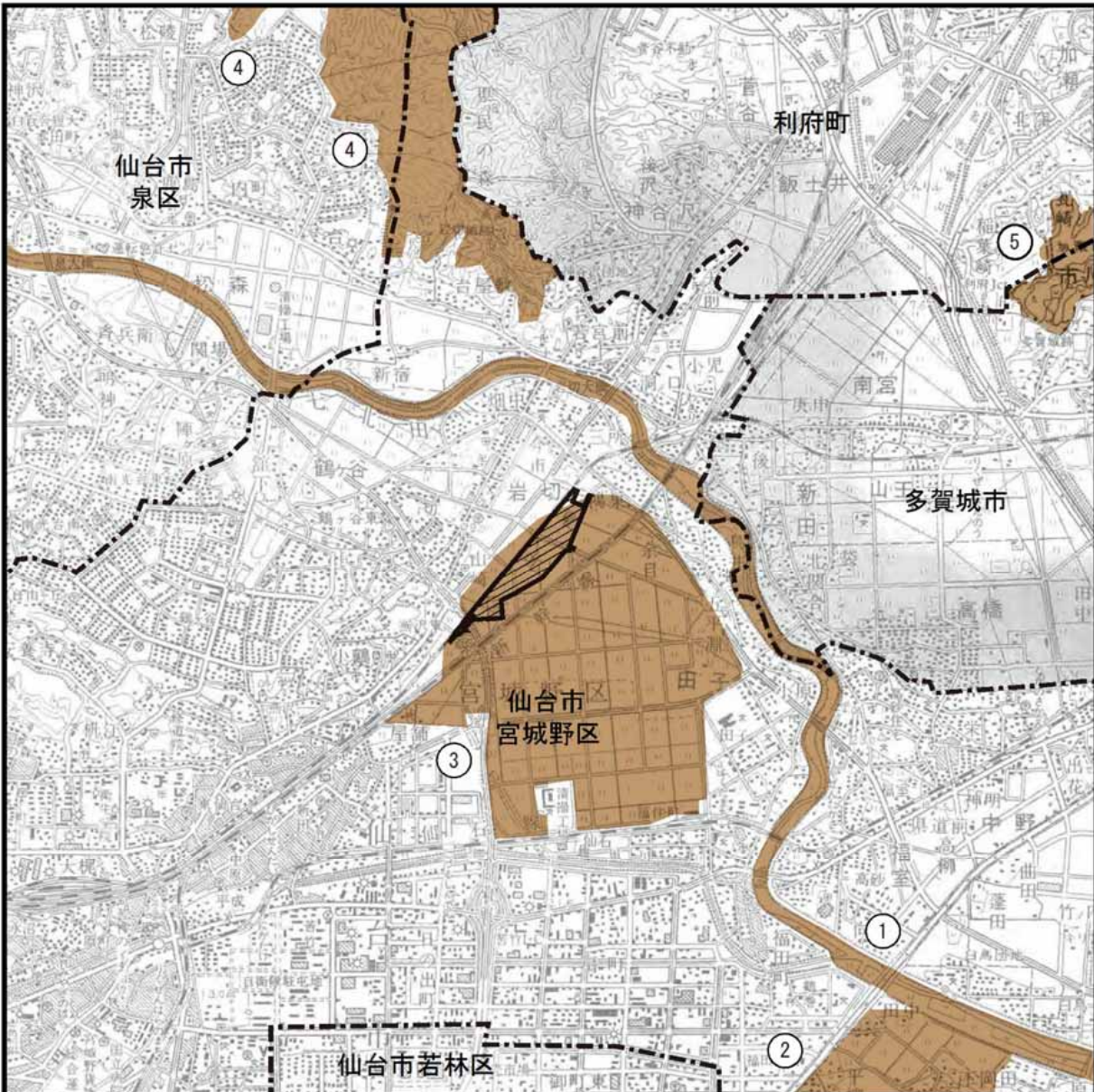
2) 表中の①～④の判断理由は表 6.1-83 に対応する。

出典：①～④：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)




⑤：「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月 宮城県)

ウ その他事業の立地上配慮を要する動物

事業の立地上配慮を要する動物は「6.1.4 生物環境 (2)動物 ア 注目すべき動物種の状況」、動物種の生息地は、「6.1.4 生物環境 (2)動物 イ 動物生息地として重要な地域の状況」で示したとおりであり、その他配慮を要する動物はないものと考えられる。



凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 動物生息地として重要な地域

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務報告書」(平成23年3月 仙台市)
「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月 宮城県)

図 6.1-31 動物生息地として重要な地域



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

(3) 生態系

計画地南東～北西側を流れる七北田川や北側の県民の森やその周辺については、河川環境や森林環境を基盤とした生態系が存在し、計画地が含まれる地域では、市街地に残されたまとまった広がり確保された田園生態系が存在する。

6.1.5 景観等及び自然との触れ合いの場の状況

(1) 景観

ア 自然的景観資源及び文化的景観資源の状況

調査範囲における主要な自然的景観資源及び文化的景観資源は、表 6.1-93 及び図 6.1-32 に示すとおりである。調査範囲における自然的景観資源は、加瀬沼、多賀城跡桜、六月坂桜の 3 箇所があり、文化的景観資源は、多賀城政庁跡、旧歩兵第 4 連隊兵舎等の 4 箇所がある。

表 6.1-93 調査範囲の景観資源

【自然的景観資源】

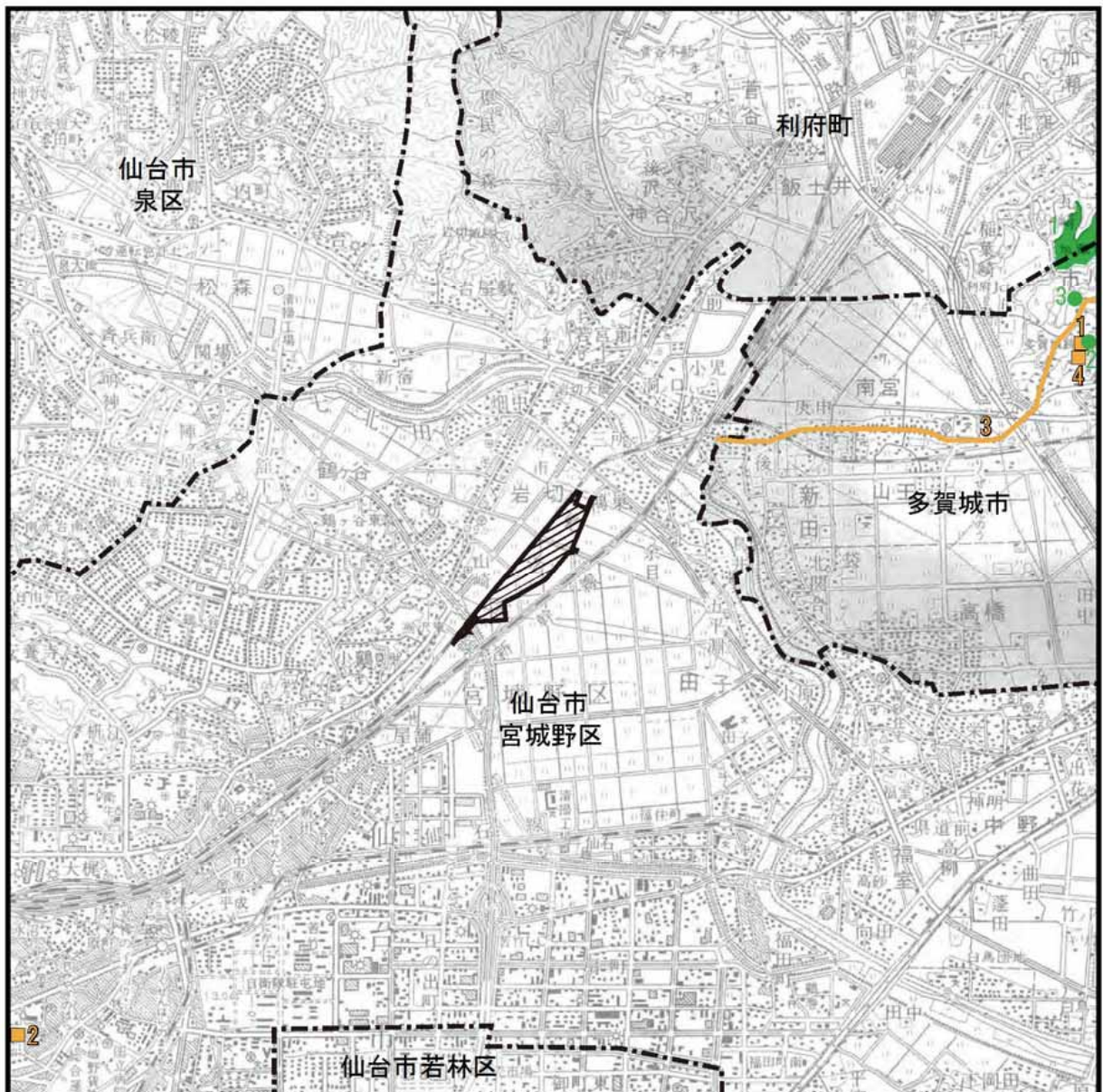
No.	名称	文献(※)			背景	地域住民の意識等
		①	②	③		
1	加瀬沼		○	○	江戸時代、八幡の領主天童氏が造った人工のため池。	春の桜、秋の紅葉の時期には多くの市民で賑わいを見せる。
2	多賀城跡桜			○	築地塀に囲まれた中央部には正殿があつて、その正殿前の石敷き広場にある 2 本の古木に咲く花は風情があり、見る人々の心を和ませている。	4 月の開花時期には多くの市民が訪れ、花見を楽しむ名所となっている。
3	六月坂桜			○	六月坂地区は平安時代初期の役所跡で、大規模な掘立柱式の建物 2 棟を中心に、数棟の建物跡が見つまっている。	桜の名所となっており、特にしだれ桜はその楚々とした花が見る人々を楽しませている。
—	—	0	1	3	—	—

【文化的景観資源】





No.	名称	文献(※)			背景	地域住民の意識等
		①	②	③		
1	多賀城政庁跡	○			多賀城のほぼ中央に位置し、重要な政務や儀式が執り行われた場所。	新雪が積もった政庁跡を撮影したもの。よく見ると、小動物の足跡らしきものが伺える。一人で耳を凝らすと、古代人の声が聞こえる幻想に駆られるのは、私だけだろうか。(百選の推薦理由)
2	旧歩兵第 4 連隊兵舎		○		大日本帝国陸軍の連隊のひとつ。	—
3	塩釜街道			○	仙台城下から岩切、南宮、市川を通り塩釜、松島方面に通じる江戸時代の主要な街道。	—
4	多賀城跡 多賀城南門 政庁間道(ハギ大路)			○	かつて政庁から多賀城南門、そして古代都市多賀城の町へと続いた古代の道「南北大路」があった。	2008 年に市民活動団体・NPO ゲートシティ多賀城が整備し、大路の一部をコスモスやボピーの植栽によって表現された。
—	—	1	1	2	—	—

注) 文献は以下のとおりである。

- ① 「みやぎ・身近な景観百選」(平成 24 年 9 月 宮城県)
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tosikei/keikan-100sen-kekka.html>
- ② 「みやぎ伊達な観光マップ」(更新日:平成 23 年 3 月 1 日)
<http://www.datenamap.com/>
- ③ 「多賀城市観光協会サイト」(閲覧日:平成 26 年 9 月)
<http://www.tagakan.jp/>



凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 自然的景観資源(1~3)
-  : 文化的景観資源(1~4)

出典：1.「みやぎ・身近な景観百選」(平成24年9月 宮城県)
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tosikei/keikan-100sen-kekka.html>
 2.「みやぎ伊達な観光マップ」(更新日 平成23年3月1日)
<http://www.datenamap.com/>
 3.「多賀城市観光協会サイト」(閲覧日 平成26年9月)
<http://www.tagakan.jp/>

図 6.1-32 計画地周辺の景観資源



S=1:50,000
 0 500 1000 2000m

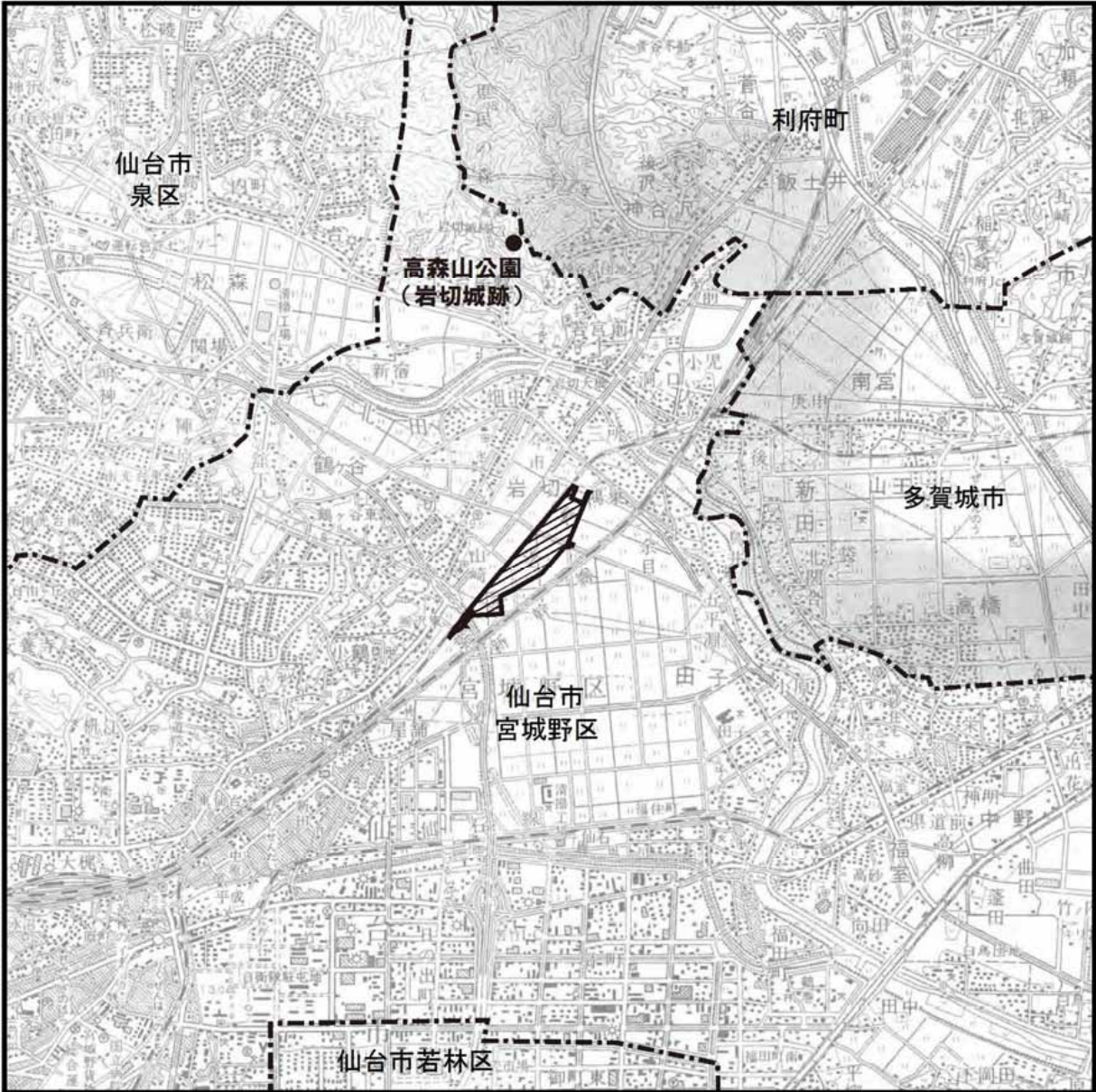
イ 眺望地点の状況

調査範囲の主要眺望地点としては、表 6.1-94 及び図 6.1-33 に示すとおり、高森山公園(岩切城跡)があげられる。




表 6.1-94 調査範囲の主要眺望地点

名 称	眺望点の状況
高森山公園(岩切城跡)	岩切城跡は高森山公園として整備されており、標高 106m の頂からは仙台市街地のほか、遠く太平洋を望むこともできる。ソメイヨシノやヒガンザクラなど 460 本あまりのサクラが美しく咲き競う春、鬱蒼とした緑に包まれる夏、紅葉が映える秋、雪景色の市街地を望むことができる冬など、高森山公園は、四季折々の美しさをみることのできる場所である。

出典：「杜の都・仙台 わがまち緑の名所 100 選ガイドブック」(平成 14 年 3 月 仙台市)

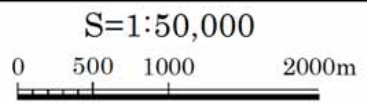


凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 主要眺望地点

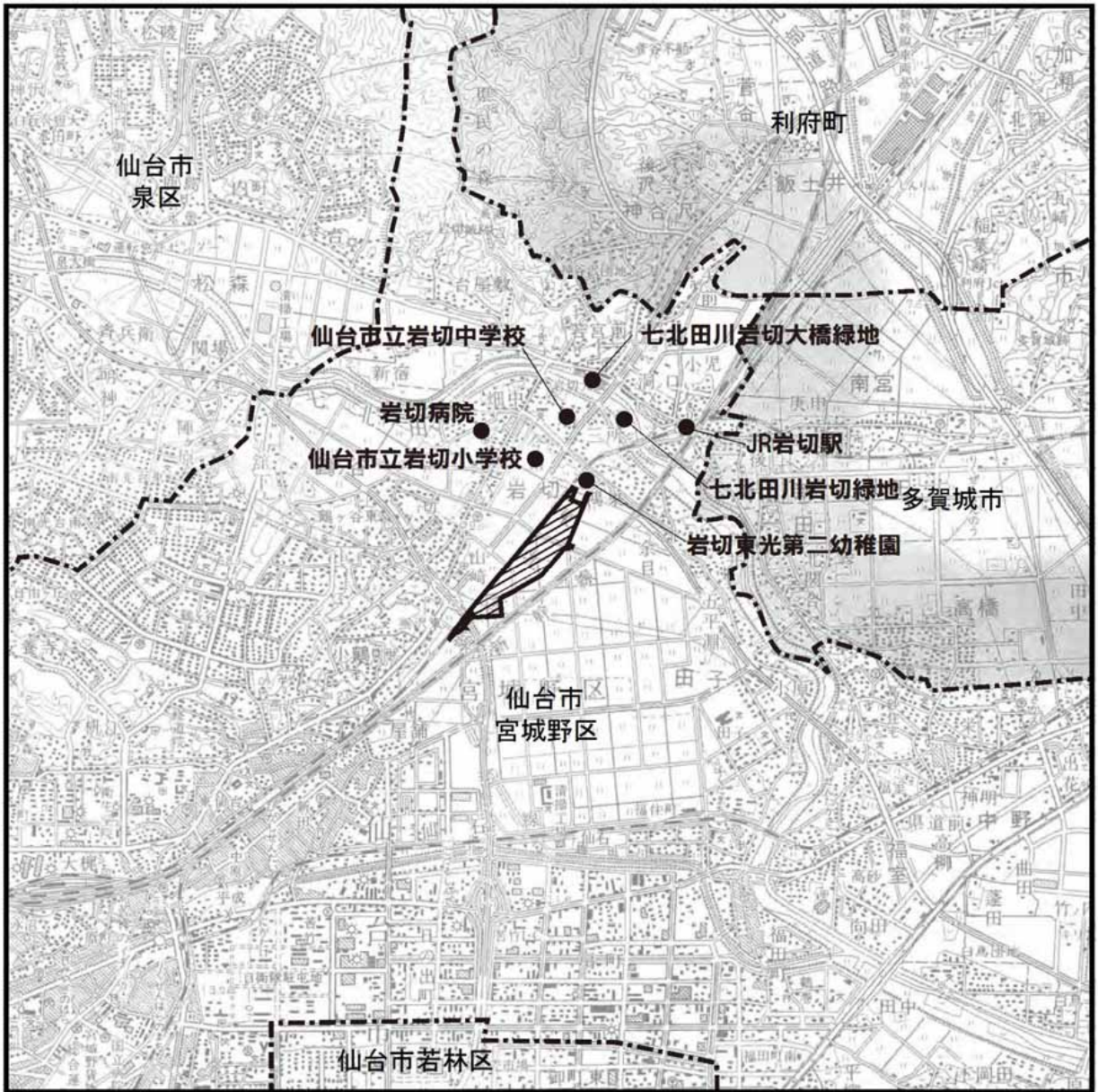
出典：「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選ガイドブック」(平成14年3月 仙台市)

図 6.1-33 主要眺望地点



ウ 計画地の景観の状況

計画地はまとまった田園地域に位置し、図 6.1-34 に示すとおり、周辺は岩切東光第二幼稚園、仙台市立岩切小学校、仙台市立岩切中学校、岩切病院、七北田川岩切緑地、七北田川岩切大橋緑地、JR 東北本線岩切駅などがある。



凡 例




-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 主要施設位置

図 6.1-34 計画地の景観の状況



S=1:50,000
0 500 1000 2000m

(2) 自然との触れ合いの場

ア 自然との触れ合いの場の状況

調査地域内における自然公園，県自然環境保全地域，県緑地環境保全地域，風致地区，都市計画公園，都市公園などの法令に基づく指定を受けている区域は表 6.1-95～表 6.1-101 及び図 6.1-35 のとおりである。

自然公園，県自然環境保全地域及び植物群落保護林は調査範囲内には存在せず，県緑地環境保全地域が 2 地域，風致地区が 1 地区，都市計画公園が 12 箇所，都市公園が 276 箇所存在する。

表 6.1-95 自然との触れ合いの場(1/7)

区分	番号	名称	所在地
自然公園※ ¹ (自然公園法)	—	地域概況の調査範囲内には、 指定された地域はない。	—
県自然環境保全地域※ ¹ (自然環境保全法・宮城県 自然環境保全条例)	—	地域概況の調査範囲内には、 指定された地域はない。	—
植物群落保護林※ ²	—	地域概況の調査範囲内には、 指定された地域はない。	—
県緑地環境保全地域※ ^{1,3} (自然環境保全法・宮城県 自然環境保全条例)	1	加瀬沼	塩竈市，多賀城市，利府町 (塩竈市及び利府町は調査範囲外)
	2	県民の森	仙台市，利府町，富谷町 (利府町及び富谷町は調査範囲外)
風致地区※ ³ (都市計画法)	1	安養寺	宮城野区蟹沢，小松島新堤，枡江，原町小田原字前田中， 同字土手前，同字案内，同字安養寺下， 同字柳沢の各一部
都市計画公園※ ^{3,4,5}	1	田子 2 号公園	田子二丁目
	2	仙台港背後地 8 号公園*	福室字県道前
	3	日の出町公園*	日の出町三丁目
	4	高砂一丁目中央公園*	福室字八谷
	5	仙台港背後地 3 号公園	蒲生字耳取
	6	仙台港背後地 6 号公園	中野字田中
	7	仙台港背後地 1 号公園	中野字神妻・出花
	8	高砂中央公園	宮城野区中野字蓬田他
	9	大堤公園*	宮城野区安養寺二丁目地内
	10	与兵衛沼公園*	宮城野区蟹沢地内
	11	あやめ園(中央公園内)	多賀城市市川字立石 66 ほか 30 筆
	12	加瀬沼公園	宮城郡利府町加瀬

注) 名称に「*」が記載されている公園は都市計画公園であり，かつ都市公園であることを示す。

出典：※1：自然公園等区域閲覧サービス(更新日：平成 27 年 4 月 17 日 宮城県)

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/1top.html#tizukara>

※2：東北森林管理局ホームページ(閲覧日：平成 28 年 8 月 29 日)

http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/policy/business/management/hozen/hogorin_04.html

※3：「仙台市公園・緑地等配置図」(平成 25 年 4 月 仙台市)

※4：「多賀城市公園・緑地等管理図(平成 24 年度)」(平成 24 年 6 月 多賀城市)

※5：「宮城県ホームページ」(更新日 平成 28 年 3 月 宮城県)

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tosikei/kasenumap-gaiyou.html>

表 6.1-96 自然との触れ合いの場(2/7)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	1	鶴が丘一丁目公園	鶴が丘一丁目 5-43 外
	2	鶴が丘四丁目東公園	鶴が丘四丁目 10-8
	3	鶴が丘四丁目北公園	鶴が丘四丁目 24-3
	4	南光台南一丁目公園	南光台南一丁目 1-349
	5	南光台南二丁目公園	南光台南二丁目 1-350 外
	6	南光台南二丁目北公園	南光台南二丁目 10-966
	7	南光台東一丁目南公園	南光台東一丁目 35-453
	8	南光台東一丁目北公園	南光台東一丁目 35-452
	9	歩坂町公園	歩坂町 76-285
	10	原田南公園	市名坂字原田 70-7
	11	鶴が丘二丁目西公園	鶴が丘二丁目 19-19 外
	12	南光台南三丁目南公園	南光台南三丁目 10-870
	13	しらとり公園	松森字明神 22-86
	14	南光台七丁目公園	南光台七丁目 1-230
	15	鶴が丘一丁目東公園	鶴が丘一丁目 23-16
	16	天神沢北公園	天神沢一丁目 4-204
	17	前田公園	松森字前田 58-23 外
	18	前田北公園	松森字前田 45-12
	19	斎兵衛公園	松森字斎兵衛 62 外
	20	明神南公園	松森字明神 32-17
	21	八沢公園	松森字八沢 26-8 外
	22	天神沢公園	天神沢一丁目 19-82 外
	23	南光台七丁目北公園	南光台七丁目 1-108
	24	南光台東一丁目北公園	南光台東一丁目 1-229
	25	原田公園	市名坂字原田 17-3
	26	市名坂野蔵公園	市名坂字野蔵 101-37
	27	南光台東二丁目南公園	南光台東二丁目 5-209
	28	南光台七丁目南公園	南光台七丁目 1-228
	29	南光台南三丁目公園	南光台南三丁目 35-454
	30	鶴が丘一丁目公園	鶴が丘一丁目 54-14 外
	31	松木沢公園	松森字松木沢 96-13
	32	鶴が丘二丁目南公園	鶴が丘二丁目 13-2
	33	長岫公園	南光台東三丁目 10
	34	南光台東二丁目公園	南光台東二丁目 43
	35	松陵一丁目南公園	松陵一丁目 3-2
	36	松陵一丁目北公園	松陵一丁目 27-5
	37	百合ヶ丘中央公園	松森字歩坂 72-379 外
	38	百合ヶ丘南公園	松森字歩坂 72-367
	39	百合ヶ丘北公園	松森字歩坂 72-108 外
	40	斎兵衛東公園	松森字斎兵衛 58-46 外
	41	陣ヶ原東公園	松森字陣ヶ原 11-10
	42	八乙女四丁目公園	八乙女四丁目 9-1
	43	南光台東二丁目東公園	南光台東二丁目 27-127
	44	明神東公園	松森字明神 26-7
	45	野蔵南公園	市名坂字野蔵 25-12 外
	46	歩坂町北公園	歩坂町 1-41
	47	松陵一丁目公園	松陵一丁目 10-6
	48	松森陣ヶ森公園	松森字陣ヶ原 31-43
	49	松森前ヶ沢公園	松森字明神 41-53 外
	50	松森明神公園	松森字明神 35-9

注) 名称に「*」が記載されている公園は都市計画公園であり、かつ都市公園であることを示す。
 出典:「仙台市公園・緑地等配置図」(平成 25 年 4 月 仙台市)

表 6.1-97 自然との触れ合いの場(3/7)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	51	松森明神北公園	松森字明神 43-31
	52	松木沢北公園	松森字松木沢 9-4 外
	53	市名坂御釜田公園	市名坂字御釜田 142-1
	54	松森台公園	松森字台 90-9
	55	松森前ヶ沢東公園	松森字明神 39-12
	56	天神沢南公園	天神沢一丁目 4-239
	57	原田北公園	市名坂字原田 200
	58	松森後田公園	松森字後田 19-12
	59	陣ヶ原南公園	松森字陣ヶ原 23-33
	60	松森後田東公園	松森字後田 36-7 外
	61	陣ヶ原中央公園	松森字陣ヶ原 29-11 外
	62	陣ヶ原西公園	松森字陣ヶ原 55-6
	63	明神公園	松森字明神 30-23
	64	南光台二丁目北公園	南光台二丁目 68-584
	65	天神沢西公園	天神沢一丁目 8-128
	66	明神中公園	松森字明神 27-16
	67	市名坂榑町公園	市名坂字榑町 168-外
	68	新田八沢公園	松森字新田 209
	69	東鹿島公園	松森字館 235
	70	鹿島西公園	松森字鹿島 10-12
	71	燕沢公園	燕沢一丁目 64-28 外
	72	案内公園	東仙台五丁目 7-30 外
	73	西田公園	新田三丁目 261-1 外
	74	福室公園	福室五丁目 601-70
	75	清水沼公園	清水沼一丁目 17-1
	76	山崎東公園	岩切一丁目 61-2 外
	77	屋舗公園	新田三丁目 49-2 外
	78	鶴ヶ谷七丁目南公園	鶴ヶ谷七丁目 8
	79	鶴ヶ谷八丁目公園	鶴ヶ谷八丁目 6
	80	萩野町公園	萩野町三丁目 10
	81	鶴ヶ谷一丁目東公園	鶴ヶ谷一丁目 10
	82	鶴ヶ谷一丁目西公園	鶴ヶ谷一丁目 34
	83	鶴ヶ谷二丁目公園	鶴ヶ谷二丁目 3
	84	鶴ヶ谷三丁目公園	鶴ヶ谷三丁目 10
	85	鶴ヶ谷四丁目西公園	鶴ヶ谷四丁目 12
	86	鶴ヶ谷五丁目公園	鶴ヶ谷五丁目 16
	87	鶴ヶ谷六丁目公園	鶴ヶ谷六丁目 10
	88	鶴ヶ谷七丁目北公園	鶴ヶ谷七丁目 29
	89	安養寺下東公園	東仙台七丁目 7-133
	90	新田公園	館町二丁目 12
	91	福住町公園	福住町 9-2
	92	安養寺下西公園	東仙台七丁目 7-183
	93	町浦公園	福田町二丁目 365
	94	小鶴公園	館町一丁目 25
	95	川北公園	新田五丁目 9
	96	沢北公園	燕沢三丁目 56-32
	97	菖蒲沢東公園	岩切二丁目 3-41
	98	青津目公園	岩切字青津目 108-4
	99	鴻巣1号公園	岩切字鴻巣 33-4
	100	耳取西公園	白鳥二丁目 48-19

注) 名称に「*」が記載されている公園は都市計画公園であり、かつ都市公園であることを示す。
 出典:「仙台市公園・緑地等配置図」(平成 25 年 4 月 仙台市)

表 6.1-98 自然との触れ合いの場(4/7)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	101	佐野原公園	鶴ヶ谷東四丁目 6-46
	102	耳取公園	白鳥二丁目 528
	103	畑中公園	岩切字畑中 11-4
	104	鴻巣 2 号公園	岩切字鴻巣 176-9
	105	高砂駅西公園	福室字高砂駅西 7-8 外
	106	山崎西公園	鶴ヶ谷東二丁目 183-13 外
	107	若宮前公園	岩切字若宮前 11-37
	108	吉ヶ沢東公園	燕沢東二丁目 62-31
	109	福室寺前公園	福室字寺前 36-9
	110	羽黒前公園	岩切字羽黒前 81 外
	111	栄公園	栄四丁目 4-1
	112	東河原公園	岩切字東河原 330
	113	安養寺一丁目公園	安養寺一丁目 5-286
	114	三所北公園	岩切字三所北 35-13
	115	高砂公園	福室字高砂 46-17 外
	116	安養寺一丁目 2 号公園	安養寺一丁目 58-16
	117	福田町四丁目公園	福田町四丁目 5-1
	118	福室要谷公園	福室字要谷 28-4 外
	119	清水沼二丁目公園	清水沼二丁目 210-11
	120	耳取 2 号公園	白鳥二丁目 96-11
	121	海道下公園	東仙台三丁目 120-6 外
	122	原町六丁目公園	原町六丁目 70-20
	123	若宮前 2 号公園	岩切字若宮前 62-14 外
	124	福在公園	栄二丁目 7-6
	125	宿在家公園	栄三丁目 5-8
	126	栄東公園	栄四丁目 20-5
	127	出花西公園	栄四丁目 10-7
	128	鶴ヶ谷東公園	岩切三丁目 280
	129	福田町砂押公園	福田町二丁目 1224
	130	鶴ヶ谷山沢公園	鶴ヶ谷北一丁目 132-4
	131	蒲生土手前公園	白鳥一丁目 109-1
	132	安養寺二丁目公園	安養寺二丁目 11-316
	133	燕沢東三丁目公園	燕沢東三丁目 345-5 外
	134	鶴ヶ谷南公園	鶴ヶ谷東二丁目 25
	135	岩切小児公園	岩切字小児 23-23 外
	136	蒲生土手前 2 号公園	白鳥一丁目 5-2 外
	137	蒲生蓬田前公園	白鳥一丁目 560-6
	138	鶴ヶ谷六丁目東公園	鶴ヶ谷六丁目 25-11
	139	福室半在家公園	福室三丁目 407-3 外
	140	田子袋河原公園	田子字袋河原 42-47 外
	141	福室要谷 2 号公園	福室四丁目 30-7 外
	142	田中東一番公園	福室字田中東一番 14-8
	143	福室境公園	福室七丁目 1-42
	144	中野北上公園	中野字北上 44-3
	145	鶴ヶ谷菖蒲沢公園	鶴ヶ谷東三丁目 32-4
	146	大久保山公園	鶴ヶ谷北二丁目 31-2
	147	田中前二番公園	福室字田中前二番 1-12
	148	田子鳥井公園	田子字鳥井 74-10 外
	149	岩切水分公園	岩切字水分 64-36
	150	田子小原公園	田子三丁目 111-4

注) 名称に「*」が記載されている公園は都市計画公園であり、かつ都市公園であることを示す。
 出典:「仙台市公園・緑地等配置図」(平成 25 年 4 月 仙台市)

表 6.1-99 自然との触れ合いの場(5/7)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	151	三所北 2 号公園	岩切字三所北 42-18
	152	燕沢三丁目公園	燕沢三丁目 66-75
	153	三所北 3 号公園	岩切字三所北 28-11
	154	鶴ヶ谷菖蒲沢 2 号公園	鶴ヶ谷東四丁目 315-17
	155	鶴巻一丁目東公園	鶴巻一丁目 1006-1
	156	鶴巻一丁目西公園	鶴巻一丁目 1010-1
	157	田子要害東公園	田子一丁目 252-1
	158	上田子 2 号公園	田子三丁目 507
	159	岩切観音前公園	岩切観音前 49-22
	160	燕沢三丁目 2 号公園	燕沢三丁目 56-88
	161	田子鳥井 2 号公園	田子字鳥井 1-34
	162	山崎西 2 号公園	岩切二丁目 36-9 外
	163	栄一丁目公園	栄一丁目 85-3
	164	鴻巣 3 号公園	岩切字堰下 40-17
	165	幸町 4 号公園	幸町二丁目 326-4
	166	仙石南公園	小鶴字仙石 89-16
	167	原町四丁目公園	原町四丁目 146-9
	168	東仙台六丁目公園	東仙台六丁目 158-27
	169	仙石西公園	小鶴字仙石 587-22 外
	170	福室上町南公園	福室上町 9-2
	171	出花一丁目公園	出花一丁目 12-4
	172	出花二丁目公園	出花二丁目 7-9
	173	東仙台三丁目公園	東仙台三丁目 232-5
	174	平成一丁目南公園	平成一丁目 243-8
	175	蒲生土手前 3 号公園	白鳥一丁目 15-6
	176	中野向田公園	中野字向田 177-1 外
	177	燕沢二丁目公園	燕沢二丁目 6-27
	178	港南東公園	蒲生字南城道田 5-4 外
	179	栄五丁目公園	栄五丁目 15
	180	小鶴一丁目北公園	小鶴一丁目 203-15 外
	181	港南西公園	蒲生字南屋ヶ城 1-27 外
	182	燕沢東二丁目公園	燕沢東二丁目 66-3
	183	高砂一丁目西公園	高砂一丁目 18-8
	184	白鳥一丁目公園	白鳥一丁目 265-3 外
	185	田子要害西公園	田子字要害 254-9
	186	平成一丁目公園	平成一丁目 581-89
	187	鴻巣 4 号公園	岩切字鴻巣南 82-48
	188	鶴ヶ谷館下公園	鶴ヶ谷館下 34-11
	189	安養寺一丁目南公園	安養寺一丁目 78-19
190	安養寺三丁目公園	安養寺三丁目 20-32	
191	安養寺上町公園	安養寺一丁目 18-44	
192	鶴ヶ谷東四丁目公園	鶴ヶ谷東四丁目 307	
193	福室上町北公園	福室六丁目 29-1	
194	幸町三丁目公園	幸町三丁目 505-24	
195	田子二丁目公園	田子二丁目 40-1	
196	田子二丁目北公園	田子二丁目 6-4	
197	鶴ヶ谷東三丁目公園	鶴ヶ谷東三丁目 405-24	
198	福室上町東公園	福室五丁目 220-1 外	
199	鶴ヶ谷東二丁目公園	鶴ヶ谷東二丁目 59	
200	田子一丁目南公園	田子一丁目 1001-26	

注) 名称に「*」が記載されている公園は都市計画公園であり、かつ都市公園であることを示す。
出典:「仙台市公園・緑地等配置図」(平成 25 年 4 月 仙台市)

表 6.1-100 自然との触れ合いの場(6/7)

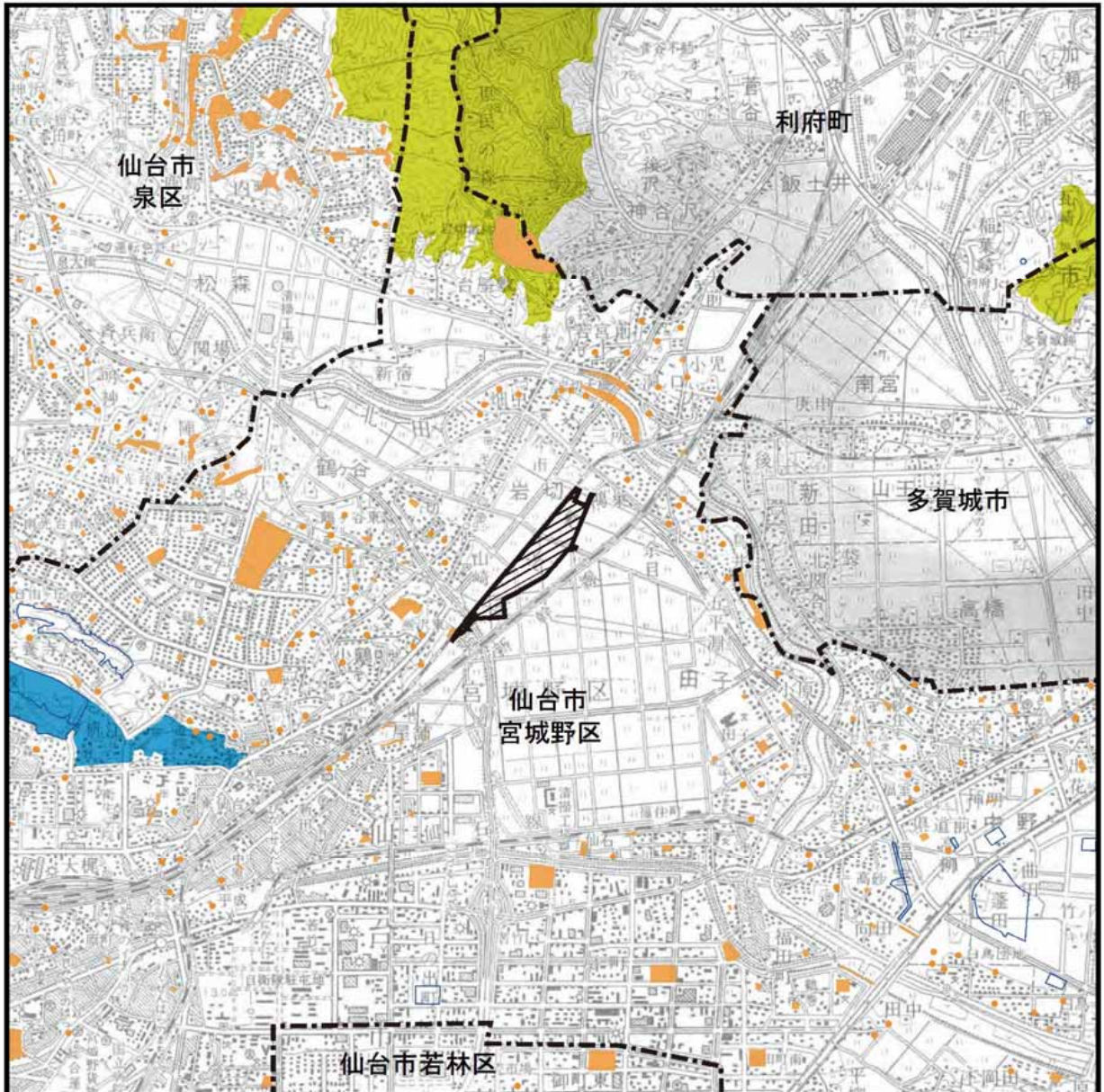
区分	番号	名称	所在地
都市公園	201	燕沢東一丁目きただ公園	燕沢東一丁目 475
	202	畑中 2 号公園	岩切字畑中 27-19
	203	原町カッコウ公園	原町二丁目 37-2 外
	204	鶴ヶ谷東二丁目東公園	鶴ヶ谷東二丁目 4-110
	205	清水沼三丁目公園	清水沼三丁目 223-9
	206	余目公園	岩切字余目 11-15
	207	仙石北公園	仙石 117-18
	208	福室四丁目公園	福室四丁目 90-3
	209	高砂二丁目向田公園	高砂二丁目 8-3
	210	燕沢東一丁目公園	燕沢一丁目 391
	211	畑中東公園	岩切字畑中 49-37
	212	観音前西公園	岩切字観音前 58-1 外
	213	鶴ヶ谷東一丁目公園	鶴ヶ谷東一丁目 13-30
	214	三所北 4 号公園	岩切字三所北 38-6
	215	岩切 1 号公園	岩切字青津目 163
	216	平成二丁目東公園	平成二丁目 17-3
	217	福室二丁目公園	福室二丁目 34-20
	218	岩切昭和北公園	岩切字昭和北 5-3 外
	219	安養寺二丁目東公園	安養寺二丁目 75-29
	220	出花西 2 号公園	中野字出花西 90-13
	221	二の森公園	二の森 28-1
	222	苗代沢公園	燕沢一丁目 107-9
	223	田子一丁目北公園	田子一丁目 490-17 外
	224	燕沢二丁目北公園	燕沢二丁目 9-358
	225	新田東五丁目北公園	新田東五丁目 5-18
	226	新田東五丁目南公園	新田東五丁目 12-13
	227	新田東二丁目公園	新田東二丁目 2-16
	228	仙台港背後地 7 号公園	中野字神明 175-4 の一部外
	229	仙台港背後地 9 号公園	福室字県道前 58 の一部外
	230	五輪一丁目公園	宮城野二丁目 20-8
	231	小鶴二丁目公園	小鶴二丁目 59-3 外
	232	岩切駅南公園	岩切字東河原 360
	233	鶴ヶ谷東四丁目 2 号公園	鶴ヶ谷東四丁目 10-7
	234	仙台港背後地 8 号公園	福室字県道前 95 の一部外
	235	宮の杜みなみのたに公園	東仙台四丁目 101-23
	236	宮の杜なかのさと公園	東仙台四丁目 101-57
	237	宮の杜ひがしのもり公園	東仙台四丁目 101-106
	238	宮の杜きたのおか公園	東仙台四丁目 101-119
	239	鶴ヶ谷東一丁目 2 号公園	鶴ヶ谷東一丁目 16-90 外
	240	岩切 2 号公園	岩切字洞ノ口 241
	241	新田二丁目公園	新田二丁目 301-8
	242	東仙台六丁目公園	東仙台六丁目 104-15
	243	卸町東一丁目公園	卸町東一丁目 1005-3
	244	鶴が丘公園	鶴が丘三丁目 17-21
	245	松陵公園	松陵二丁目 4
	246	扇町一丁目公園	扇町一丁目公園 4
	247	日の出町公園	日の出三丁目 6
	248	鶴ヶ谷四丁目東公園	鶴ヶ谷四丁目 22
	249	扇町四丁目公園	扇町四丁目 9-1
	250	扇町六丁目公園	扇町六丁目 5-1

注) 名称に「*」が記載されている公園は都市計画公園であり、かつ都市公園であることを示す。
 出典:「仙台市公園・緑地等配置図」(平成 25 年 4 月 仙台市)

表 6.1-101 自然との触れ合いの場(7/7)

区分	番号	名称	所在地
都市公園	251	福田町南一丁目公園	福田町南一丁目 1007
	252	高砂一丁目公園	高砂一丁目 23-1
	253	燕沢中央公園	燕沢東三丁目 301-1 外
	254	新田東中央公園	新田東一丁目 11-1
	255	卸町東二丁目公園	卸町東二丁目 4-1
	256	鶴ヶ谷中央公園	鶴ヶ谷六丁目 1-2 外
	257	七北田川岩切大橋緑地	岩切字東河原 1-1 外
	258	七北田川田子緑地	田子字五平瀬 1-1 外
	259	七北田川岩切緑地	岩切字土手外東 8-1 外
	260	七北田川鶴巻緑地	鶴巻一丁目 1023
	261	榴岡公園	五輪一丁目 301-3 外
	262	高森山公園	岩切字入山 83-1 外
	263	大堤公園	安養寺二丁目地内
	264	与兵衛沼公園	蟹沢 20-1 外
	265	鶴ヶ城公園	松森字内町 31 外
	266	南光台東一丁目緑地	南光台東一丁目 33-2 外
	267	鶴が丘二丁目緑地	鶴が丘二丁目 25-1 外
	268	松森前ヶ沢緑地	松森字前ヶ沢 2-48 外
	269	松陵緑地	松陵一丁目 32-1 外
	270	鶴が丘緑地	鶴が丘一丁目 5-48 外
	271	大久保山緑地	鶴ヶ谷北一丁目 7-76 外
	272	燕沢二丁目緑地	燕沢二丁目 16
	273	高砂二丁目緑地	高砂二丁目 26-2
	274	銀杏町緑地	銀杏町 723
	275	鶴ヶ谷東二丁目緑地	鶴ヶ谷東二丁目 57 外
	276	高砂緑地	高砂一丁目 23-132 外

注) 名称に「*」が記載されている公園は都市計画公園であり、かつ都市公園であることを示す。
 出典:「仙台市公園・緑地等配置図」(平成 25 年 4 月 仙台市)



凡 例

- : 計画地
- : 市町・区境界線
- : 県緑地環境保全地域
- : 風致地区
- : 都市計画公園
- : 都市公園

出典：1.「自然公園等区域閲覧サービス」(更新日:平成27年4月17日 宮城県)
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/1top.html#tizukara>
 2.「仙台市公園・緑地等配置図」(平成25年4月 仙台市)
 3.「多賀城市公園・緑地等管理図(平成24年度)」(平成24年6月 多賀城市)
 4.「宮城県ホームページ」(更新日 平成28年3月 宮城県)
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tosikei/kasenumap-gaiyou.html>

図 6.1-35 自然との触れ合いの場の分布



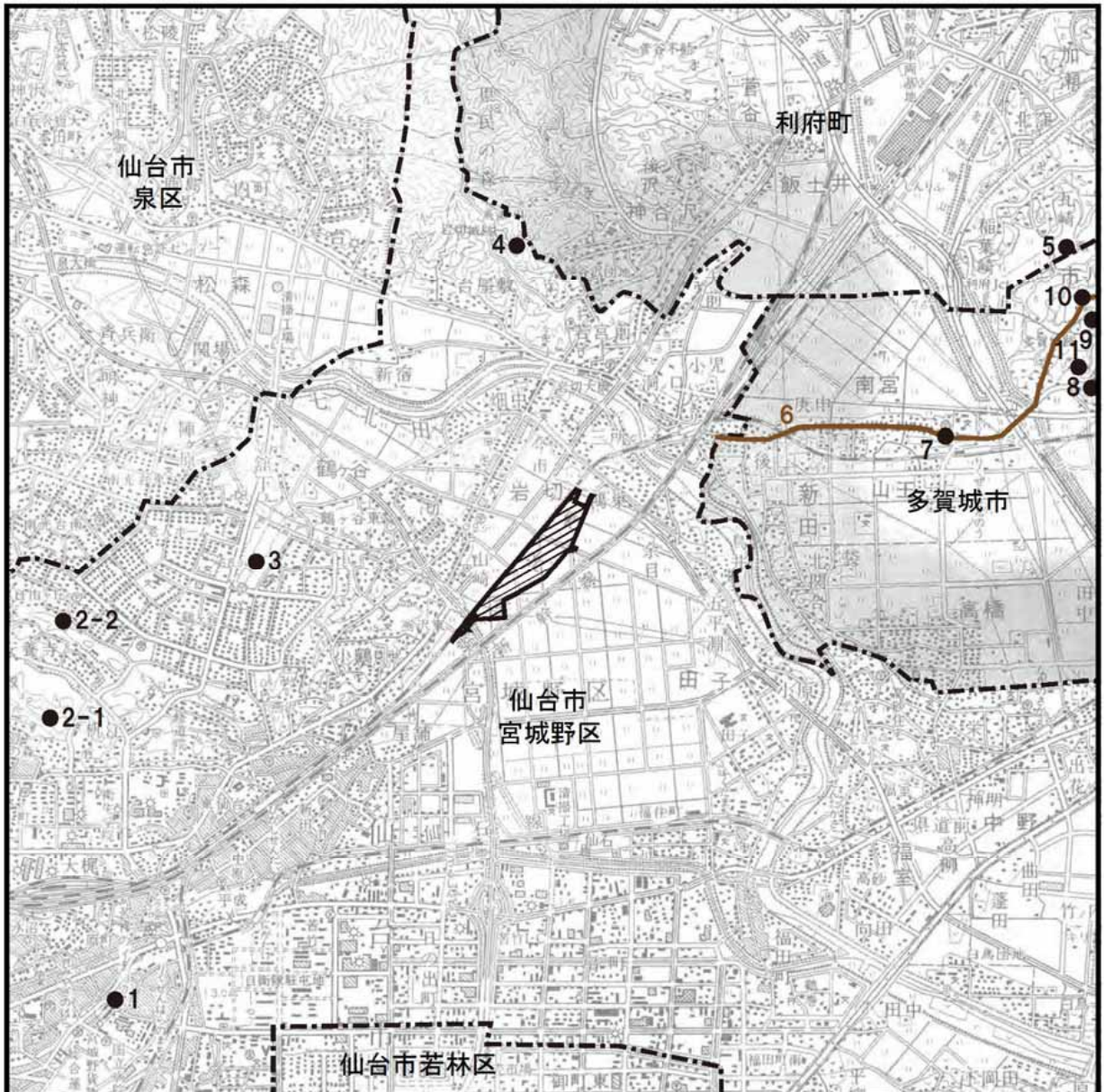
S=1:50,000
 0 500 1000 2000m

また、「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選ガイドブック」(平成14年3月 仙台市)及び「多賀城市観光協力サイト 日本三大史跡、歌枕(家持・西行・芭蕉)の地を巡る～いにしえの人々が行き交うまち多賀城～」(多賀城市観光協会 HP: <http://www.tagakan.jp/>)によると、主要な自然との触れ合いの場としては、表 6.1-102 及び図 6.1-36 に示すとおりであり、苦竹のイチョウ、与兵衛沼・大堤公園周辺等、11箇所があげられる。




表 6.1-102 自然との触れ合いの場(文献資料)

No.	名称	所在地	背景	地域住民の意識等
1	苦竹のイチョウ	仙台市 宮城野区 銀杏町	霊験あらたかな樹齢1200年のご神木。樹齢1200年以上とも言われている苦竹のイチョウは、天平時代に聖武天皇の乳母の遺言で植えられたという伝説がある巨木。	町名がこの木にちなんで「苦竹」から「銀杏町」と変えられたほど、地域の人たちに親しまれている。
2	与兵衛沼 (2-1)・大堤公園 周辺(2-2)	仙台市 宮城野区 蟹沢、安養 寺付近	人工の水辺と自然林が美しい風景を織りなす。与兵衛沼は、仙台藩士鈴木与兵衛が私財を投じて造った灌漑用水用の沼。与兵衛沼や近くの大堤公園一帯は、小高い丘となっており、戦前は豊かな樹林に覆われていた。	与兵衛沼の豊かな緑と水は、地域の人たちに親しまれ、休日には散歩を楽しむ人や野鳥を観察する人、釣り人などで賑わう。 大堤公園には3つの堤があり、水辺にはヨシが茂り、それを取り囲むようにコナラなどによる雑木林が広がり、住民が散歩を楽しんでいる。
3	鶴ヶ谷中央公園 周辺	仙台市 宮城野区 鶴ヶ谷六丁目	大型住宅団地内につくられた野鳥たちの楽園。市内でも早く造成された鶴ヶ谷団地の中央にある公園。	園内には、パーゴラやコンビネーションジムなどの遊具も整っており、地域の子供たちの遊び場にもなっている。 鶴ヶ谷中央公園は、地域の人たちに憩いと安らぎを与えてくれる公園である。
4	高森山公園	仙台市 宮城野区 岩切字入山	緑の森に覆われた栄枯盛衰を物語る中世の山城跡。高森山一帯は、奥州藤原氏の滅亡後、源頼朝によって陸奥国の留守職に任命された伊沢将監家景が居城していた中世の山城で、「岩切城」と呼ばれていた。	ソメイヨシノやヒガンザクラなど460本あまりのサクラが美しく咲き競う春、鬱蒼とした緑に包まれる夏、紅葉が映える秋、雪景色の市街地を望むことのできる冬など、高森山公園は、四季折々の美しさを見せてくれる。
5	加瀬沼	—	江戸時代、八幡の領主天童氏が造った人工のため池。	春の桜、秋の紅葉の時期には多くの市民で賑わいを見せる。
6	塩釜街道	多賀城市 市川・南宮	仙台北下から岩切、南宮、市川を通り塩釜、松島方面に通じる江戸時代の主要な街道。	—
7	山王・南宮板倉	多賀城市 山王・南宮	江戸時代から昭和の初めごろに建てられた板倉が数多く立ち並んでおり、その佇まいは歴史的風景を醸し出しており貴重な文化遺産となっている。	—
8	あやめ園	多賀城市 市川川田屋場	特別史跡「多賀城跡」の一角に位置するあやめ園には、約2万1千平方メートルの敷地に、650種300万本のアヤメ、花菖蒲が植えられている。	毎年6月下旬から7月上旬には、「多賀城跡あやめまつり」が開催され、期間中の週末には様々なイベントが開催され、市民に親しまれている。
9	多賀城跡桜	多賀城市 市川	築地塀に囲まれた中央部には正殿があって、その正殿前の石敷き広場にある2本の古木に咲く花は風情があり、見る人々の心を和ませている。	4月の開花時期には多くの市民が訪れ、花見を楽しむ名所となっている。
10	六月坂桜	多賀城市 市川	六月坂地区は平安時代初期の役所跡で、大規模な掘立柱式の建物2棟を中心に、数棟の建物跡が見つかっている。	桜の名所となっており、特にしだれ桜はその楚々とした花が見る人々を楽しませている。
11	多賀城跡 多賀城南門政庁間道路(通称:ハギ大路)	多賀城市 市川	かつて政庁から多賀城南門、そして古代都市多賀城の町へと続いた古代の道「南北大路」があった。	2008年に市民活動団体・NPOゲートシティ多賀城が整備し、大路の一部をコスモスやポピーの植栽によって表現された。

出典:「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選ガイドブック」(平成14年3月 仙台市)
「多賀城市観光協力サイト 日本三大史跡、歌枕(家持・西行・芭蕉)の地を巡る
～いにしえの人々が行き交うまち多賀城～」(多賀城市観光協会 HP: <http://www.tagakan.jp/>)



凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 自然との触れ合いの場

出典：「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選ガイドブック」(平成14年3月 仙台市)
 「多賀城市観光協力サイト 日本三大史跡、歌枕(家持・西行・芭蕉)の地を巡る
 ～いにしえの人々が行き交うまち多賀城～」(多賀城市観光協会HP:<http://www.tagakan.jp/>)

図 6.1-36 自然との触れ合いの場の分布
 (法令に基づく指定を受けていない地区)



S=1:50,000
 0 500 1000 2000m

イ その他事業の立地上配慮を要する自然との触れ合いの場

七北田川では、宮城県が「地方特定河川等環境整備事業(水辺の楽校プロジェクト)」として、仙台市の田子、岩切地区や多賀城市の新田地区で、レクリエーション空間、緑地、公園、運動施設の整備などを行っている。

(3) 文化財

調査範囲における指定文化財等の分布状況は、表 6.1-103～表 6.1-106 及び図 6.1-37 に示すとおりである。

調査範囲には、国指定の文化財として、有形文化財(古文書)の「多賀城碑」、特別史跡の「多賀城跡附寺後」、史跡の「岩切城跡」、天然記念物の「苦竹のイチョウ」がある。

なお、計画地内には指定文化財・登録文化財は存在しない。

表 6.1-103 指定文化財の状況(国指定文化財)

No.	名称	員数	所在地	指定年月日
有形文化財(古文書)				
1	多賀城碑	—	多賀城市市川字田屋場	平成 10 年 6 月 30 日
特別史跡				
2	(多賀城跡附寺跡のうち) 多賀城跡	—	多賀城市市川字城前	史跡指定： 大正 11 年 10 月 12 日 特別史跡指定： 昭和 41 年 4 月 11 日
3	(多賀城跡附寺跡のうち) 山王遺跡千刈田地区	—	多賀城市山王字千刈田	最終追加指定： 平成 5 年 9 月 22 日
史跡				
4	岩切城跡	—	仙台市宮城野区岩切字入山ほか	昭和 57 年 8 月 23 日
天然記念物				
5	苦竹のイチョウ	—	仙台市宮城野区銀杏町	大正 15 年 10 月 20 日

出典：「仙台市の指定・登録文化財」(仙台市教育局文化財課)

HP：<http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/shiteidb/index.html>

「多賀城市の文化財」

HP：<https://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/>

表 6.1-104 指定文化財の状況(市指定文化財 仙台市)

No.	名称	員数	所在地	指定年月日
有形文化財(建造物)				
6	善応寺開山堂	1棟	仙台市宮城野区燕沢2丁目3-1	昭和43年2月15日
有形文化財(歴史資料)				
7	原町苦竹の道知るべ石	1基	仙台市宮城野区原町3丁目	昭和52年3月
史跡				
8	善応寺横穴古墳群	—	仙台市宮城野区燕沢2丁目	昭和43年2月15日
9	松森焔硝蔵跡	—	仙台市泉区南光台東2丁目35	昭和62年5月

出典：「仙台市の指定・登録文化財」(仙台市教育局文化財課)

HP:<http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/shiteidb/index.html>

表 6.1-105 指定文化財の状況(市指定文化財 多賀城市)

No.	名称	員数	所在地	指定年月日
史跡				
10	南安楽寺古碑群	—	多賀城市新田字南安楽寺48付近	昭和48年12月18日
11	伏石	1基	多賀城市市川字坂下71	昭和48年12月18日

出典：「多賀城市の文化財」

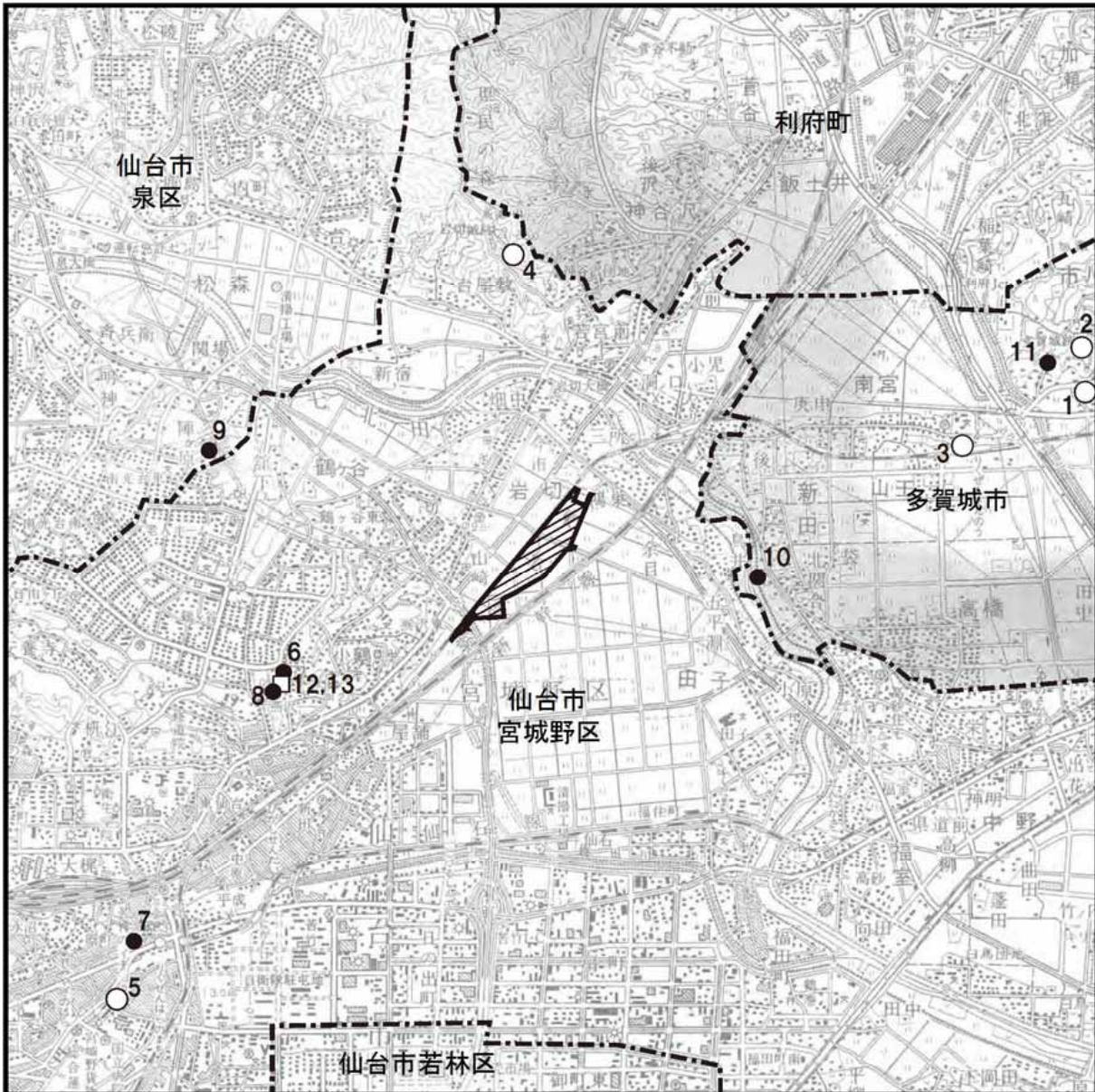
HP: <https://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/>

表 6.1-106 登録文化財の状況(市登録文化財 仙台市)






No.	名称	員数	所在地	指定年月日
有形文化財(彫刻)				
12	十一面観音菩薩立像	1軀	仙台市宮城野区燕沢2丁目3-1	平成9年3月25日
13	毘沙門天立像	1軀	仙台市宮城野区燕沢2丁目3-1	平成9年3月25日

出典：「仙台市の指定・登録文化財」(仙台市教育局文化財課)

HP:<http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/shiteidb/index.html>



凡例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 国指定文化財(1~5)
-  : 市指定文化財(6~11)
-  : 市登録文化財(12~13)

出典:「仙台市の指定・登録文化財」(仙台市教育局文化財課) HP:<http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/shiteidb/index.html>
 「多賀城市の文化財」HP:<https://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/>

図 6.1-37 文化財の分布状況



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

(4) 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の状況

調査範囲における埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の状況は、表 6.1-107 及び図 6.1-38 に示すとおりである。

なお、計画地内には埋蔵文化財は存在しない。

表 6.1-107 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の状況

No.	名称	所在地
仙台市泉区		
1	長岫遺跡	南光台東二丁目
仙台市宮城野区		
2	安養寺下窯跡	東仙台六丁目
3	安養寺中囲窯跡	安養寺三丁目
4	安養寺配水場前窯跡	安養寺三丁目
5	今市遺跡	岩切字三所北
6	岩切畑中遺跡	岩切字稻荷西
7	鴻ノ巣遺跡	岩切字鴻ノ巣
8	神明社窯跡 A 地区	柞江
9	神明社窯跡	柞江
10	大蓮寺窯跡	東仙台六丁目
11	燕沢遺跡	燕沢東3丁目ほか
12	鶴巻遺跡	福室字鶴巻
13	東光寺遺跡	岩切字入山・台屋敷
14	洞ノ口遺跡	岩切字洞ノ口・青津目
15	柞江遺跡	柞江
16	与兵衛沼窯跡	小松島新堤ほか
17	岩切城跡	宮城野区岩切字入山ほか
多賀城市		
18	新田遺跡	新田・山王・南宮
19	安楽寺遺跡	新田字上・南安楽寺
20	山王遺跡	山王・南宮・市川
21	特別史跡 山王遺跡	山王字千刈田
22	内館跡	南宮
23	山地田館跡	山王
24	大日北遺跡	高橋字大日北
25	市川橋遺跡	市川・浮島・高崎
26	特別史跡多賀城跡	市川・浮島
27	大日南遺跡	高橋4丁目

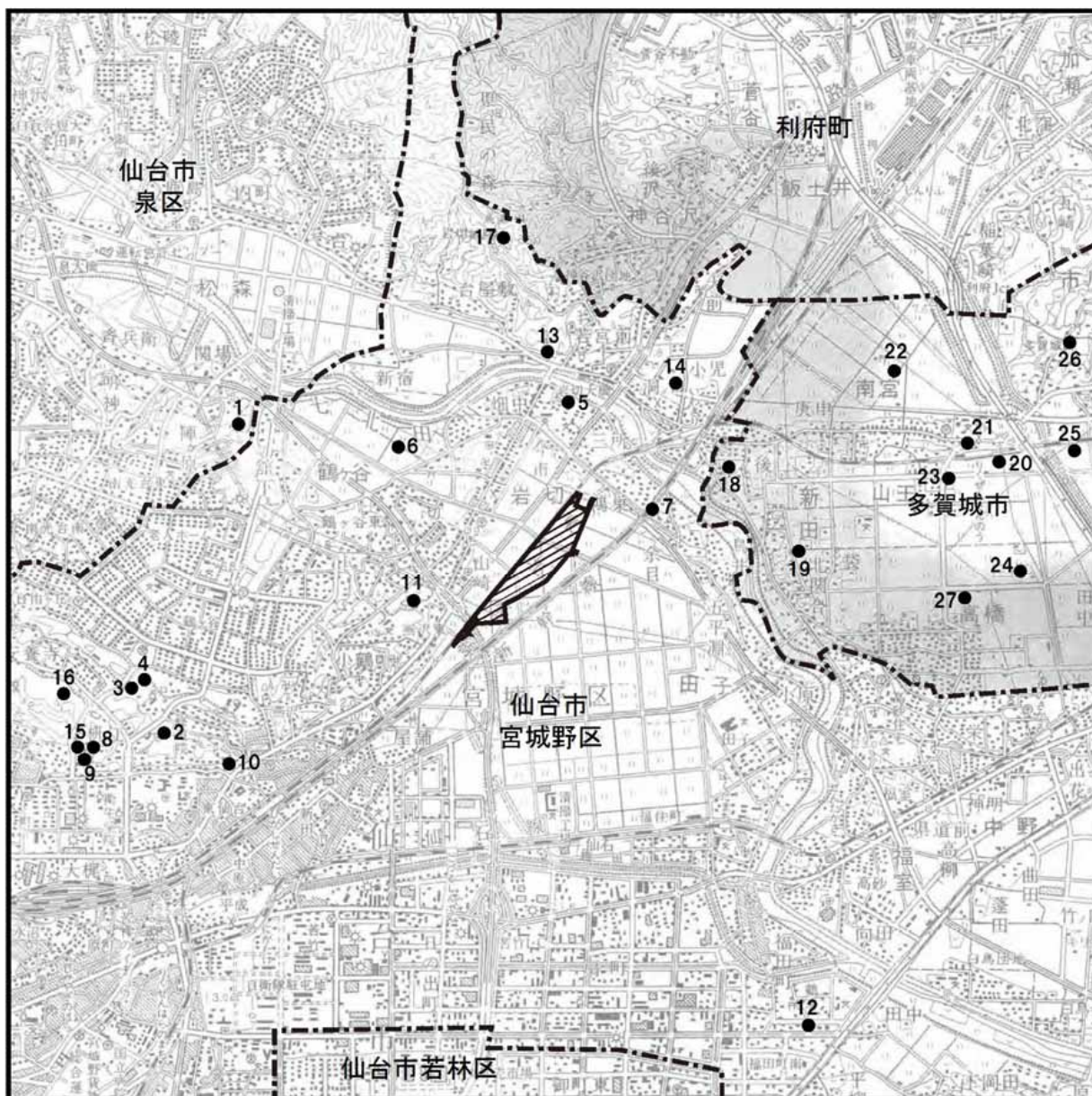
出典：「仙台市の遺跡」（平成28年8月閲覧 仙台市文化財課）

<http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/isekidb/>




「多賀城市の遺跡」

(更新日 平成28年3月24日 多賀城市教育委員会教育部文化財課, 多賀城市埋蔵文化財調査センター)

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/maibun/shiseki/bunkazai/isekihakutsu/iseki.html>



凡 例

-  : 計画地
-  : 市町・区境界線
-  : 埋蔵文化財包蔵地(1~27)

出典：「仙台市の遺跡」(平成28年8月閲覧 仙台市文化財課)

<http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/isekidb/>

「多賀城市の遺跡」

(更新日 平成28年3月24日 多賀城市教育委員会教育部文化財課, 多賀城市埋蔵文化財調査センター)

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/maibun/shiseki/bunkazai/isekihakutsu/iseki.html>

図 6.1-38 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の状況



S=1:50,000

0 500 1000 2000m

6.1.6 その他

(1) 電波障害の状況

計画地は東部田園地域であり、計画地周辺には中高層の建築物が点在する地域である。電波障害に関する苦情について平成 26 年 9 月 24 日に仙台市都市整備局建築指導課に問い合わせたところ、該当する統計は行っていなかった。

(2) 日照障害の状況

計画地は東部田園地域であり、計画地周辺には中高層の建築物が点在する地域である。日照障害に関する苦情について平成 26 年 9 月 24 日に仙台市都市整備局建築指導課に問い合わせたところ、該当する統計は行っていなかった。

(3) 風害の状況

計画地は東部田園地域であり、計画地周辺には中高層の建築物が点在する地域である。風害に関する苦情について平成 26 年 9 月 24 日に仙台市都市整備局建築指導課に問い合わせたところ、該当する統計は行っていなかった。